

PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

青森明の星短期大学 御中

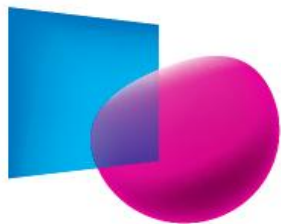
基礎力測定テスト

PROG 全体傾向報告書 (2025)

2025.07.23
株式会社リアセック
主任研究員 米田 光明
まいた

受験日：2025年 5月

学科	専攻・コース	1年	2年	合計
子ども福祉未来学科	保育専攻	20	24	44
	介護福祉コース	9	16	25
	キャリアビジネスコース	11	12	23
合計		40	52	92



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.1-1

通常集計 1年

【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、子ども福祉未来学科1年、キャリアビジネスコース1年は、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる。
 ※子ども福祉未来学科1年、保育専攻1年、介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

【基準集団】

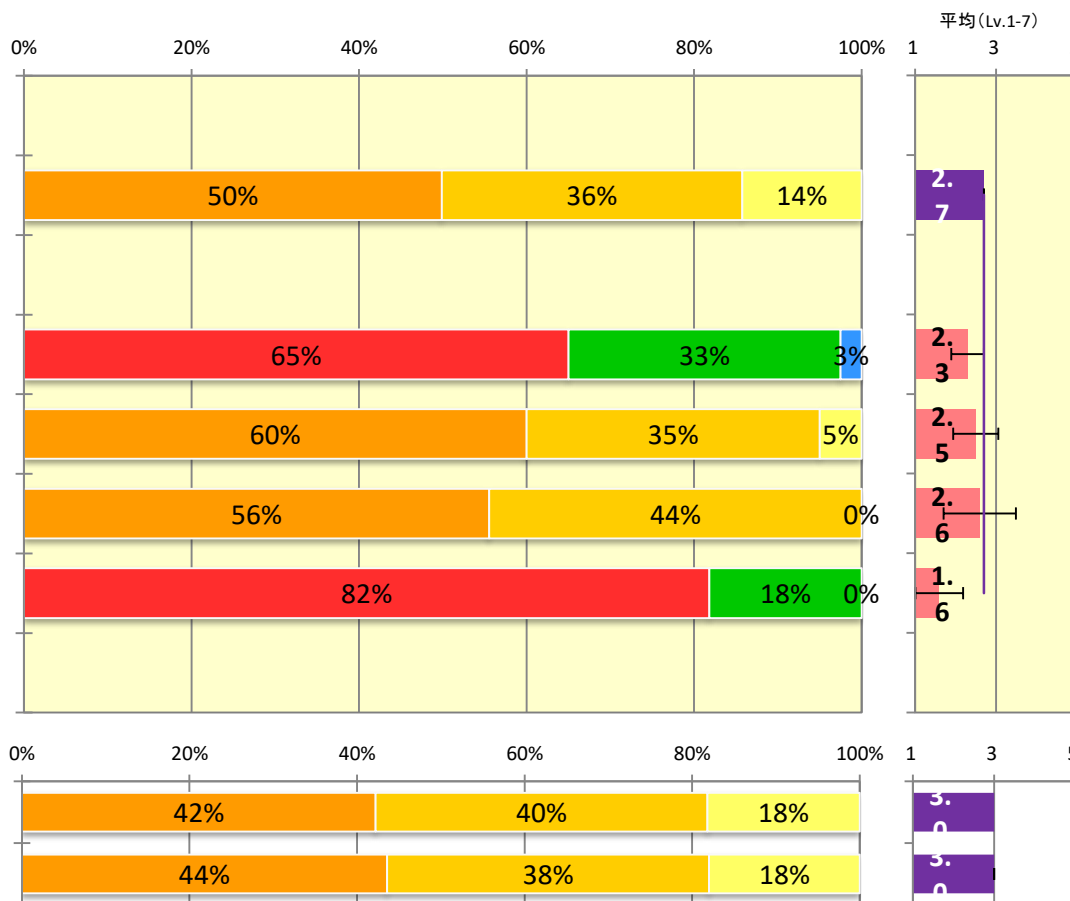
★私立短大文系1年	54校 N=16,117
-----------	--------------

	χ^2 乗値	有意確率
子ども福祉未来学科1年	5.84	0.05
保育専攻1年	1.62	0.45
介護福祉コース1年	1.53	0.47
キャリアビジネスコース1年	4.78	0.09

【ご参考基準集団】

私立大学短大1年(幼児・保育・こども系)	87校 N=17,537
私立大学短大全体(福祉学系)	43校 N=25,383

コンピテンシー総合



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

コンピテンシー大分類要素 判定レベルに見る全体傾向

Generic Skills

【対人基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、子ども福祉未来学科1年、保育専攻1年、キャリアビジネスコース1年は、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる。

※保育専攻1年、介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

【対自己基礎力】

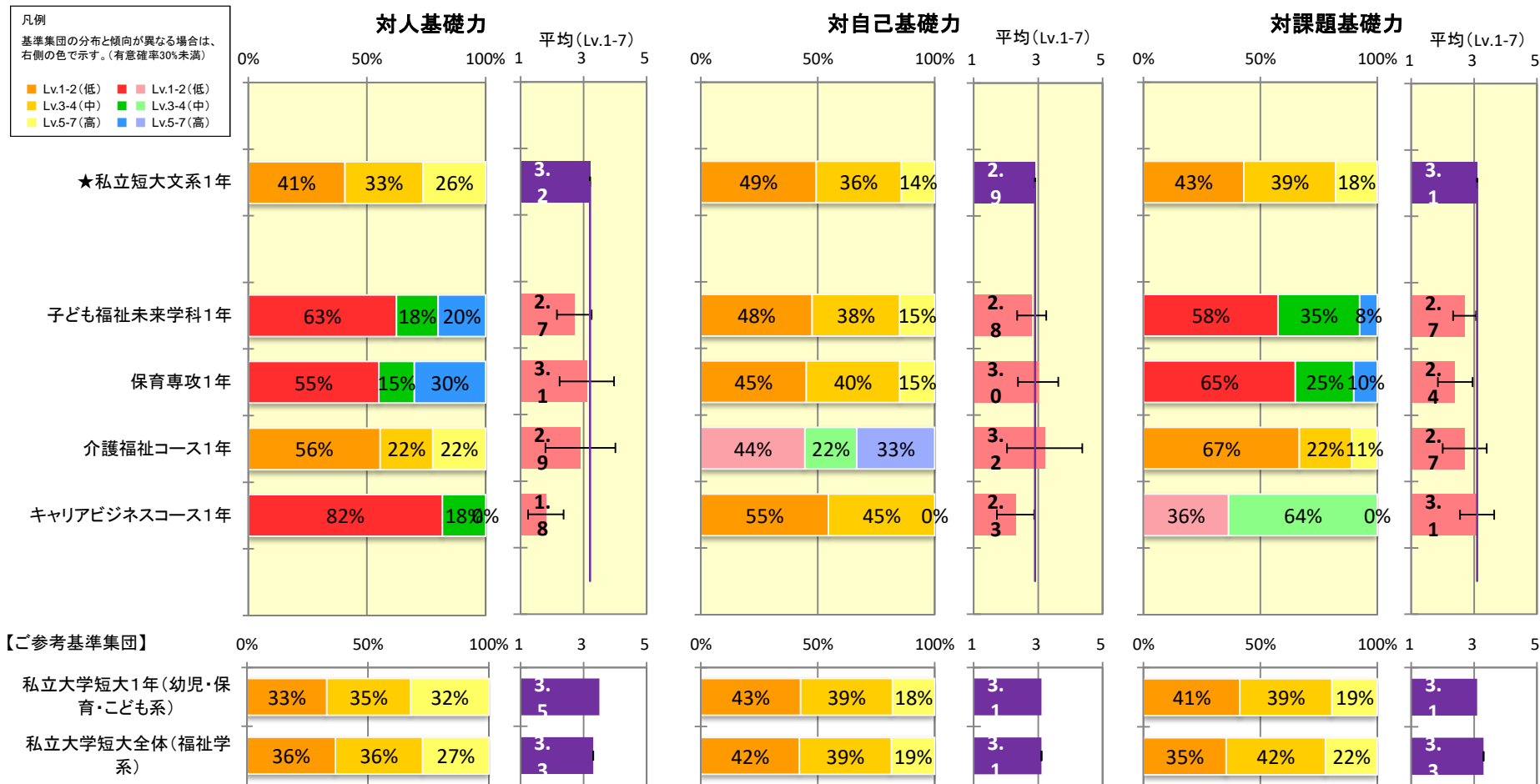
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※保育専攻1年、介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、子ども福祉未来学科1年、保育専攻1年は、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる。

※子ども福祉未来学科1年、保育専攻1年、介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

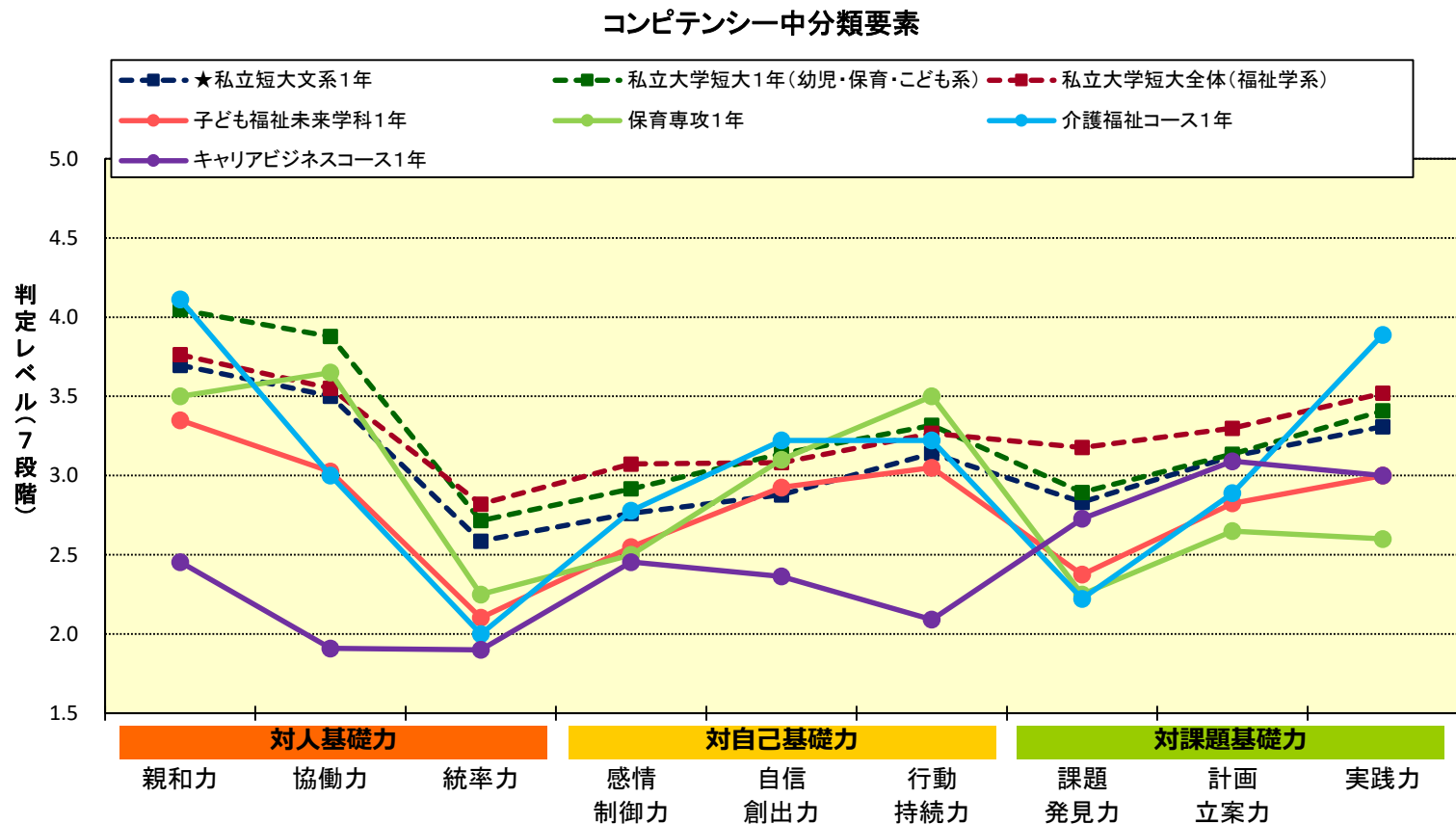
【子ども福祉未来学科1年】

基準集団(★印)と比較して、自信創出力の平均値は上回る傾向にある。

一方、感情制御力、行動持続力の平均値は下回る傾向にあり、親和力、協働力、統率力、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は低い。

各専攻・コースの比較 1年

(※介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

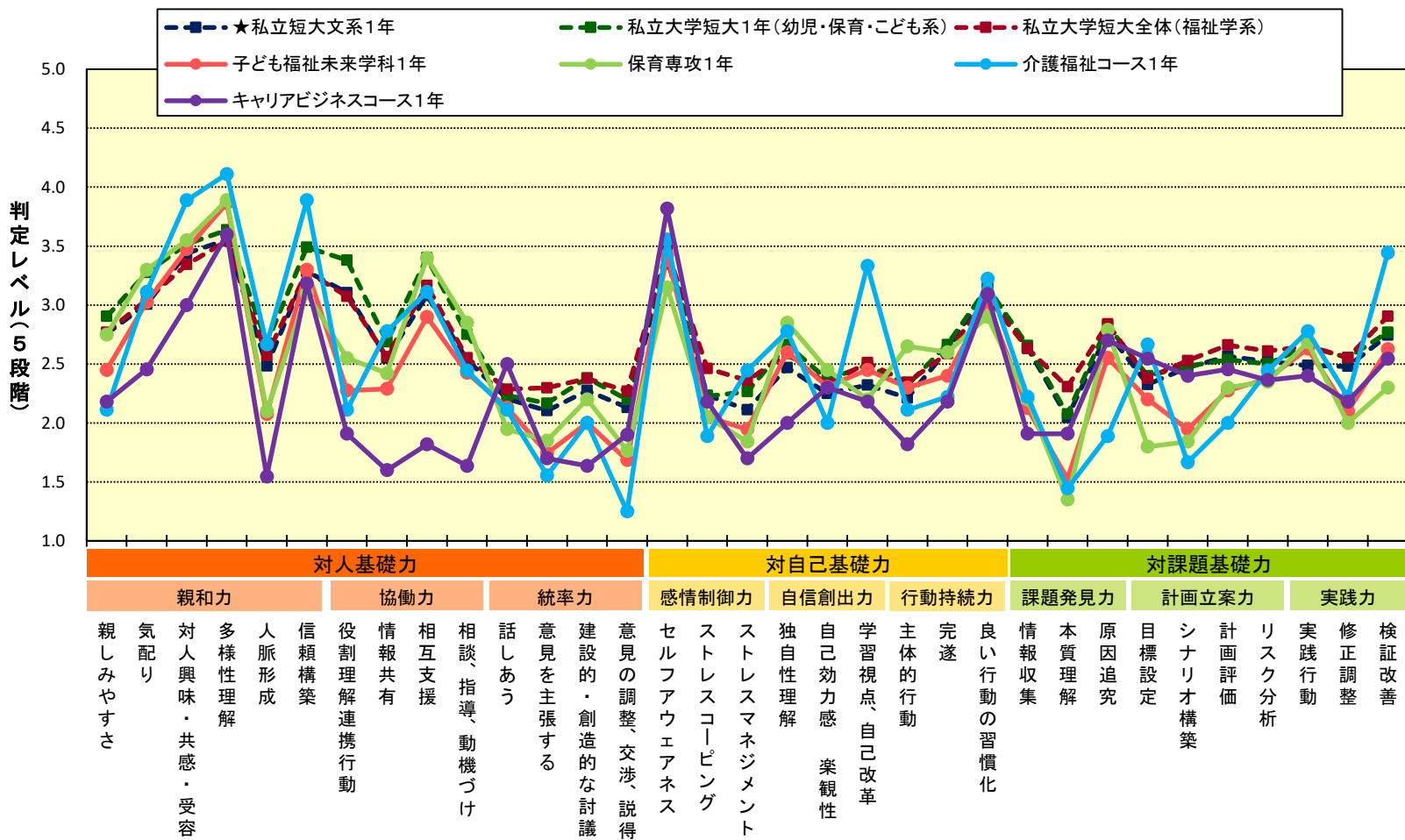
2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

各専攻・コースの比較 1年

(※介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素



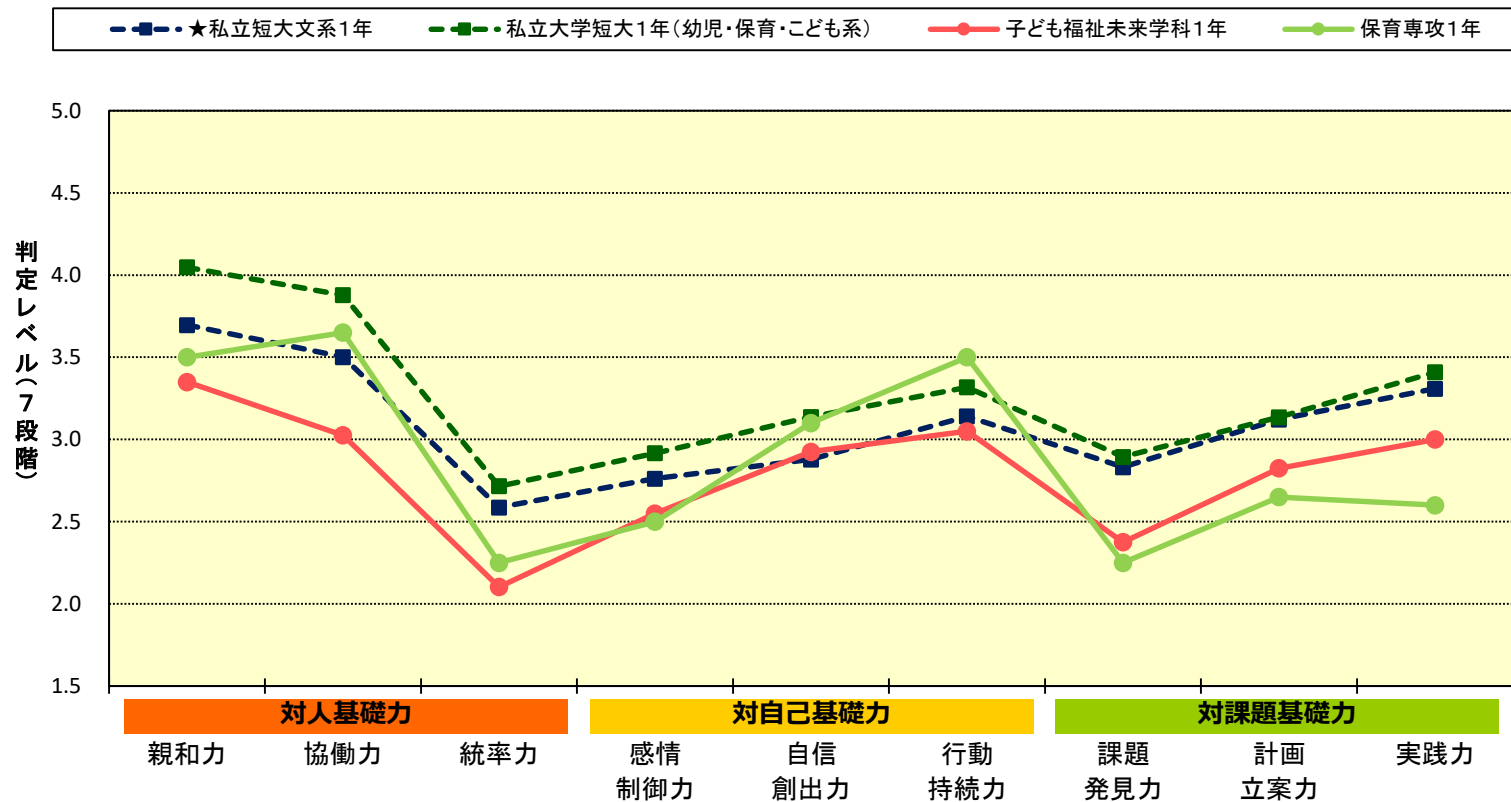
コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【保育専攻1年】

基準集団(★印)と比較して、協働力、自信創出力、行動持続力の平均値は上回る傾向にある。

一方、親和力、統率力、感情制御力の平均値は下回る傾向にあり、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は低い。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

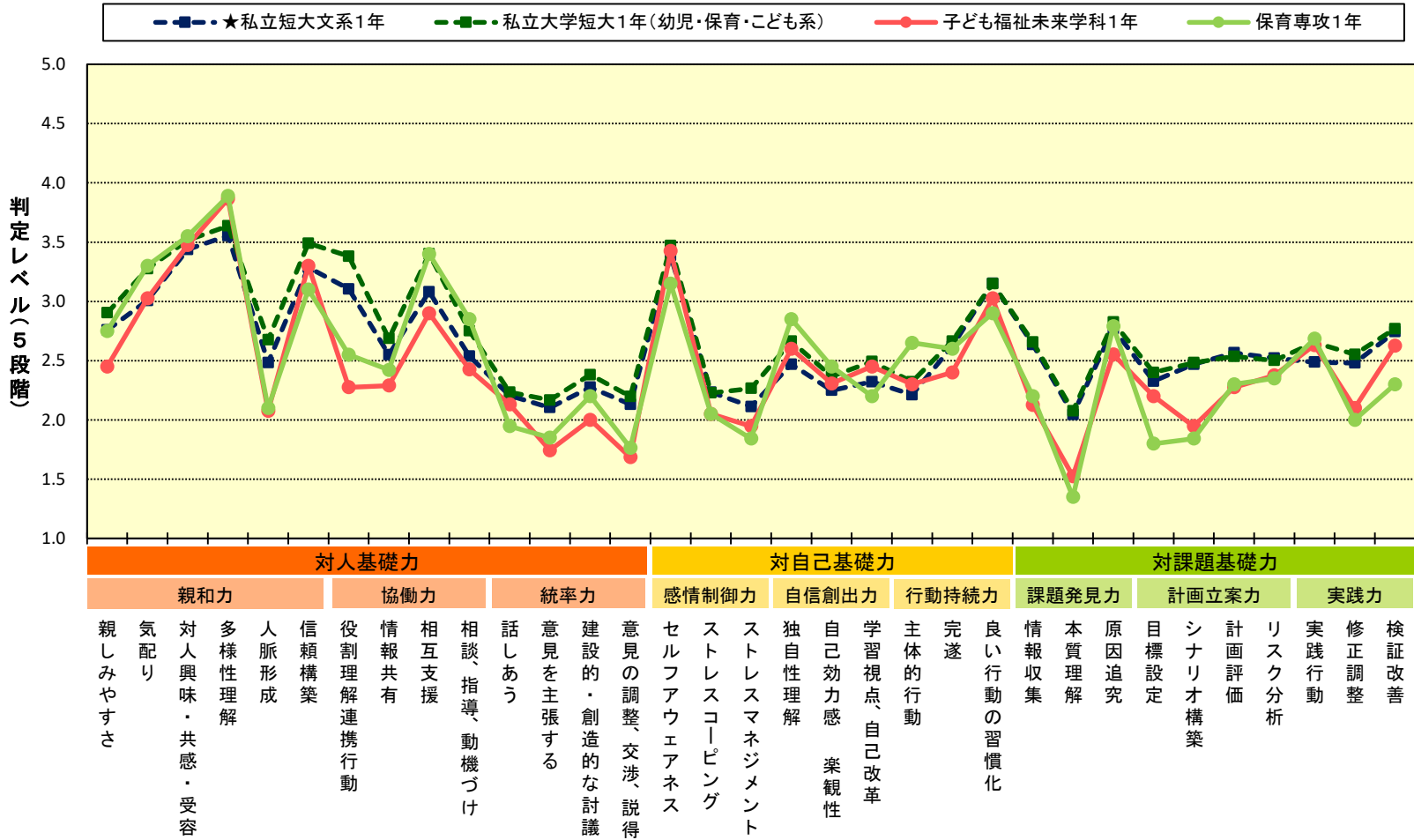
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【保育専攻1年】

コンピテンシー小分類要素



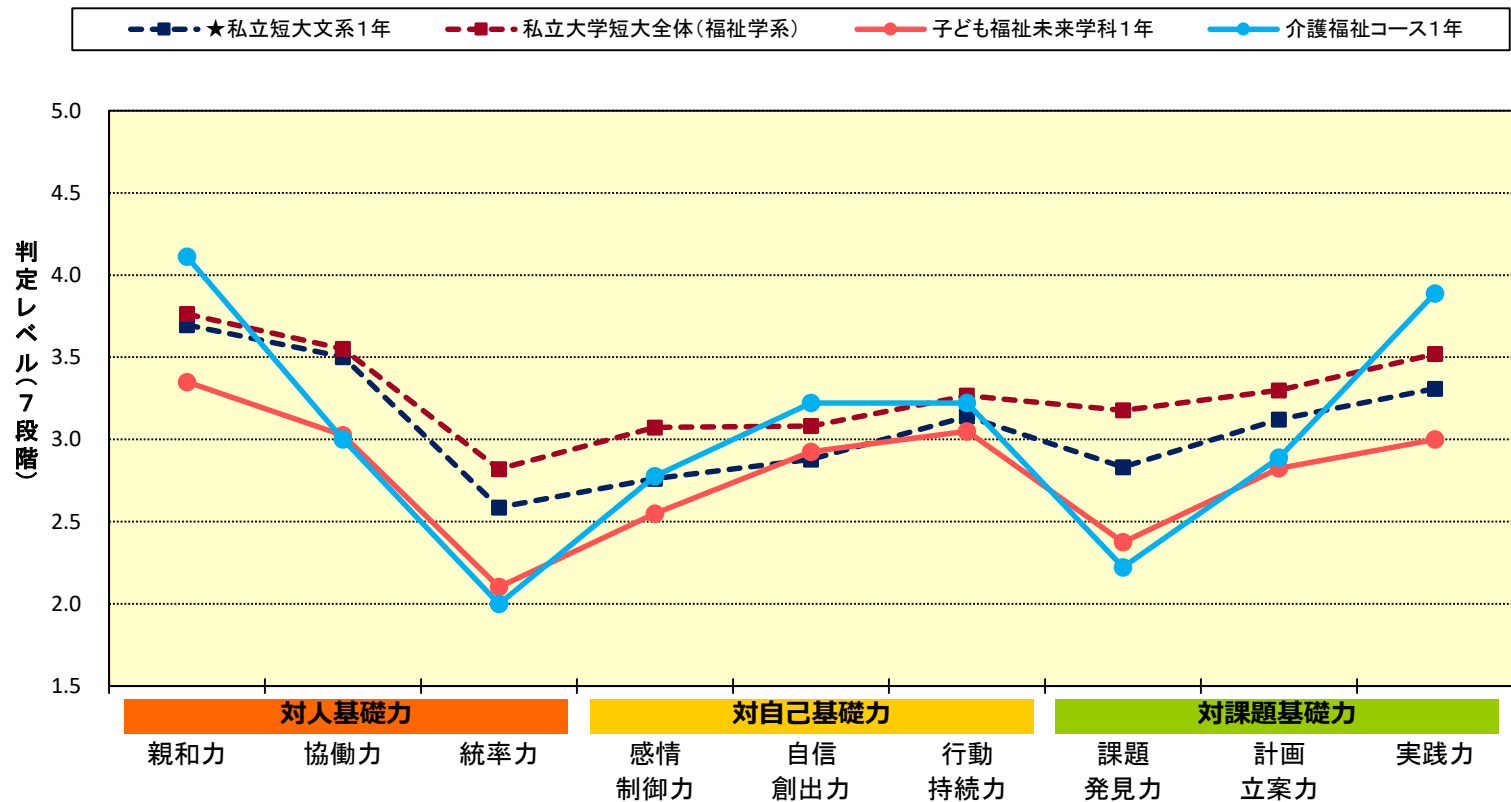
コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ②

【介護福祉コース1年】

基準集団(★印)と比較して、実践力の平均値は高く、親和力、感情制御力、自信創出力、行動持続力の平均値は上回る傾向にある。一方、協働力、計画立案力の平均値は下回る傾向にあり、統率力、課題発見力の平均値は低い。

(※介護福祉コース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

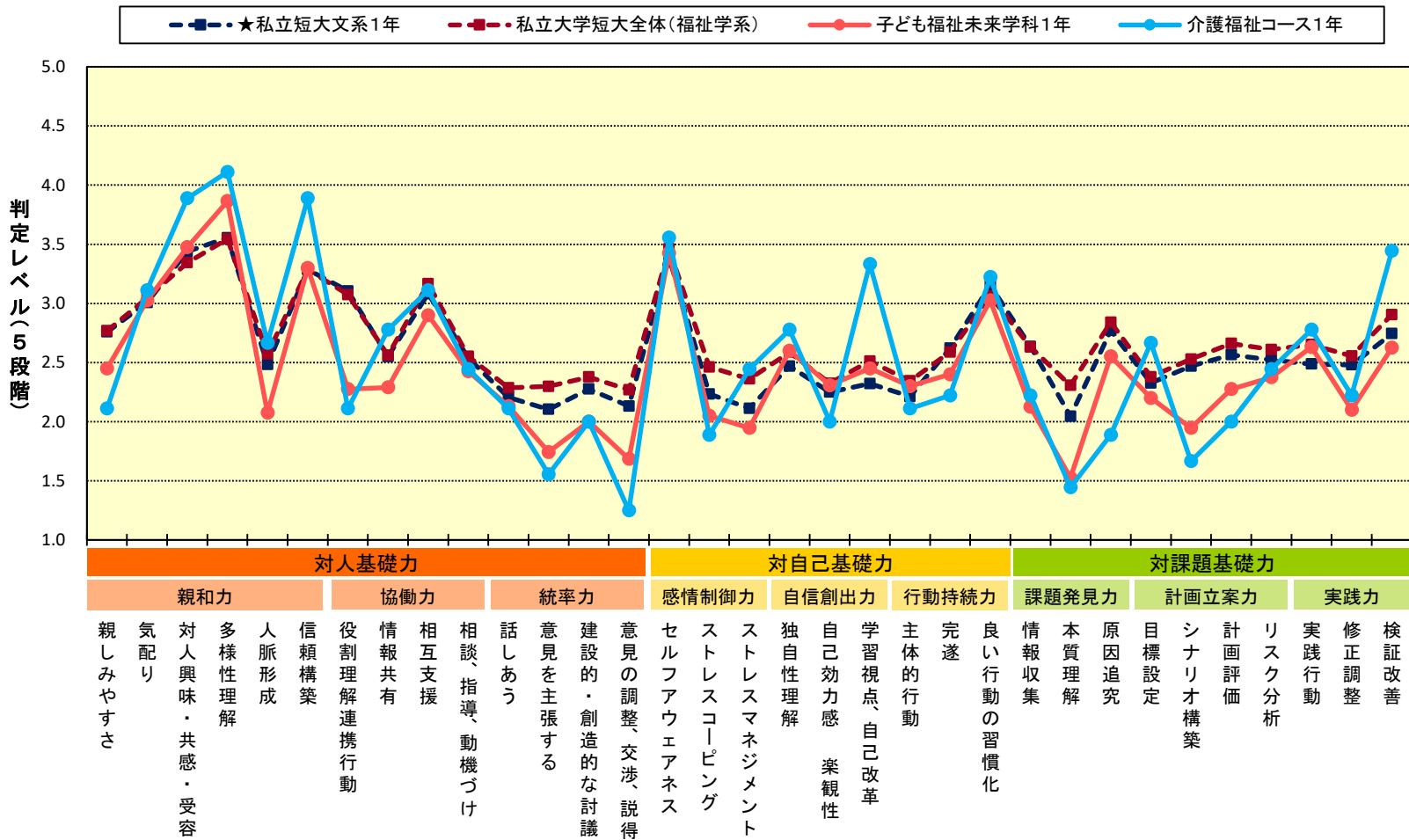
2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【介護福祉コース1年】

(※介護福祉コース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素

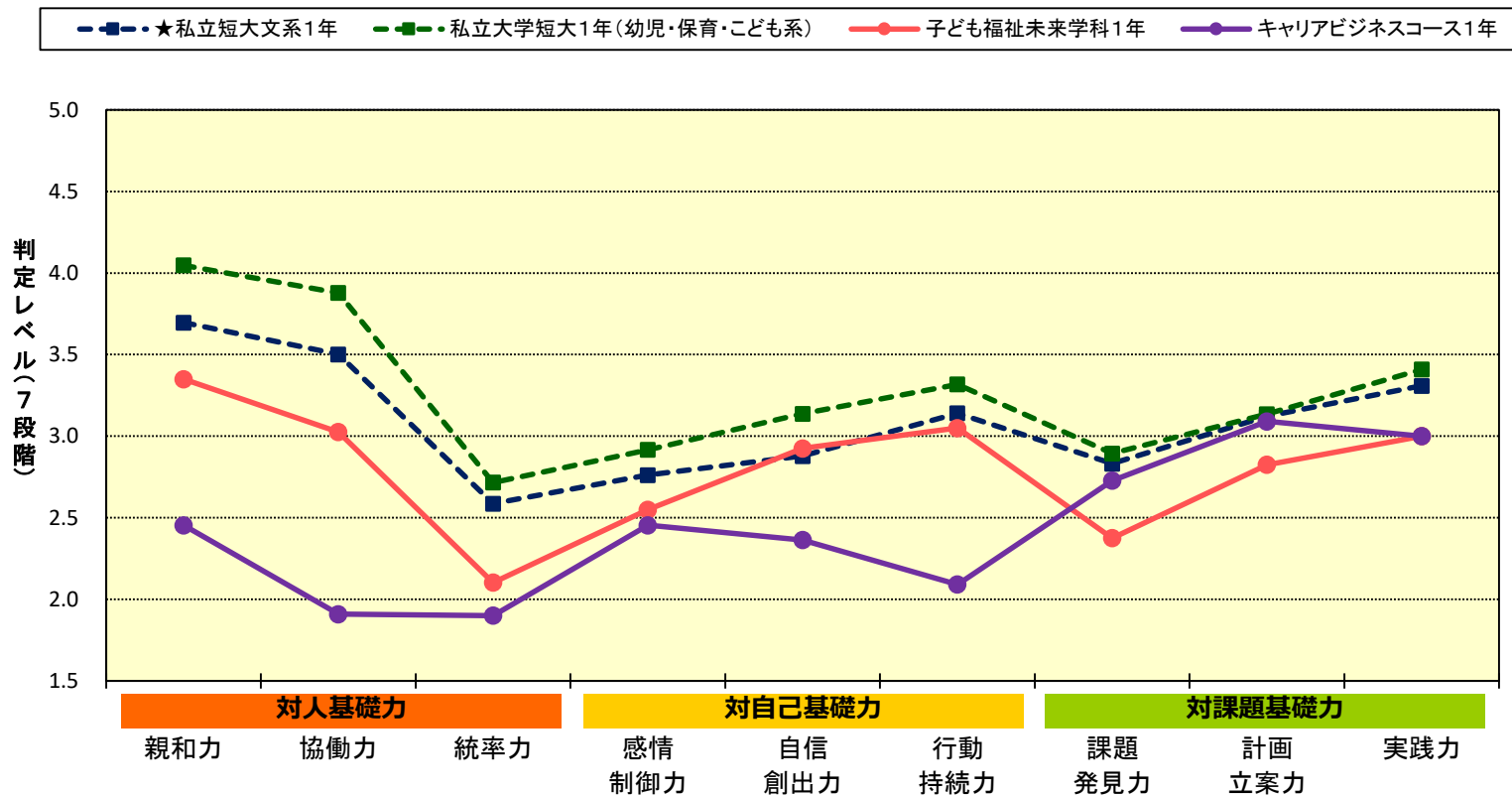


【キャリアビジネスコース1年】

基準集団(★印)と比較して、感情制御力、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は下回る傾向にあり、親和力、協働力、統率力、自信創出力、行動持続力の平均値は低い。

(※キャリアビジネスコース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

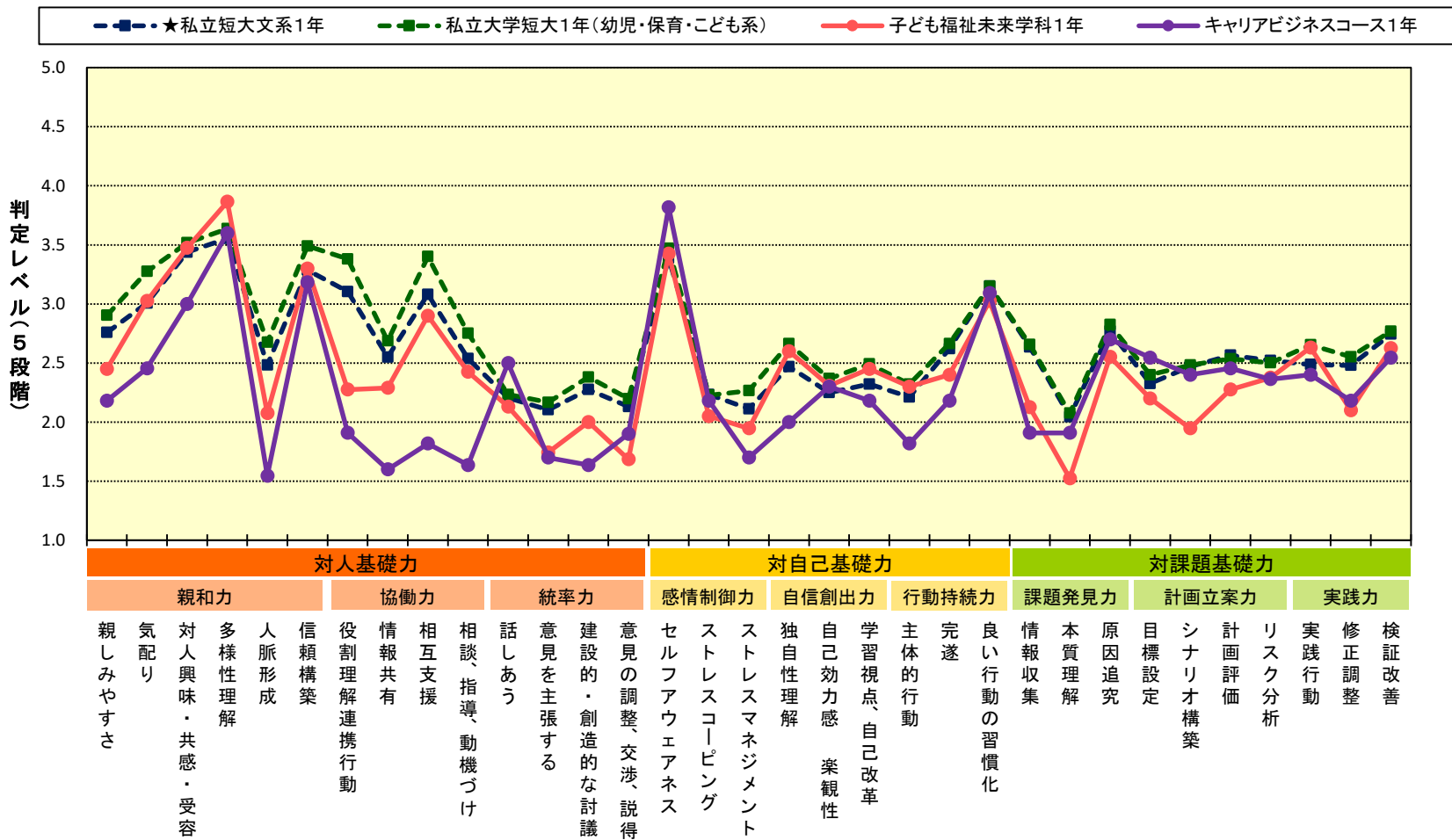
2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【キャリアビジネスコース1年】

(※キャリアビジネスコース1年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素



	コンピテンシー									
	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
		親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
子ども福祉未来学科1年	■	▲	▲	▲	-	-	-	▲	▲	▲
保育専攻1年	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	▲
介護福祉コース1年	-	-	-	▲	-	-	-	▲	-	◎
キャリアビジネスコース1年	■	▲	▲	▲	-	▲	▲	-	-	-

記号のみかた

【コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

【子ども福祉未来学科1年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー ●親和力 親しくない人にも、自分から気軽に話しかけることができる 人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる 個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる 自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げることができる	●協働力 人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけることができる 雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献できる 誰かを支援する時には全力でサポートする 周囲との協力や働きかけを通じて、チームの成果に貢献することができる	他者の話に注意を傾けて聞く(傾聴する)ようにする 他者の意見を尊重し、柔軟に受け入れる大切さを指導する 文化や価値観の違いを学ぶ機会を設ける 自己と他者「良い点」を認め合い、信頼の基盤を作るようにする
●統率力 自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる 話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べる 自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる 意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを伝えることができる	●課題発見力 課題に対し自分なりに情報を集めることができる 集めた情報を客観的に整理しようとする 興味のある分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理・分析することができる 分析を基に自分なりに因果関係の仮説を立てることができる	相手の意図をよく考えて返答するように指導している 各自が持っている知識や情報を体系立てて整理し発表する機会を設ける 互いに協力し、補い合いながら、課題を遂行するようにさせる
●計画立案力 課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる 条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる 起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる	●実践力 やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる 制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる 終了後には、成功か失敗かを振り返るようにしている	自分の考えを整理して、相手にわかり易く伝えられるようにする 周囲に対して、自分の要望をはっきり伝えるようにする 表現豊かに話したり、書いたりする機会を設ける 粘り強く周囲に説明をするような機会を設ける
		様々な情報源を適切に活用できるよう指導する 思い込みや常識に捉われず、本質を深く考えるよう指導する 原因を明らかにするために、さまざまな角度から検討・分析するよう指導する
		ゴール(目指す姿)をイメージしてから、課題に取り組ませる 想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する 立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる
		やるべきことは先延ばしせず直ぐに着手するよう指導する 議論だけでなく、実際に行動を起こさせる 成すべきことを自分で考え行動させる 結果に対して反省の機会を設ける

【保育専攻1年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー ●課題発見力 課題に対し自分なりに情報を集めることができる 集めた情報を客観的に整理しようとする 興味のある分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理・分析することができる 分析を基に自分なりに因果関係の仮説を立てることができる	●計画立案力 課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる 条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる 起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる	様々な情報源を適切に活用できるよう指導する 思い込みや常識に捉われず、本質を深く考えるよう指導する 原因を明らかにするために、さまざまな角度から検討・分析するよう指導する
●実践力 やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる 制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる 終了後には、成功か失敗かを振り返るようにしている		ゴール(目指す姿)をイメージしてから、課題に取り組ませる 想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する 立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる
		やるべきことは先延ばしせず直ぐに着手するよう指導する 議論だけでなく、実際に行動を起こさせる 成すべきことを自分で考え行動させる 結果に対して反省の機会を設ける

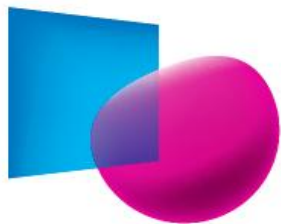
今後の課題と対策 ②

【介護福祉コース1年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー ●統率力 ●課題発見力	自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる 話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるができる 自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる 意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを伝えることができる 課題に対し自分なりに情報を集めることができる 集めた情報を客観的に整理しようとする 興味のある分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理・分析することができる 分析を基に自分なりに因果関係の仮説を立てることができる	自分の考えを整理して、相手にわかり易く伝えられるようにする 周囲に対して、自分の要望をはっきり伝えるようにする 表現豊かに話したり、書いたりする機会を設ける 粘り強く周囲に説明をするような機会を設ける 様々な情報源を適切に活用できるよう指導する 思い込みや常識に捉われず、本質を深く考えるよう指導する 原因を明らかにするために、さまざまな角度から検討・分析するよう指導する

【キャリアビジネスコース1年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー ●親和力 ●協働力 ●統率力 ●自信創出力 ●行動持続力	人に対して笑顔で接することができる 相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係に配慮した言動を心がけている 相手に対して自然な気配りができる 自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる 割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組むことができる 周囲に気を配り、困っている人には手を貸すことができる チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる 自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる 話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるができる 自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる 意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを伝えることができる 仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる 自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる 機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる 良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みるよう心がけている 任されたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動するようにしている 常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている	学生同士がグループやクラスで和やかに(親和的に)話す機会を設ける 事例や実践を通じて、相手(当事者)の立場になって考えさせる 自分のことだけでなく、クラス全体やグループの都合を考えさせる 各自の貢献する領域を定め責任を果たすようにする 集団の中で自分の役割を実感する機会を設ける 各自で調べたことを全体に共有させる機会を設ける 情報を発信したり吸収したり、学生相互に情報をやり取りする機会を設ける 自分の考えを整理して、相手にわかり易く伝えられるようにする 周囲に対して、自分の要望をはっきり伝えるようにする 表現豊かに話したり、書いたりする機会を設ける 粘り強く周囲に説明をするような機会を設ける 自分のオリジナリティにこだわるように指導する 自分の意見や提案が、周囲から受け入れられる経験をさせる 与えられたことでも、自分の成長のチャンスだと考えるよう指導する まじめさ、誠意をもった行動、真摯な取り組みを評価する機会を設ける 現状に満足せず、より高い目標に挑戦する大切さを指導する 目的意識を常に持って、学習したとを直ぐに試みるように指導する



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.1-2
通常集計 2年

【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※保育専攻2年、介護福祉コース2年、キャリアビジネスコース2年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

【基準集団】

★私立短大文系2年	43校 N=11,011
-----------	--------------

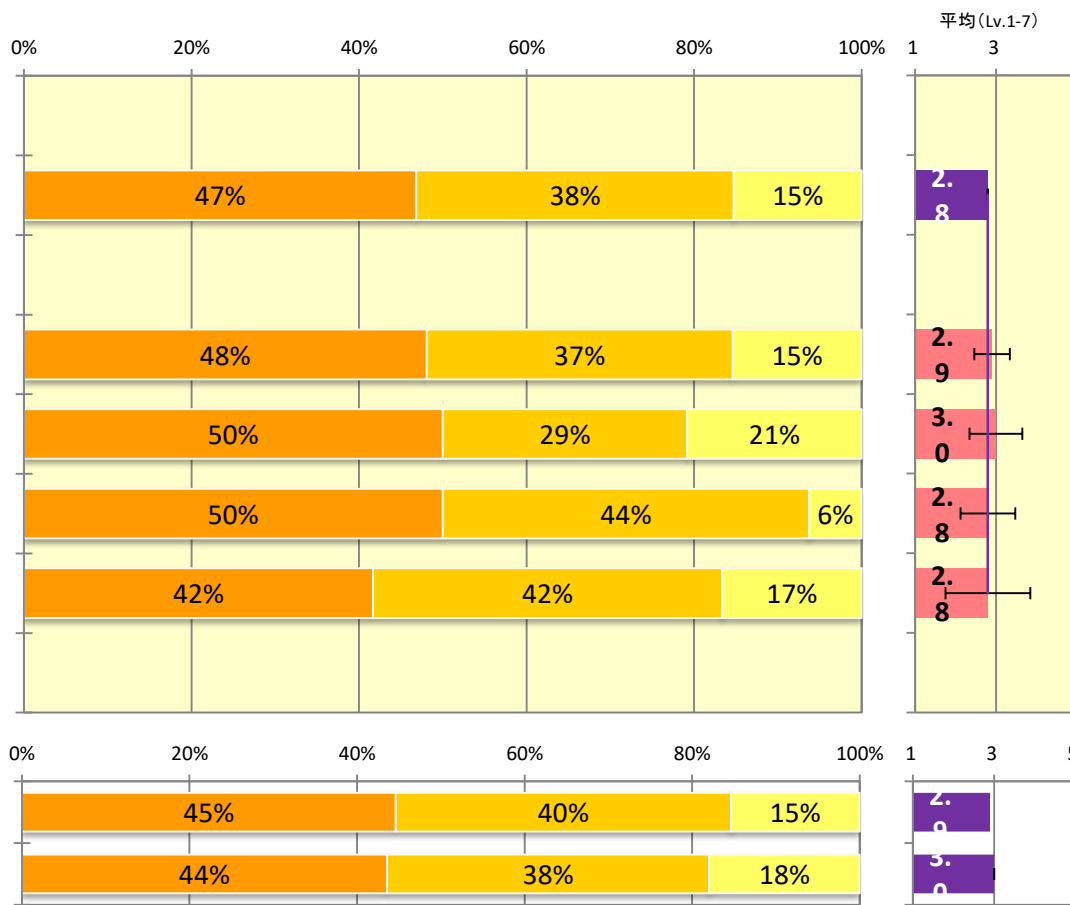
χ²乗値 有意確率

子ども福祉未来学科2年	0.04	0.98
保育専攻2年	1.02	0.60
介護福祉コース2年	1.03	0.60
キャリアビジネスコース2年	0.13	0.94

【ご参考基準集団】

私立大学短大2年(幼児・保育・こども系)	40校 N=5,440
私立大学短大全体(福祉学系)	43校 N=25,383

コンピテンシー総合



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

コンピテンシー大分類要素 判定レベルに見る全体傾向

Generic Skills

【対人基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※保育専攻2年、介護福祉コース2年、キャリアビジネスコース2年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

【対自己基礎力】

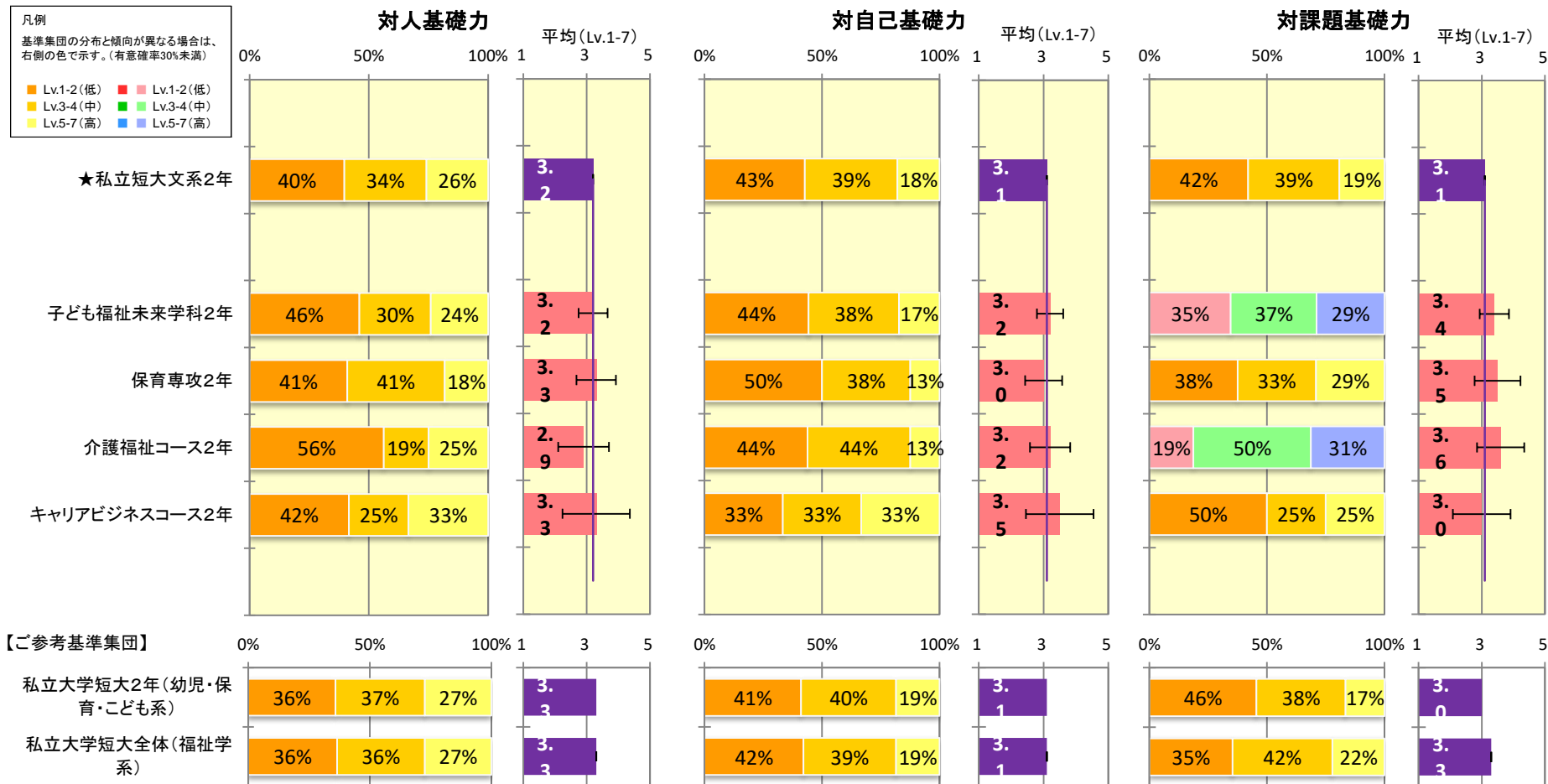
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※保育専攻2年、介護福祉コース2年、キャリアビジネスコース2年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※保育専攻2年、介護福祉コース2年、キャリアビジネスコース2年は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

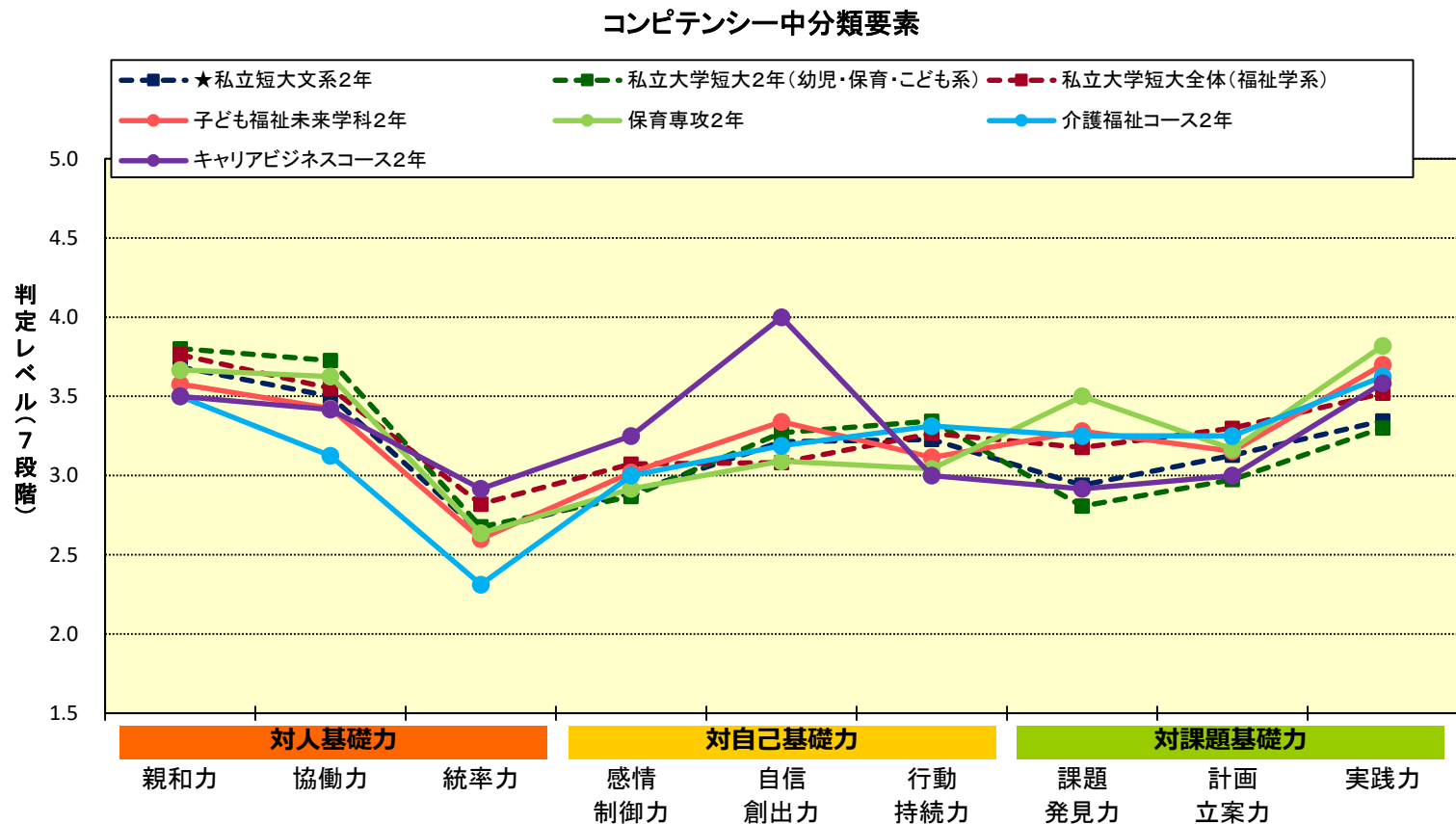


※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

【子ども福祉未来学科2年】

基準集団(★印)と比較して、課題発見力、実践力の平均値は高く、感情制御力、自信創出力、計画立案力の平均値は上回る傾向にある。一方、親和力、協働力、統率力、行動持続力の平均値は下回る傾向にある。

各専攻・コースの比較 2年 (※キャリアビジネスコース2年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

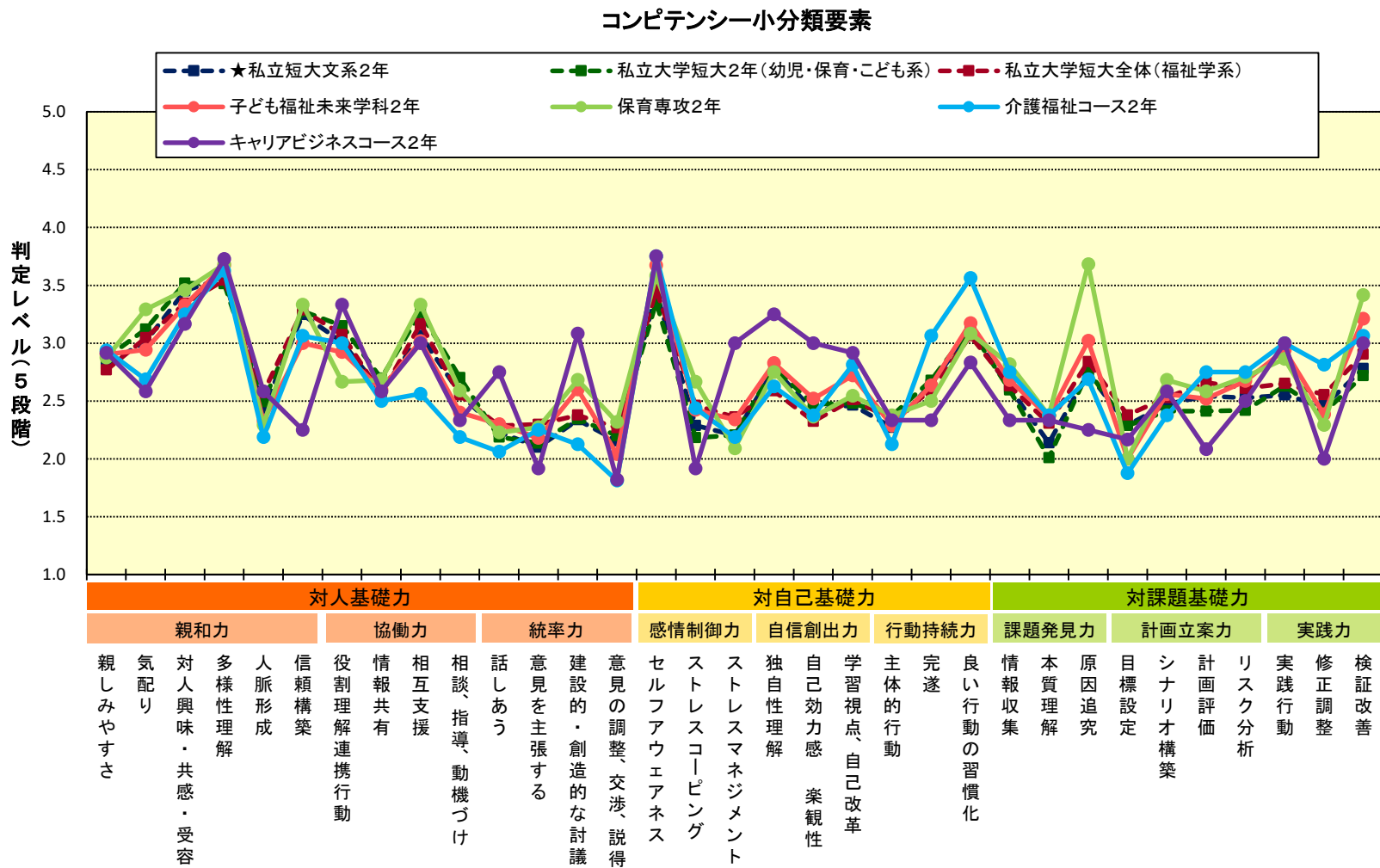
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー小分類要素 判定レベルに見る全体傾向 各コースの比較

各専攻・コースの比較 2年 (※キャリアビジネスコース2年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

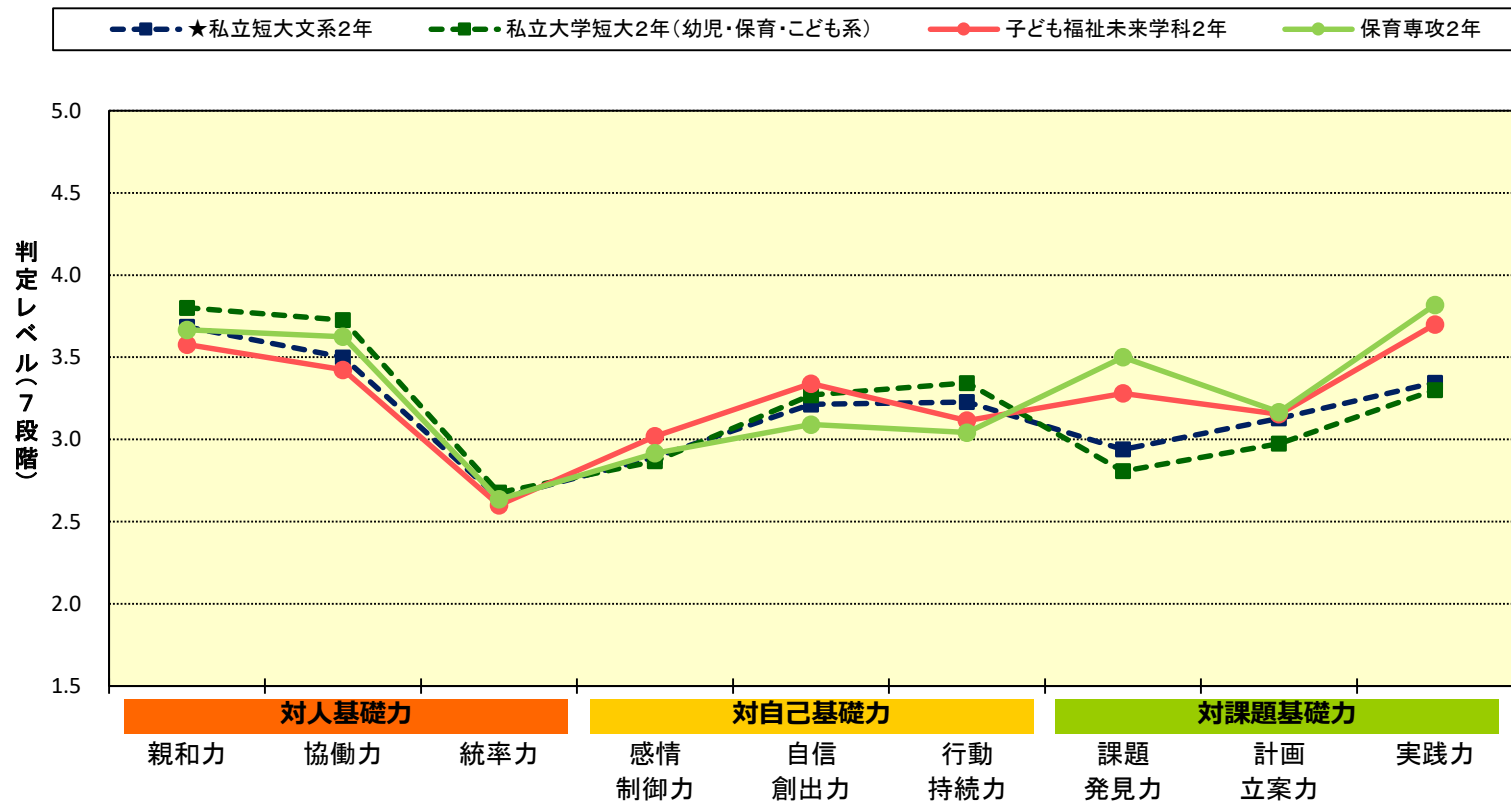


コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【保育専攻2年】

基準集団(★印)と比較して、課題発見力、実践力の平均値は高く、協働力、感情制御力、計画立案力の平均値は上回る傾向にある。一方、親和力、統率力、自信創出力、行動持続力の平均値は下回る傾向にある。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

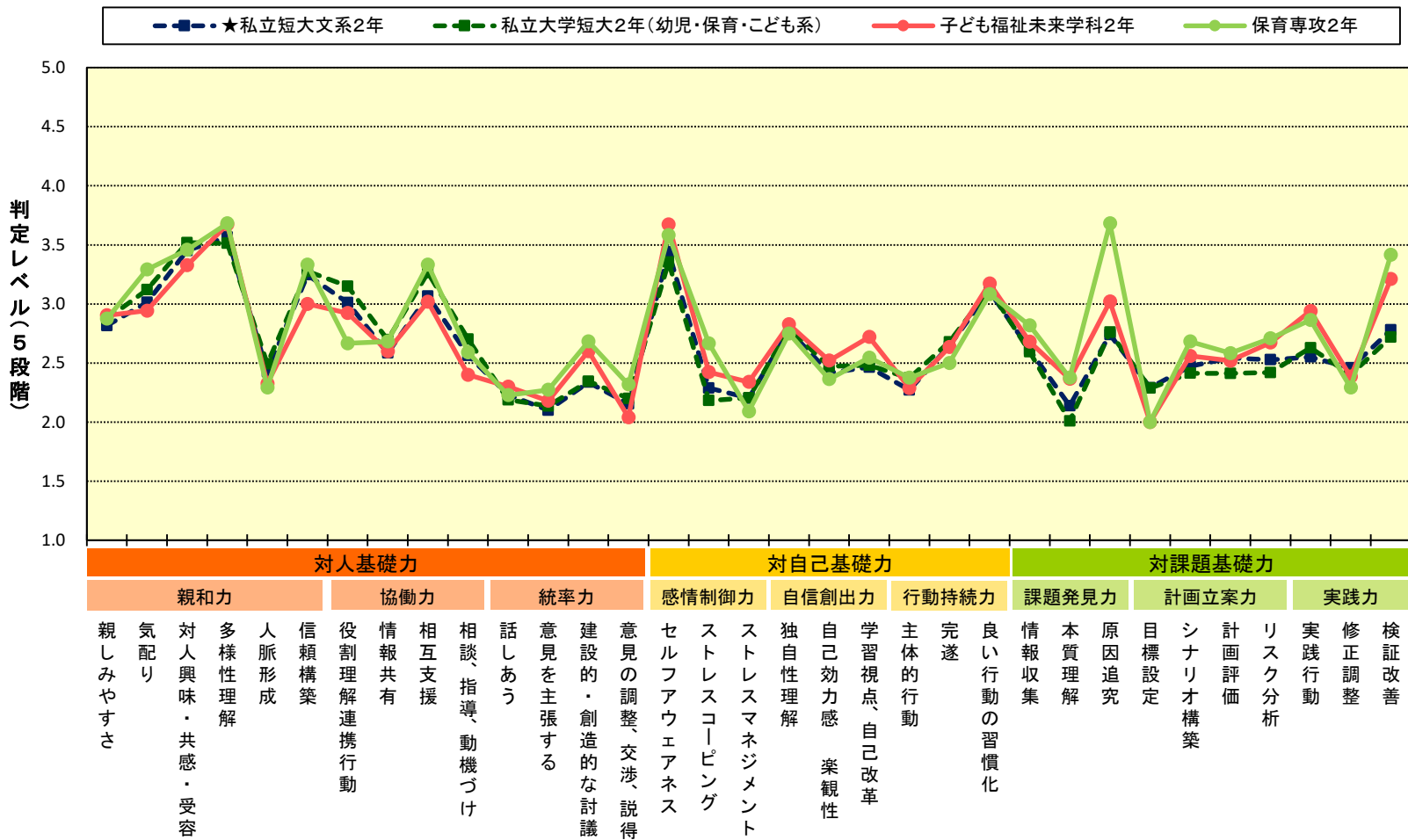
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【保育専攻2年】

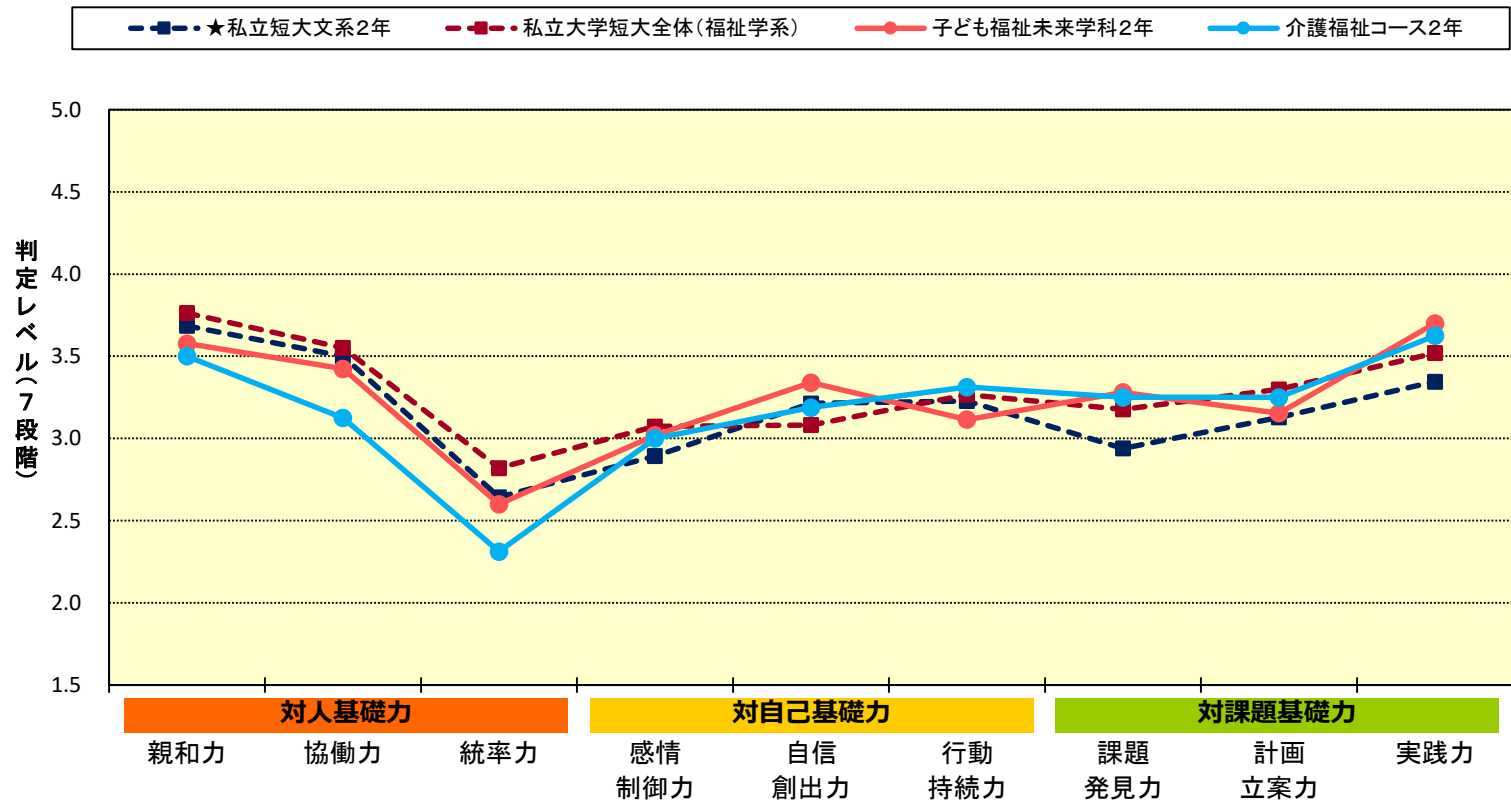
コンピテンシー小分類要素



【介護福祉コース2年】

基準集団(★印)と比較して、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は上回る傾向にある。一方、親和力、協働力、自信創出力の平均値は下回る傾向にあり、統率力の平均値は低い。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

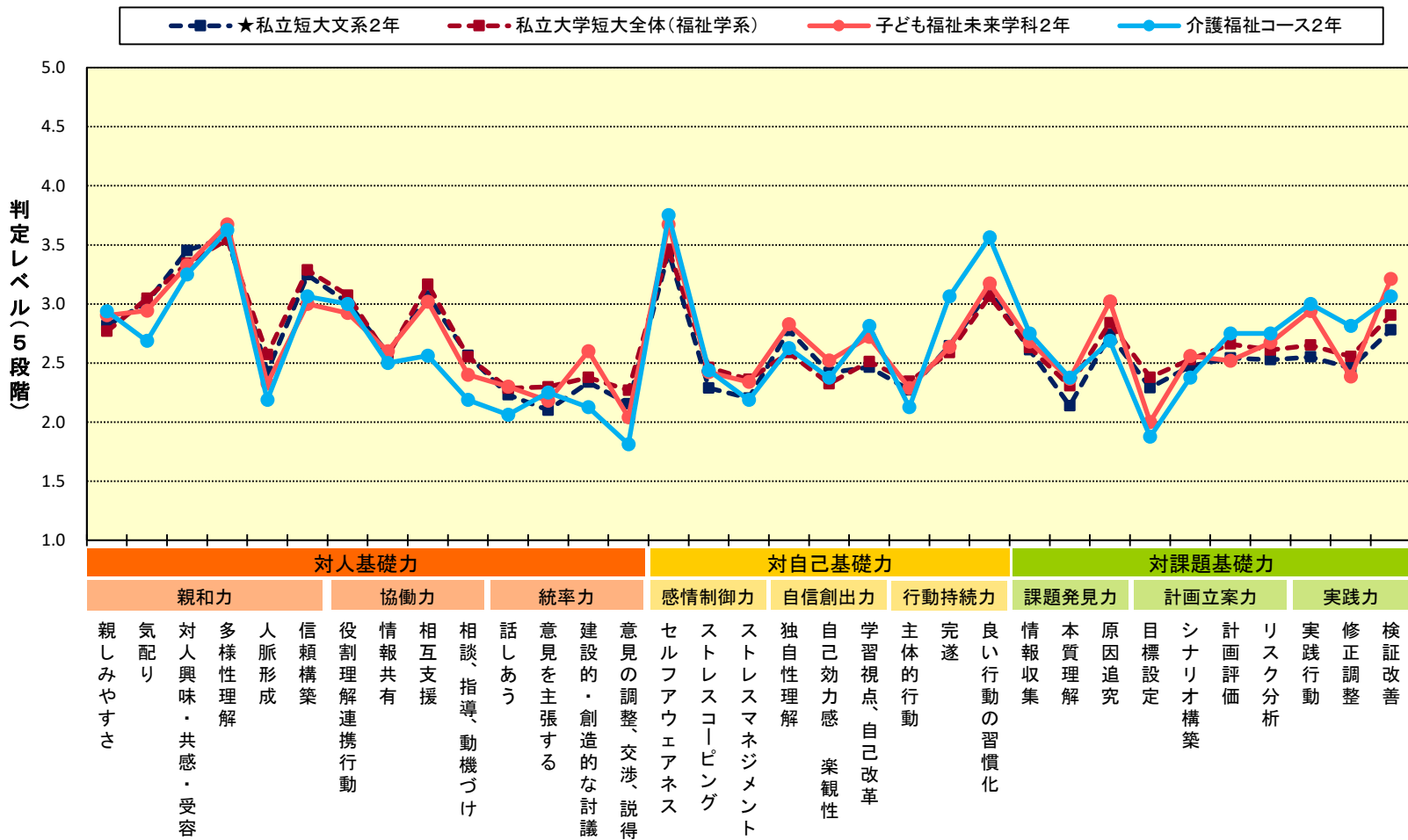
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【介護福祉コース2年】

コンピテンシー小分類要素



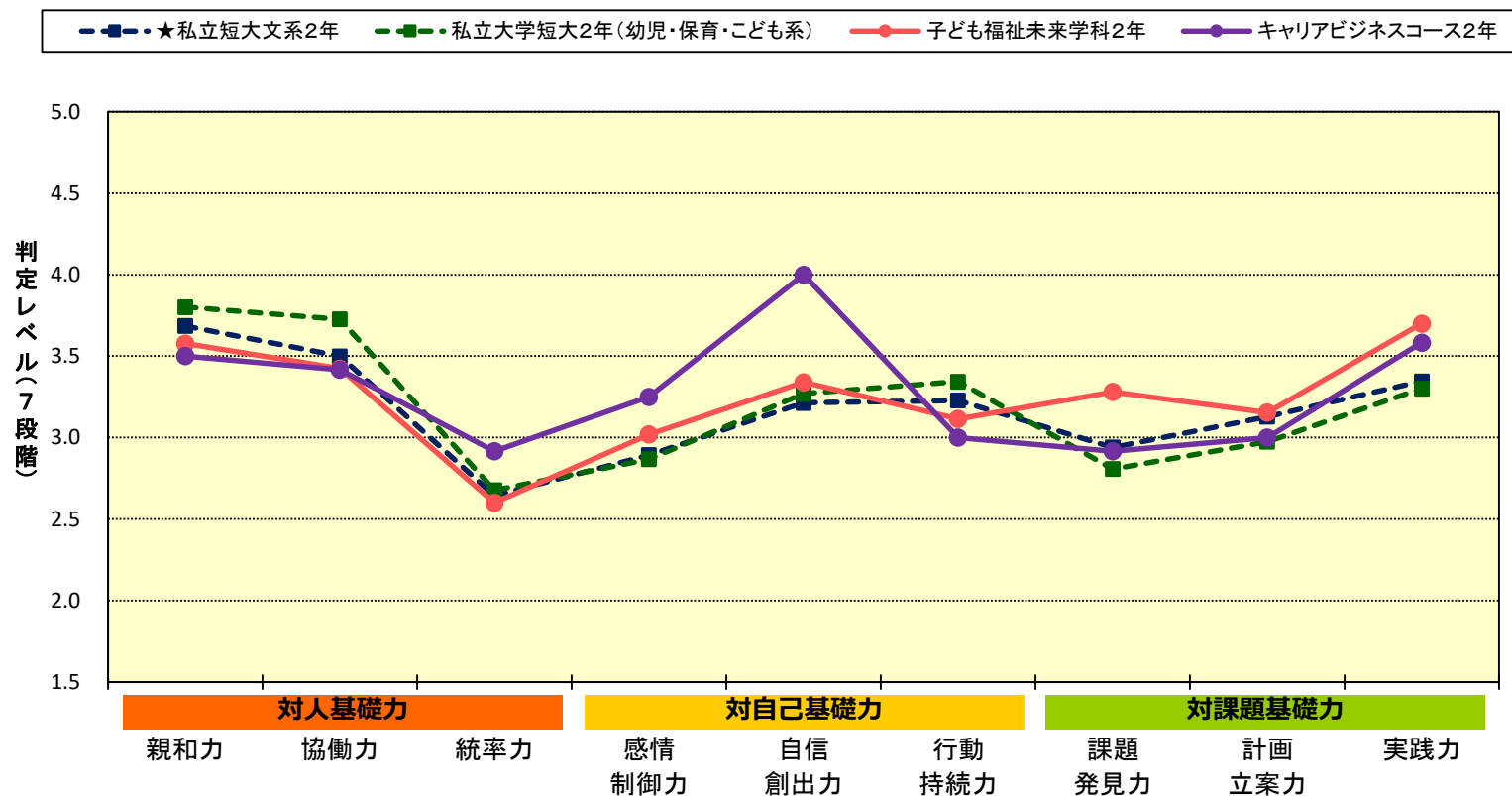
【キャリアビジネスコース2年】

基準集団(★印)と比較して、自信創出力の平均値は高く、統率力、感情制御力、実践力の平均値は上回る傾向にある。

一方、親和力、協働力、行動持続力、課題発見力、計画立案力の平均値は下回る傾向にある。

(※キャリアビジネスコース2年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

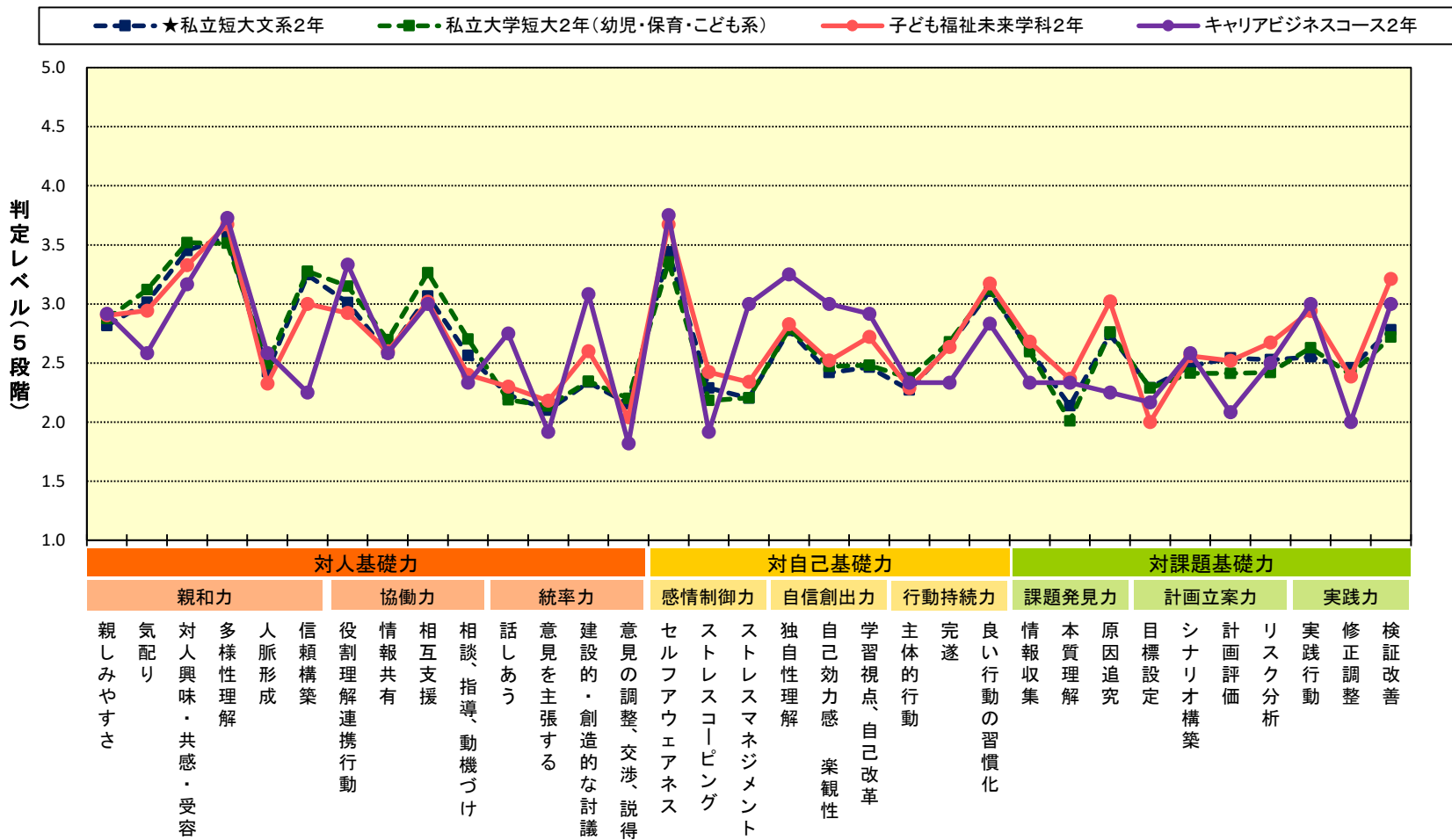
2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

【キャリアビジネスコース2年】

(※キャリアビジネスコース2年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素



	コンピテンシー									
	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
		親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
子ども福祉未来学科2年	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎
保育専攻2年	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎
介護福祉コース2年	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-
キャリアビジネスコース2年	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-

記号のみかた

【コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

今後の課題と対策

【子ども福祉未来学科2年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー	基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	

【保育専攻2年】

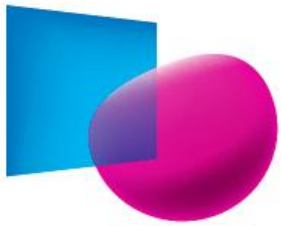
強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー	基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	

【介護福祉コース2年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー ●統率力	自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる 話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるができる 自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる 意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを伝えることができる	自分の考えを整理して、相手にわかり易く伝えられるようにする 周囲に対して、自分の要望をはっきり伝えるようにする 表現豊かに話したり、書いたりする機会を設ける 粘り強く周囲に説明をするような機会を設ける

【キャリアビジネスコース2年】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■コンピテンシー	基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.2 過去受験者比較 1年

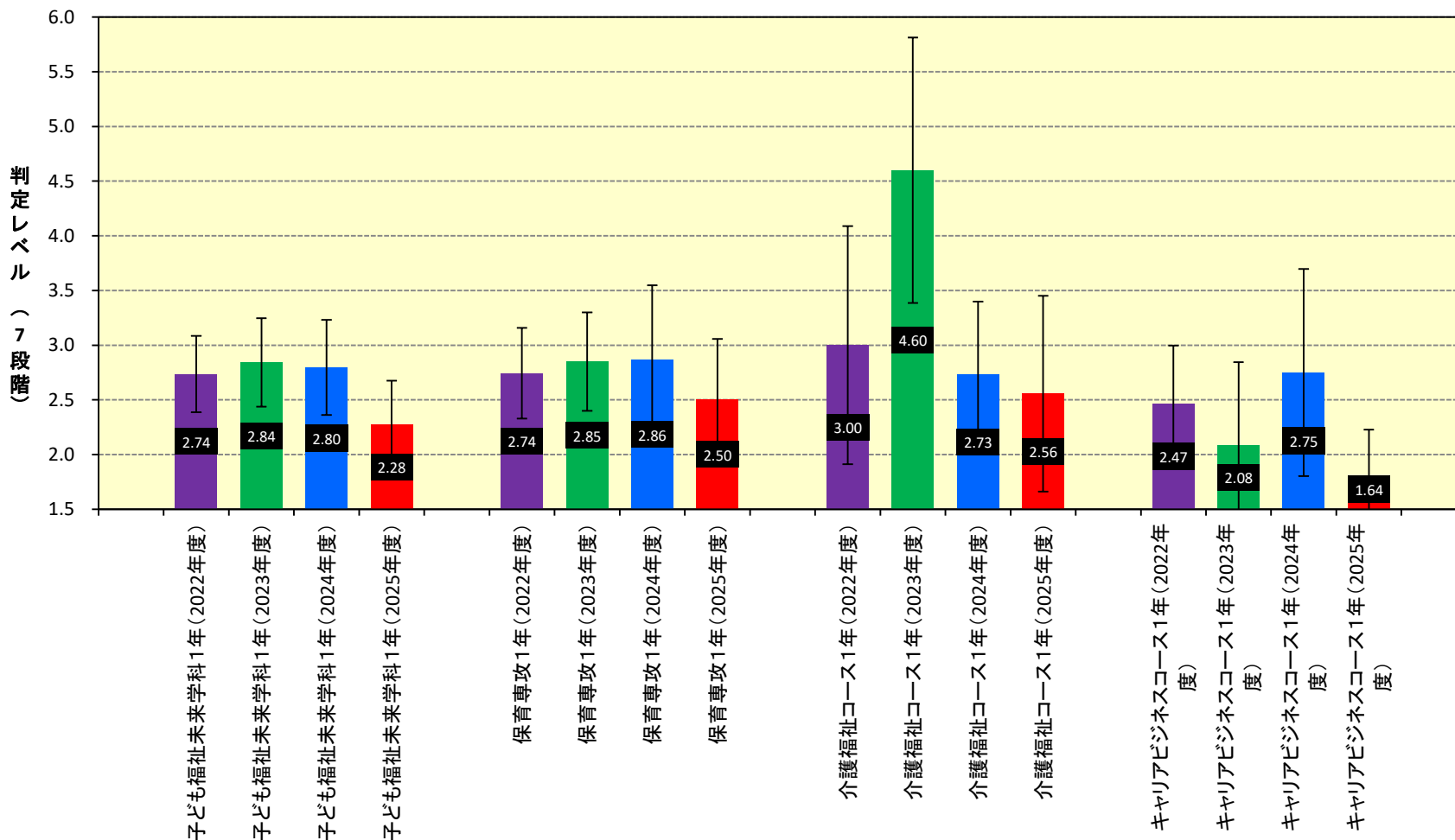
学科	専攻・コース	2022年度 1年	2023年度 1年	2024年度 1年	2025年度 1年
		2022年6月 受験	2023年5月 受験	2024年5月 受験	2025年5月 受験
子ども福祉未来学科	保育専攻	40	40	23	20
	介護福祉コース	14	6	15	9
	キャリアビジネスコース	15	12	12	11
合計		69	58	50	40

コンピテンシー総合（過去の受験者との比較）

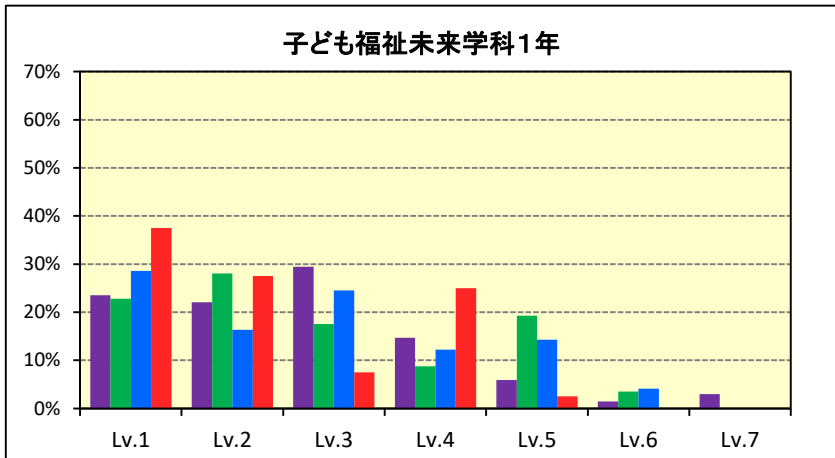
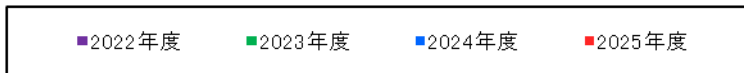
●子ども福祉未来学科1年、保育専攻1年、介護福祉コース1年、キャリアビジネスコース1年は、2024年度のスコアを下回る。

（※介護福祉コース1年（2022年度、2023年度、2024年度、2025年度）、キャリアビジネスコース1年（2022年度、2023年度、2024年度、2025年度）は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

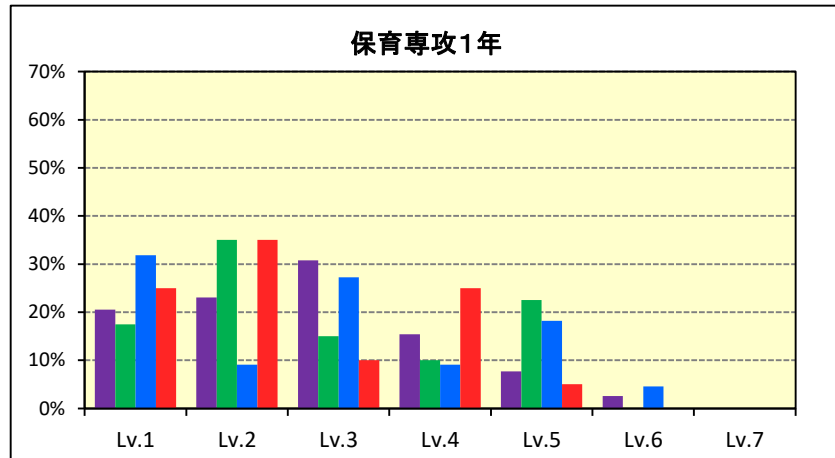
コンピテンシー総合



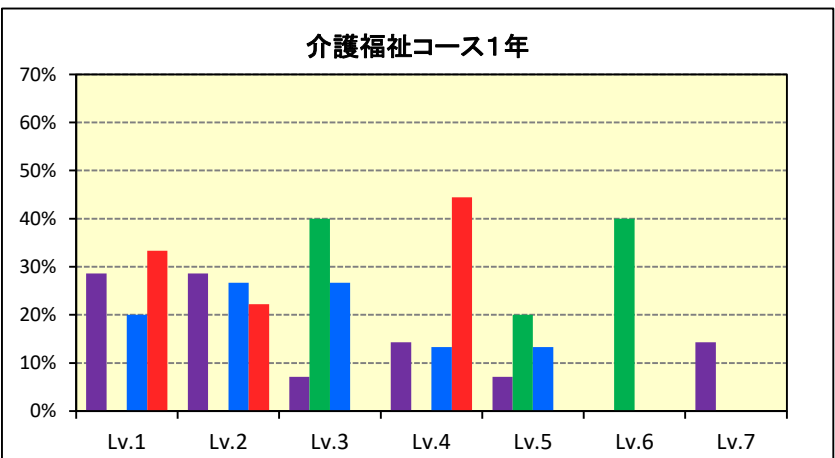
※平均グラフの先端のI状の縦線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。



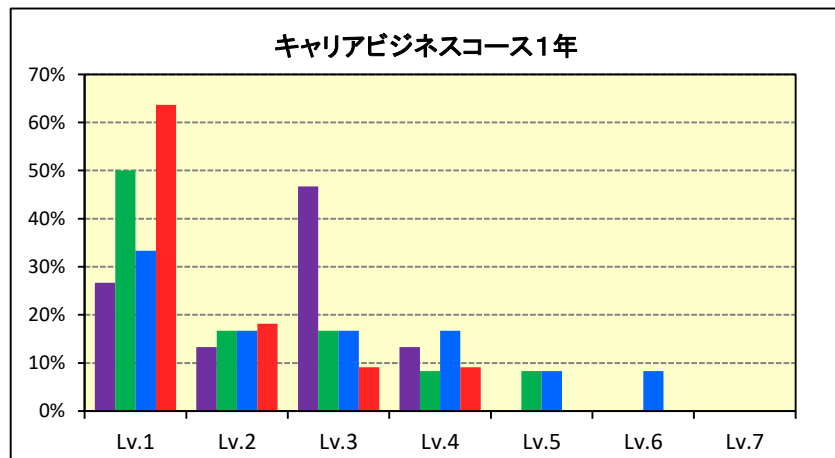
2024年度に比べて、レベル3、レベル5～6のボリュームが小さく、レベル1～2、レベル4のボリュームが大きい。



2024年度に比べて、レベル1、レベル3、レベル5～6のボリュームが小さく、レベル2、レベル4の割合が大きい。



(※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)



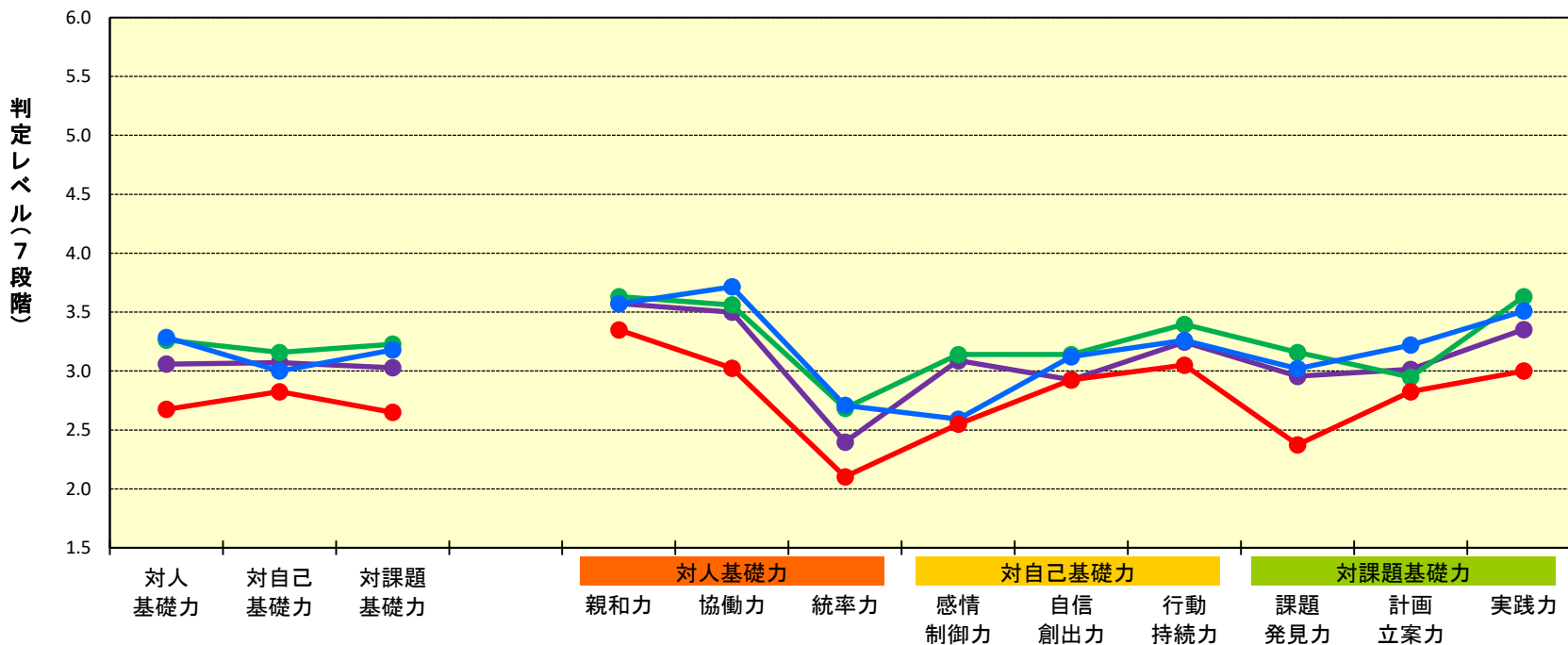
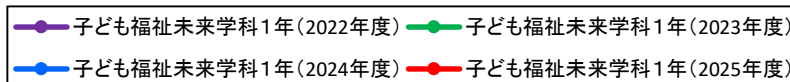
(※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）①

【子ども福祉未来学科1年】

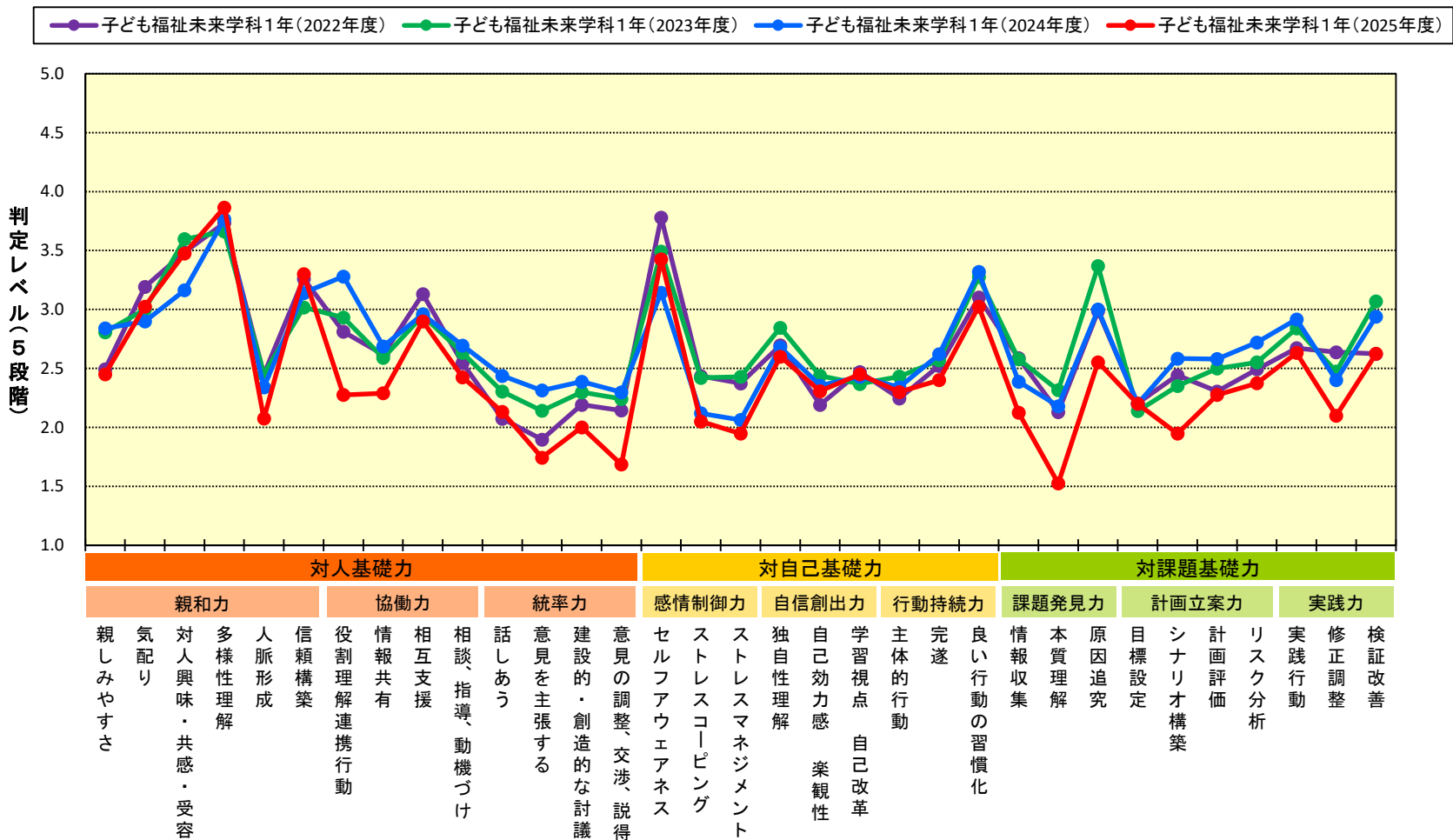
親和力、協働力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



【子ども福祉未来学科1年】

コンピテンシー小分類要素



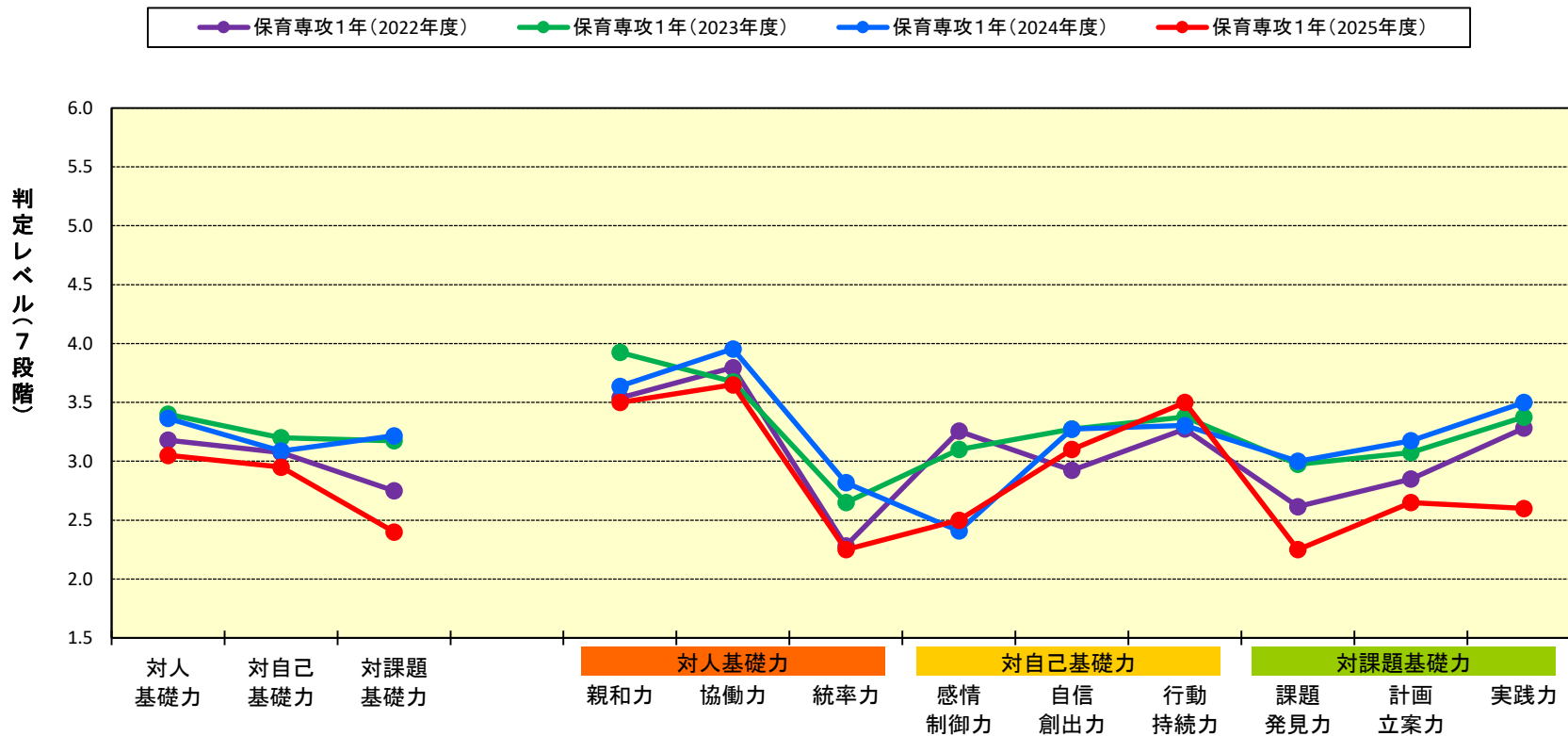
コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）②

【保育専攻1年】

感情制御力、行動持続力は、2024年度のスコアを上回る。

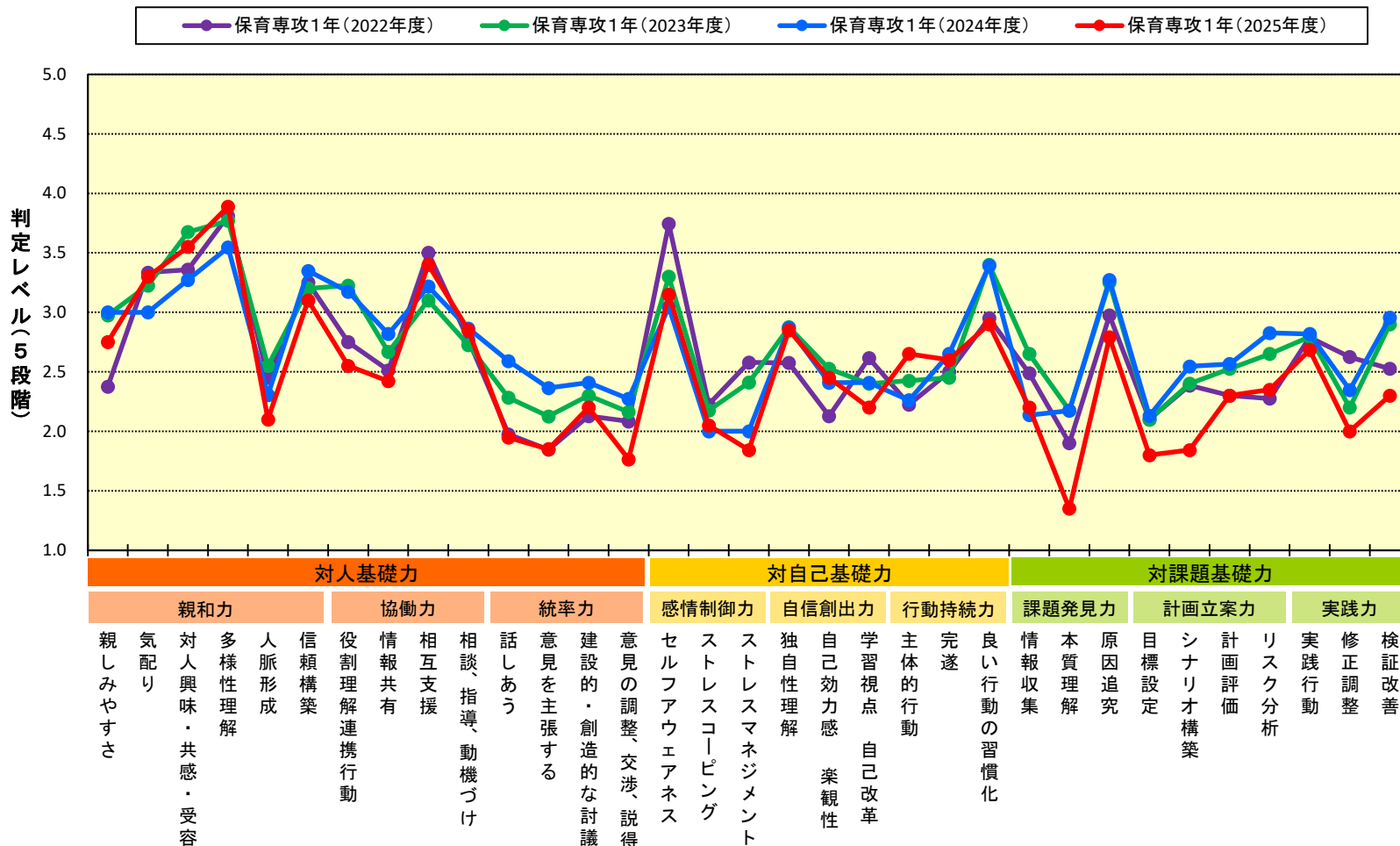
一方、親和力、協働力、統率力、自信創出力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



【保育専攻1年】

コンピテンシー小分類要素



コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）③

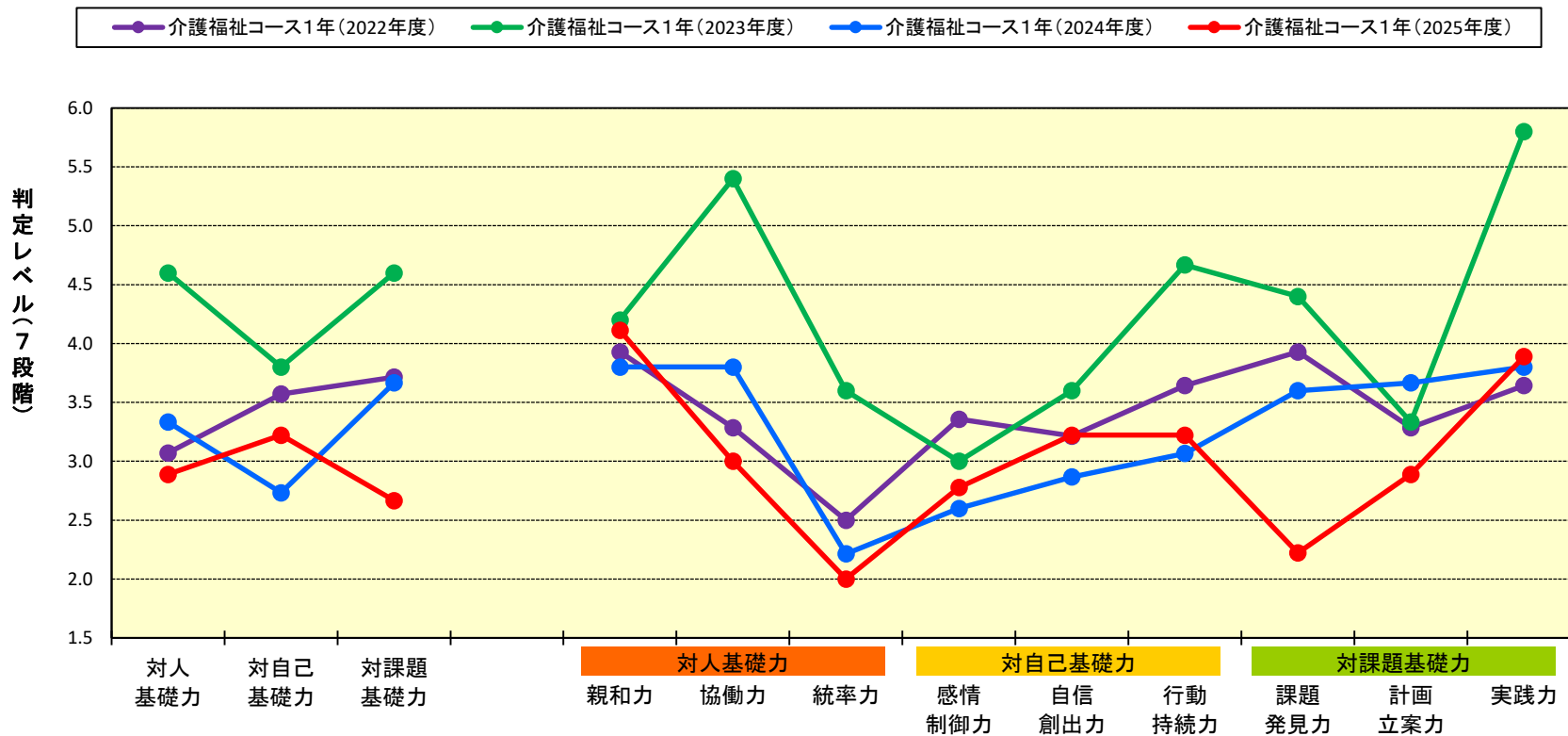
【介護福祉コース1年】

親和力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、協働力、統率力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを下回る。

(※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー要素の伸長

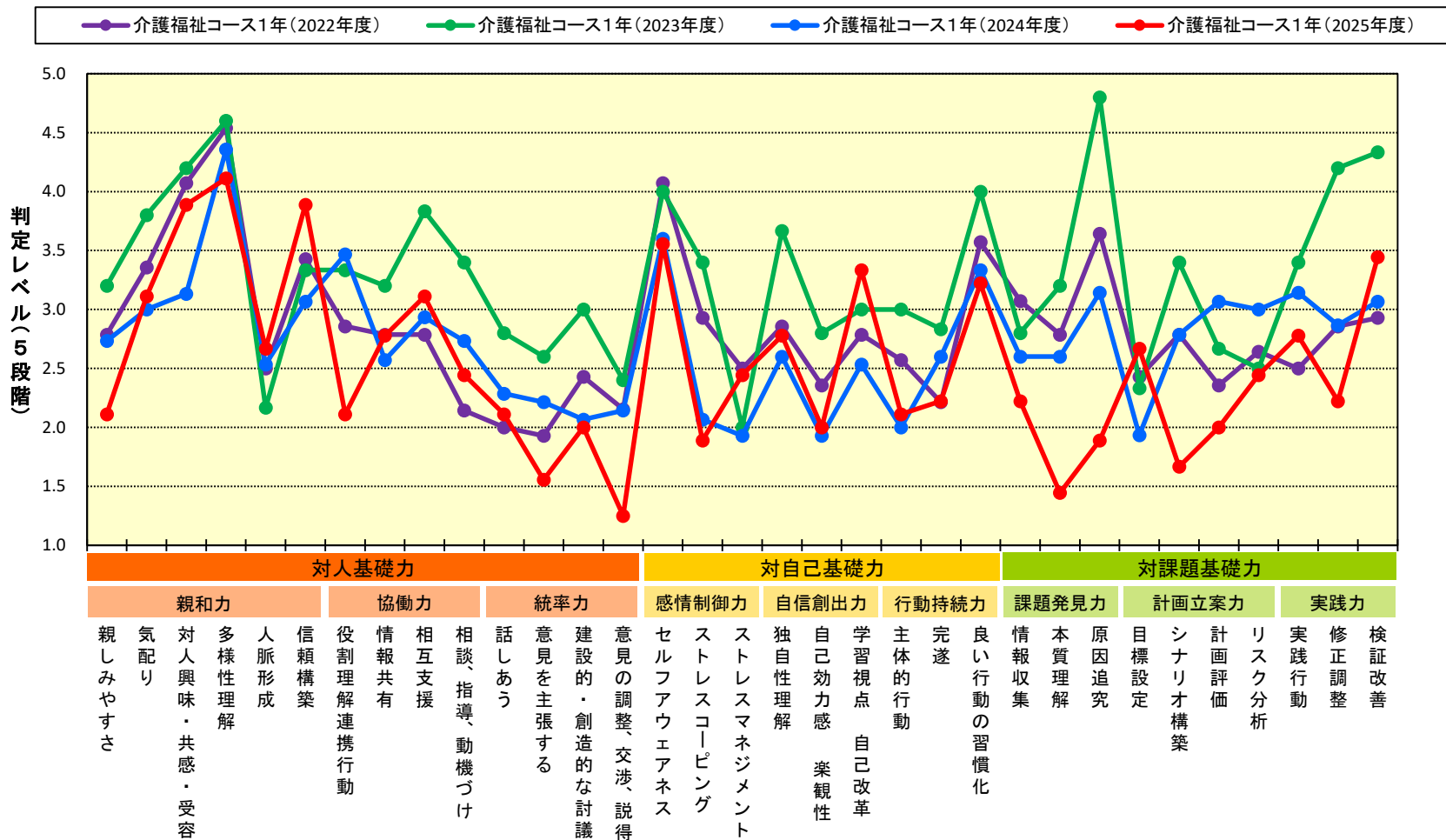


コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）③

【介護福祉コース1年】

(※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素



コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）④

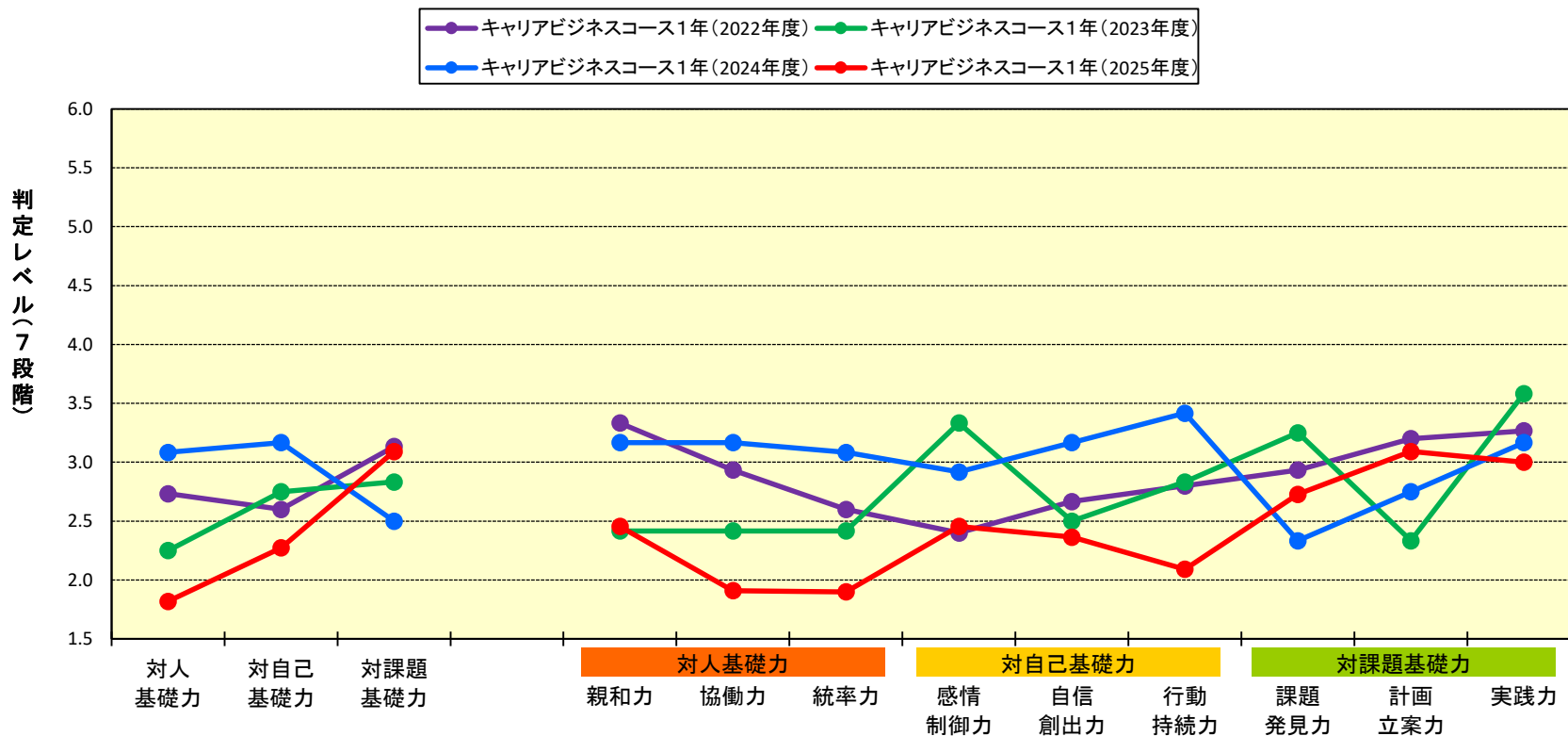
【キャリアビジネスコース1年】

課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

(※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー要素の伸長

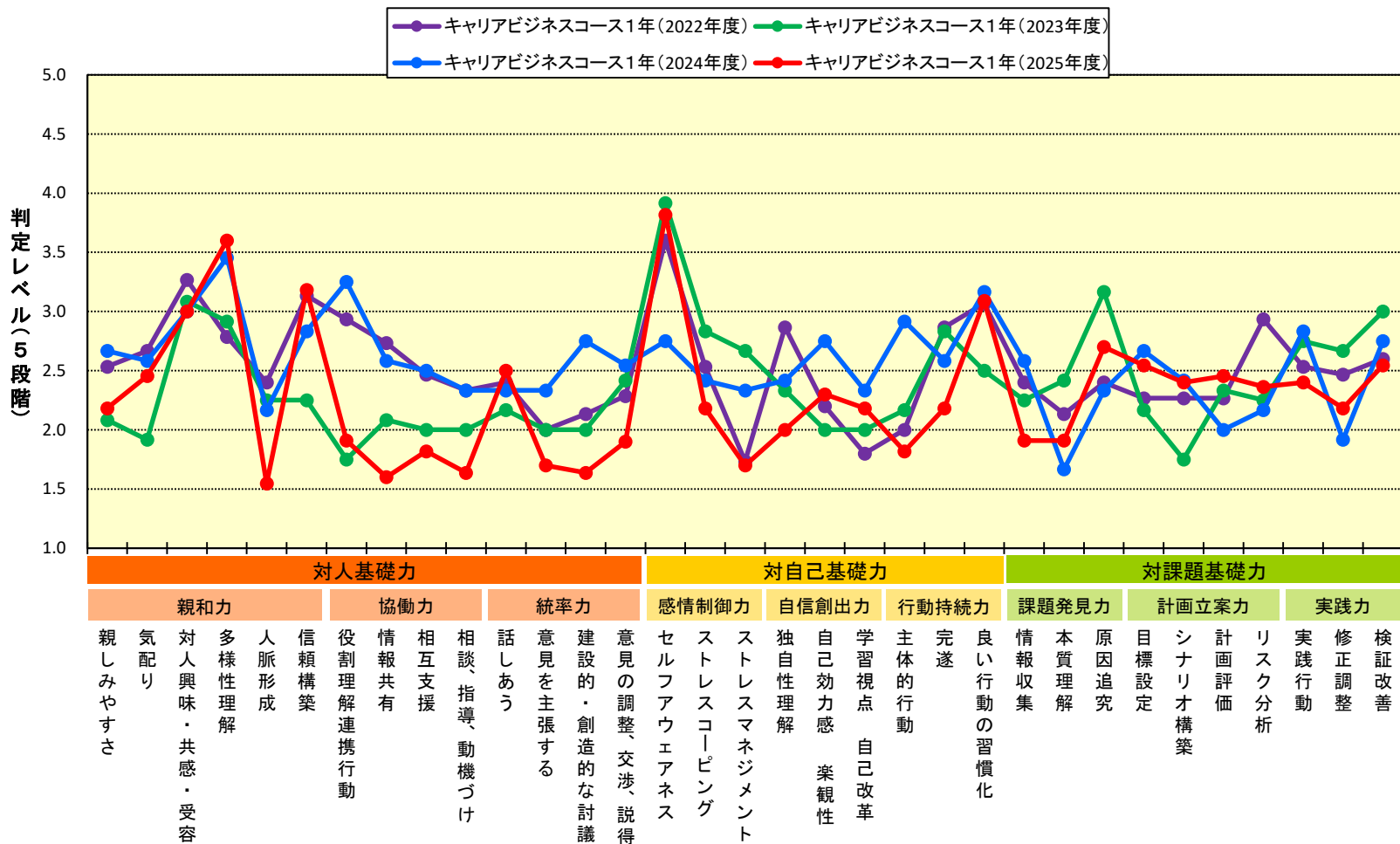


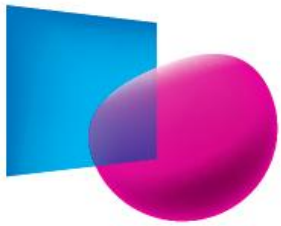
コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）④

【キャリアビジネスコース1年】

（※2022年度、2023年度、2024年度、2025年度は、受験者のサンプル数が少ないため参考値とお考えください。）

コンピテンシー小分類要素





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

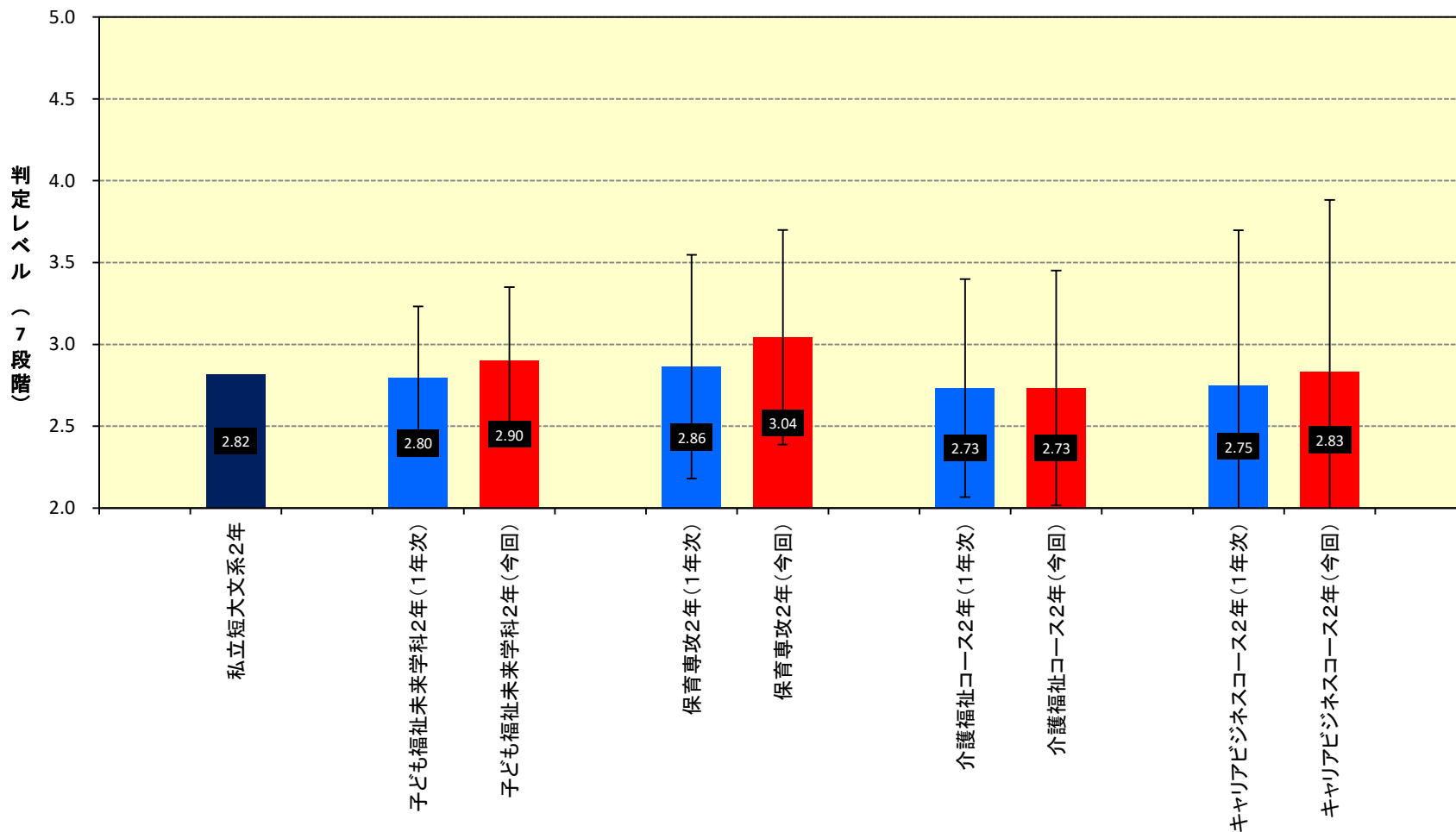
Part.3

成長分析 2年

学科	専攻・コース	1年次 2024年5月 受験	2年次(今回) 2025年5月 受験	集計対象者 (1年次・2年次 いずれも受験)
子ども福祉未来学科	保育専攻	23	24	23
	介護福祉コース	15	16	15
	キャリアビジネスコース	12	12	12
合計		50	52	50

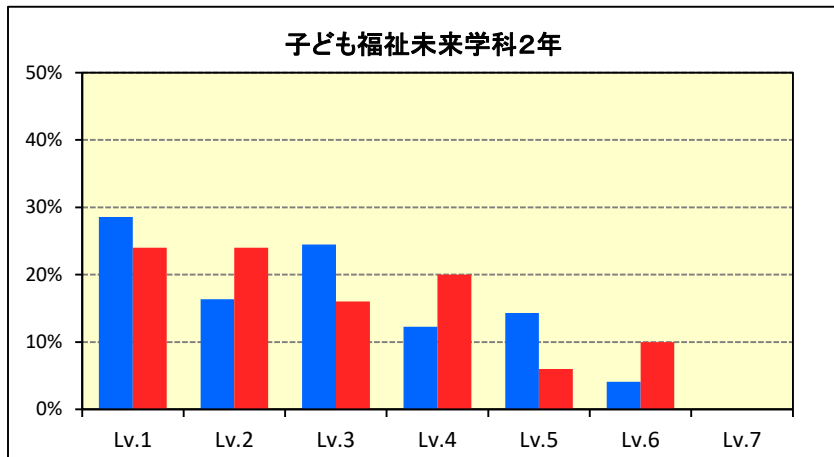
- 子ども福祉未来学科2年、保育専攻2年、キャリアビジネスコース2年は、1年次受験のスコアを上回る。
 - 介護福祉コース2年は、1年次受験と同水準。
- （※介護福祉コース2年、キャリアビジネスコース2年は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

コンピテンシー総合

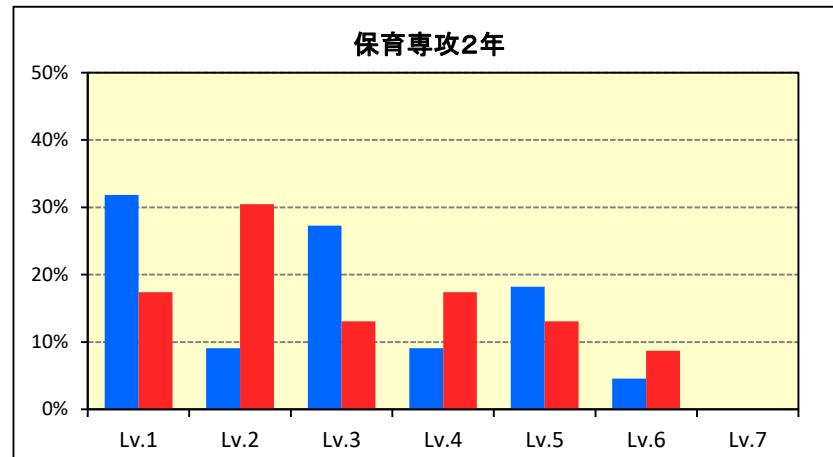


※平均グラフの先端のI状の縦線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

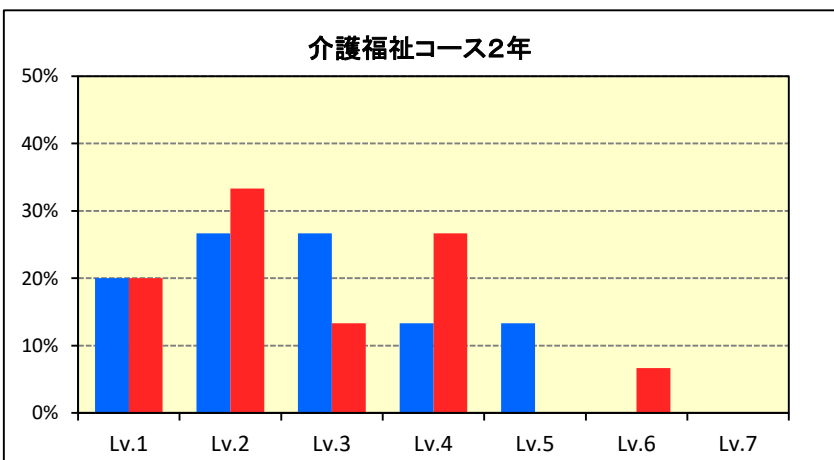
■ 1年次受験 ■ 今回受験



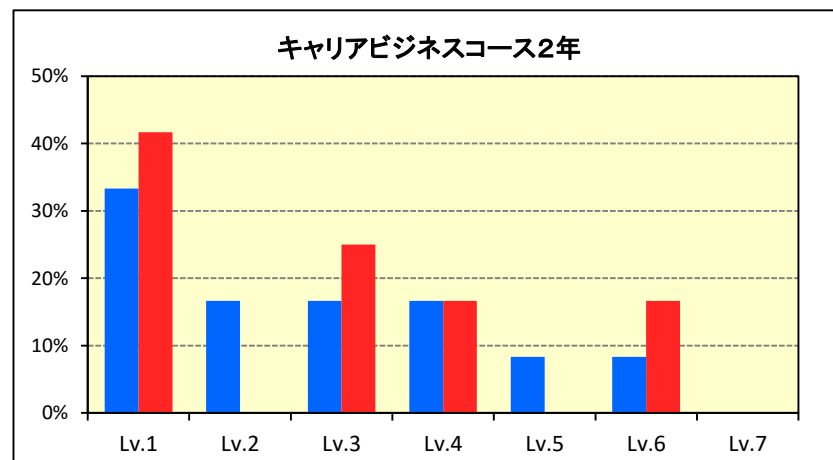
1年次受験に比べて、レベル1、レベル3、レベル5の割合が小さく、レベル2、レベル4、レベル6の割合が大きい。



1年次受験に比べて、レベル1、レベル3、レベル5の割合が小さく、レベル2、レベル4、レベル6の割合が大きい。



(※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

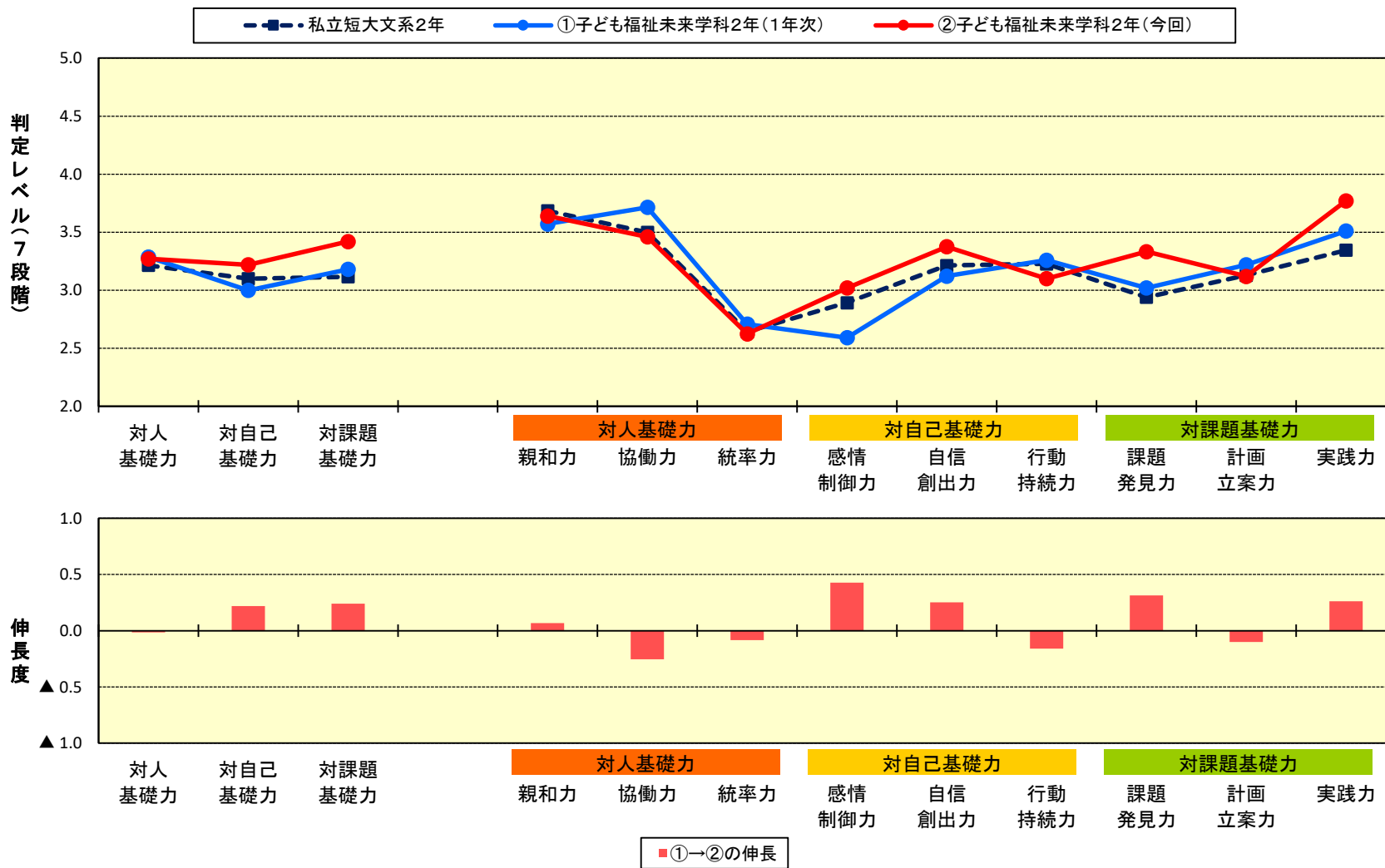


(※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

【子ども福祉未来学科2年】

親和力、感情制御力、自信創出力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。
 一方、協働力、統率力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

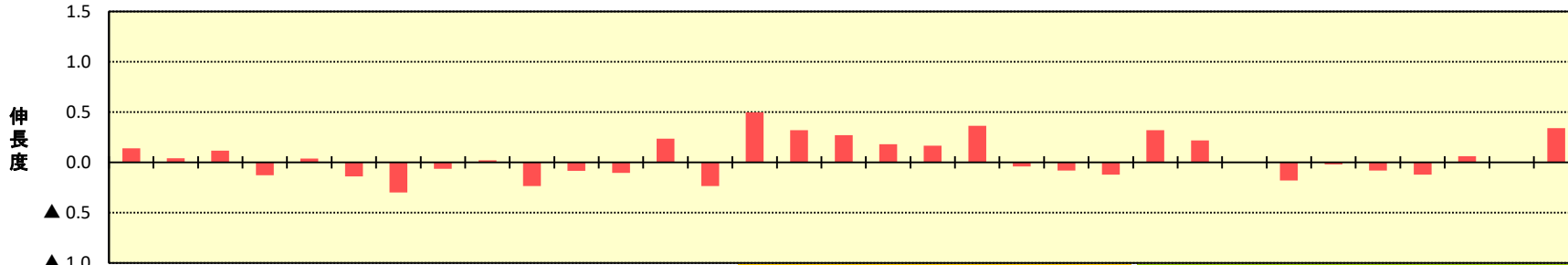
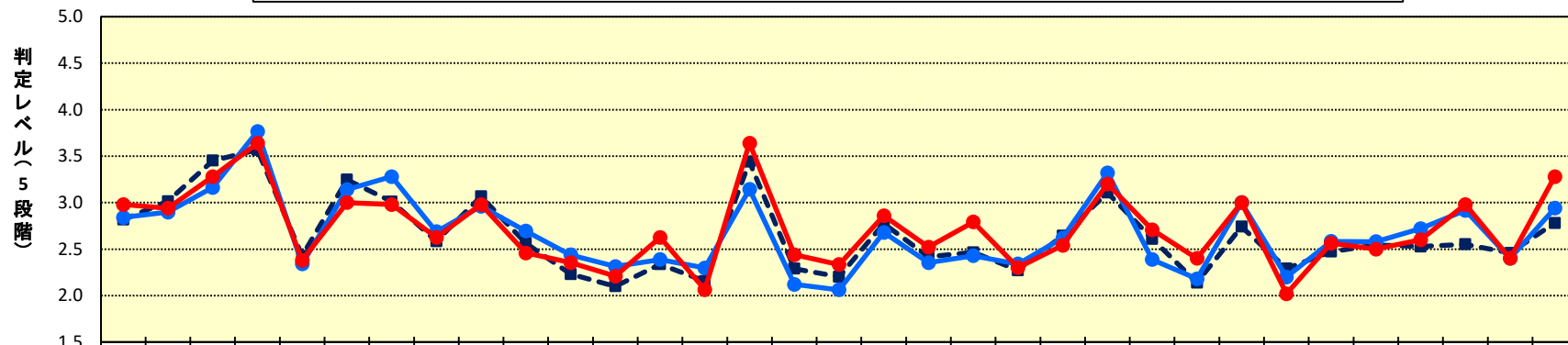


コンピテンシー小分類要素 (成長分析) ①

【子ども福祉未来学科2年】

コンピテンシー小分類要素

■ 私立短大文系2年
 ● ①子ども福祉未来学科2年(1年次)
 ● ②子ども福祉未来学科2年(今回)



対人基礎力				対自己基礎力				対課題基礎力							
親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	セルフアウェアネス	感情制御力	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化
人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性
多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解
人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性
信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革
役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力
情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂
相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化
相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集
話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解
意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究
建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定
意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築
セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価
ストレスコーピング	感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析
感情制御力	自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動
自信創出力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整
独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善	
学習視点 自己改革	行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善		
行動持続力	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善			
完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善				
良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善					
情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善						
本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善							
原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善								
目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善									
シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善										
計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善											
リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善												
実践行動	修正調整	検証改善													
修正調整	検証改善														
検証改善															

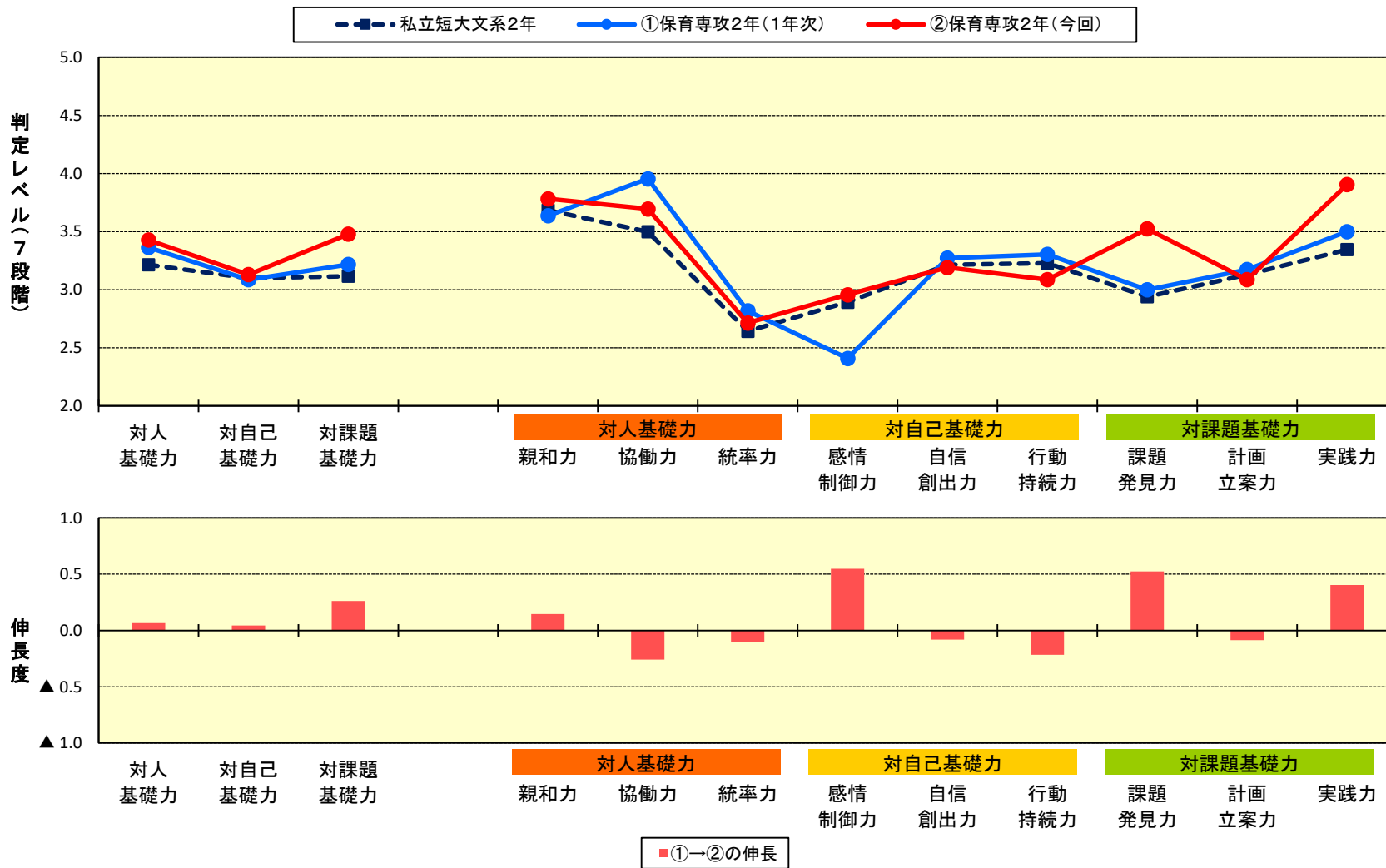
■ ①→②の伸長

【保育専攻2年】

親和力、感情制御力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、協働力、統率力、自信創出力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

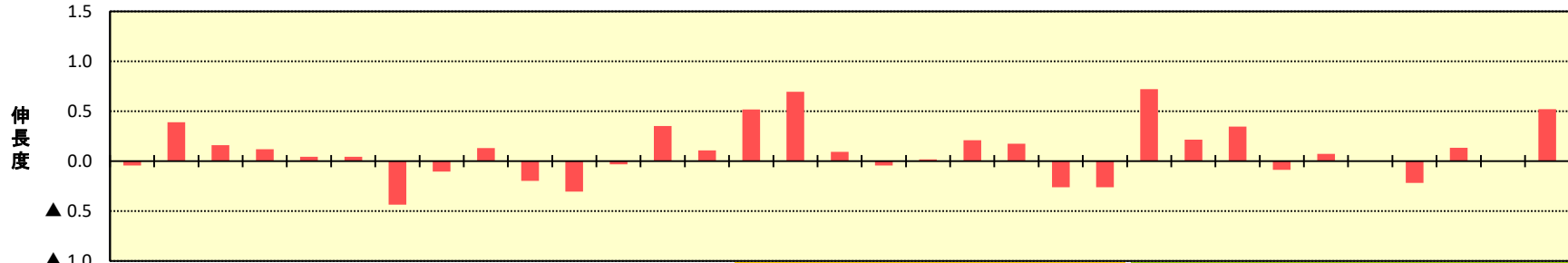
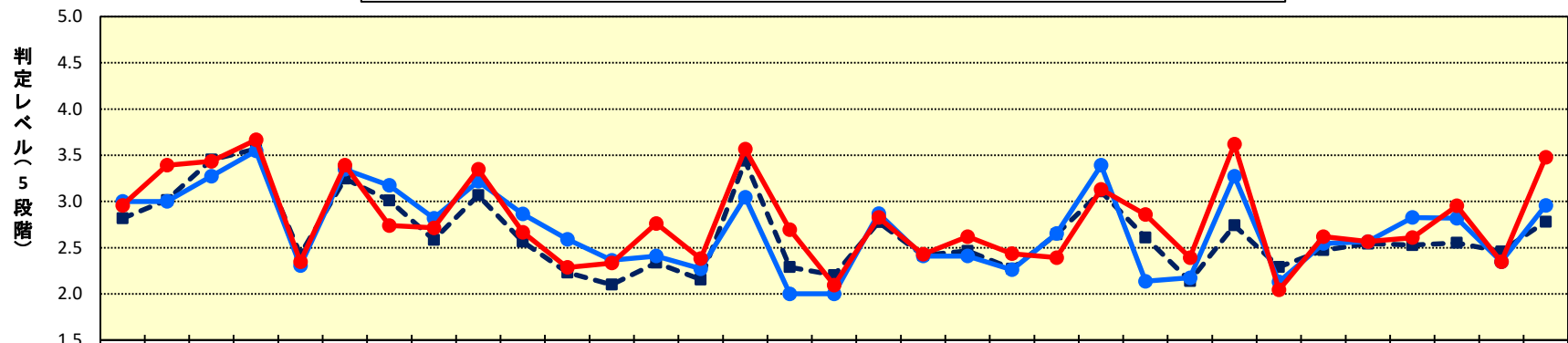


コンピテンシー小分類要素 (成長分析) ②

【保育専攻2年】

コンピテンシー小分類要素

■ 私立短大文系2年
 ● ①保育専攻2年(1年次)
 ● ②保育専攻2年(今回)



対人基礎力				対自己基礎力				対課題基礎力					
親和力		協働力		感情制御力		自信創出力		課題発見力		計画立案力		実践力	
親しみやすさ	気配り	役割理解連携行動	情報共有	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	独自性理解	自己効力感楽観性	情報収集	本質理解	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整
対人興味・共感・受容	多様性理解	相互支援	相談、指導、動機づけ	意見の調整、交渉、説得	感情制御力	主体的行動	学習視点 自己改革	原因追究	目標設定	シナリオ構築	実践行動	修正調整	検証改善

■ ①→②の伸長

コンピテンシー大分類要素（成長分析）③

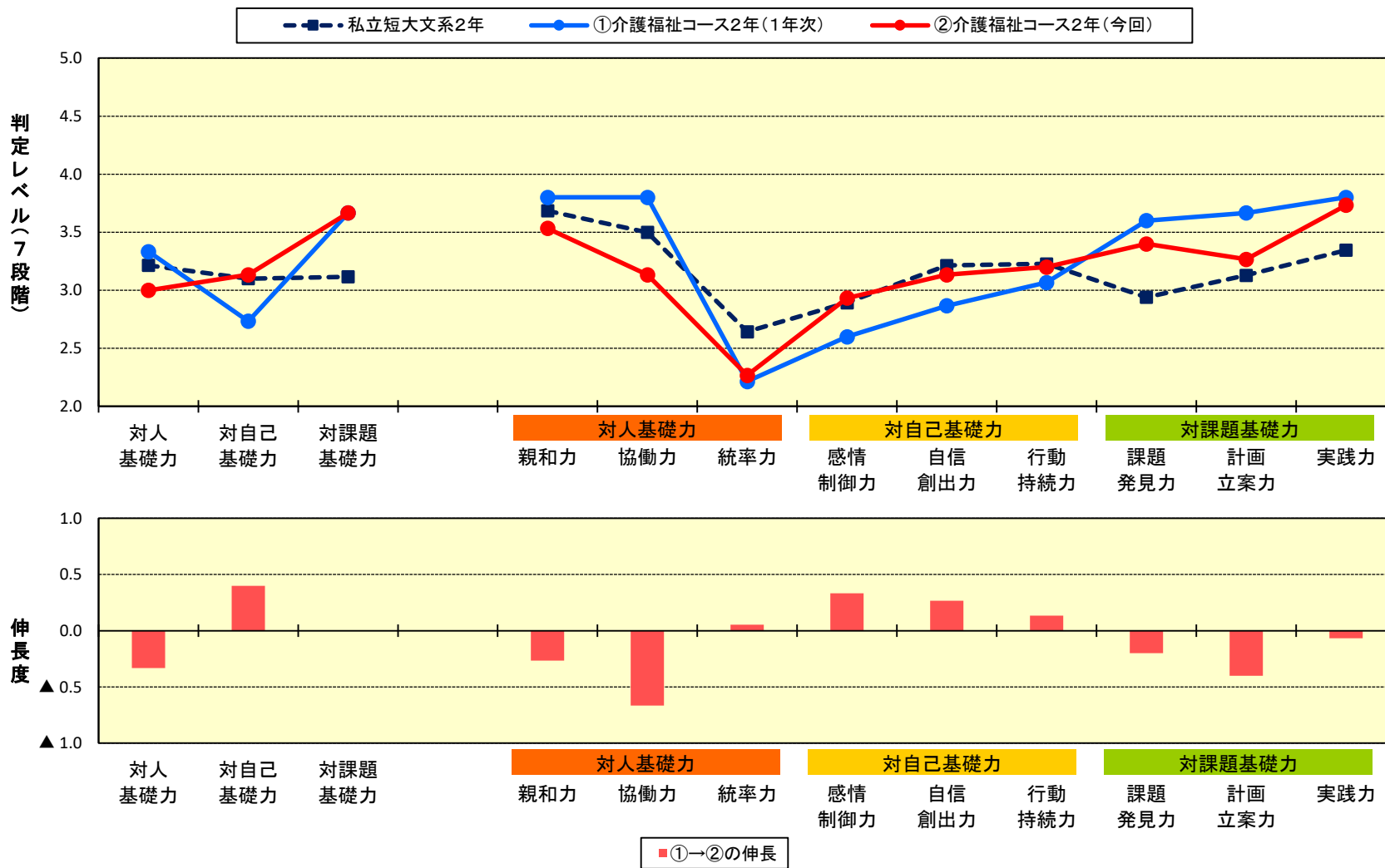
【介護福祉コース2年】

統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、課題発見力、計画立案力、実践力は、1年次受験のスコアを下回る。

(※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー要素の伸長



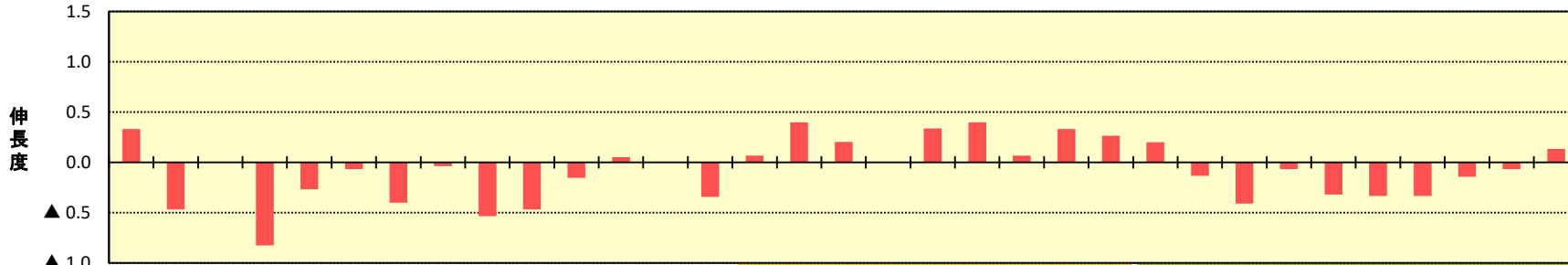
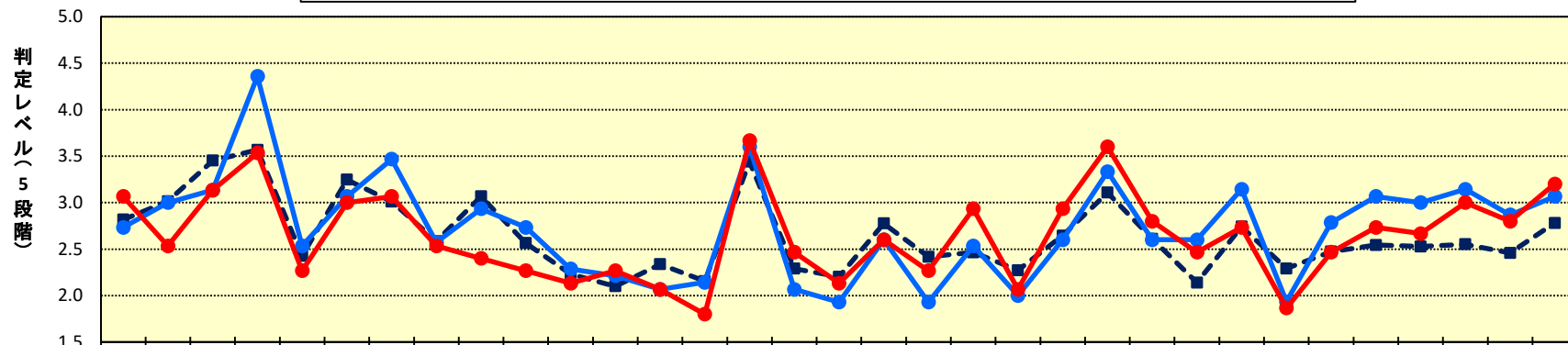
コンピテンシー小分類要素 (成長分析) ③

【介護福祉コース2年】

(※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー小分類要素

■ 私立短大文系2年
 ● ①介護福祉コース2年(1年次)
 ● ②介護福祉コース2年(今回)



対人基礎力				対自己基礎力				対課題基礎力																							
親和力		協働力		感情制御力		自信創出力		課題発見力		計画立案力		実践力																			
親しみやすさ	気配り	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導、動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	感情制御力	独自性理解	自己効力感楽観性	学習視点 自己改革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善

■ ①→②の伸長

コンピテンシー大分類要素（成長分析）④

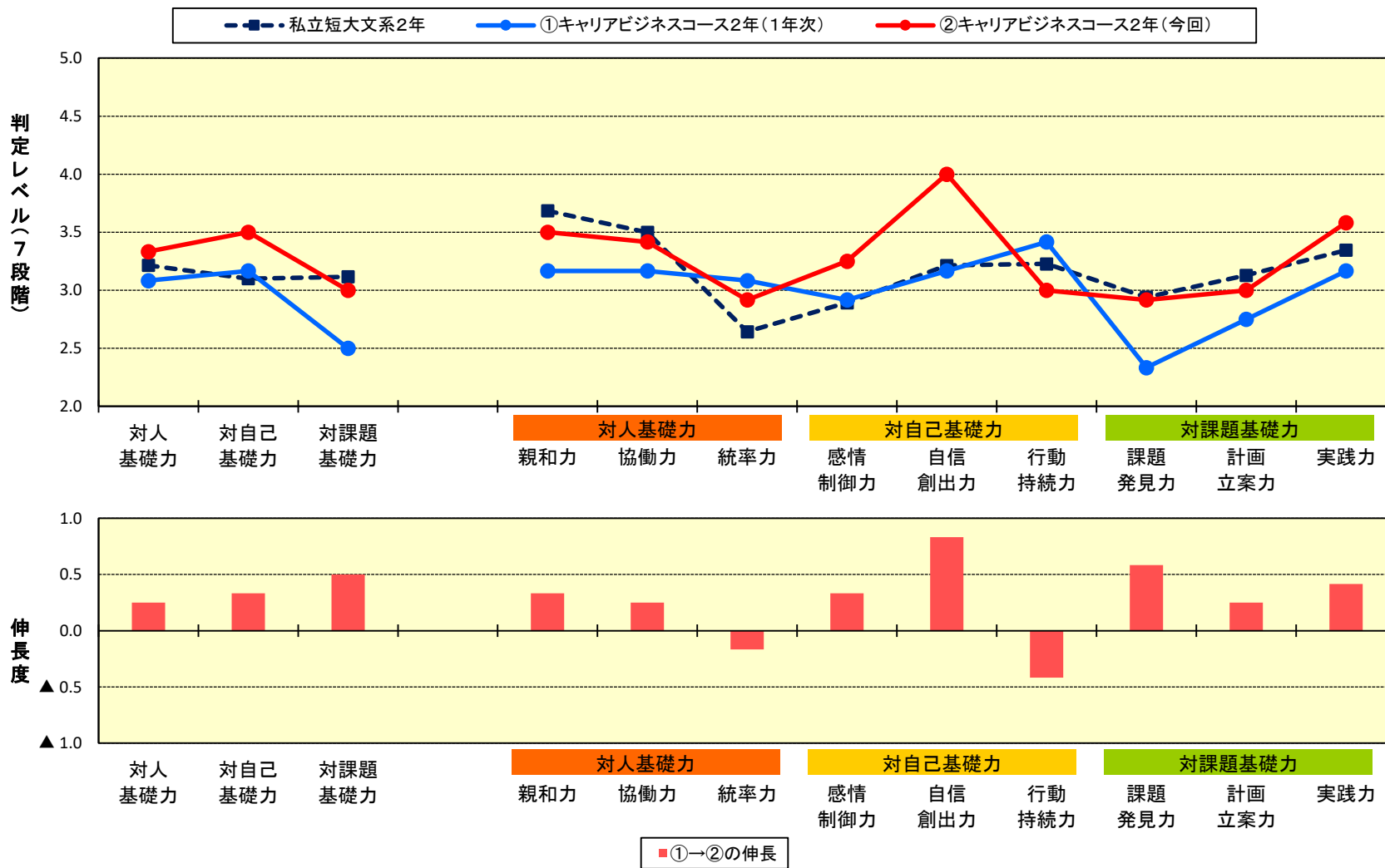
【キャリアビジネスコース2年】

親和力、協働力、感情制御力、自信創出力、課題発見力、計画立案力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、統率力は、1年次受験のスコアを下回る。

(※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

コンピテンシー要素の伸長

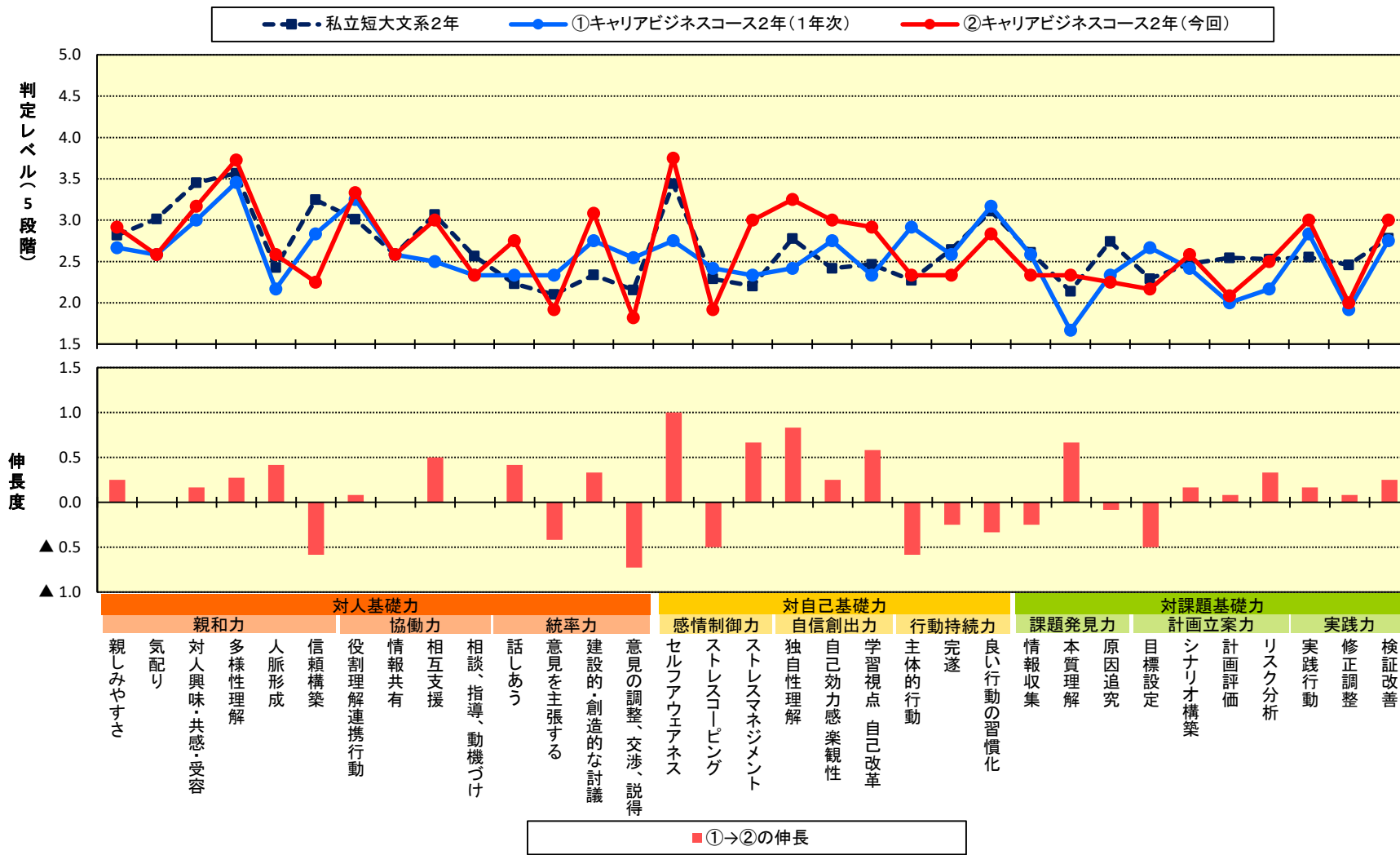


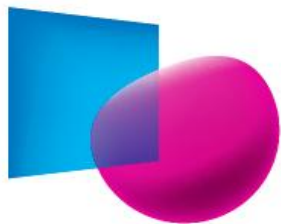
コンピテンシー小分類要素（成長分析）④

【キャリアビジネスコース2年】

（※受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

コンピテンシー小分類要素



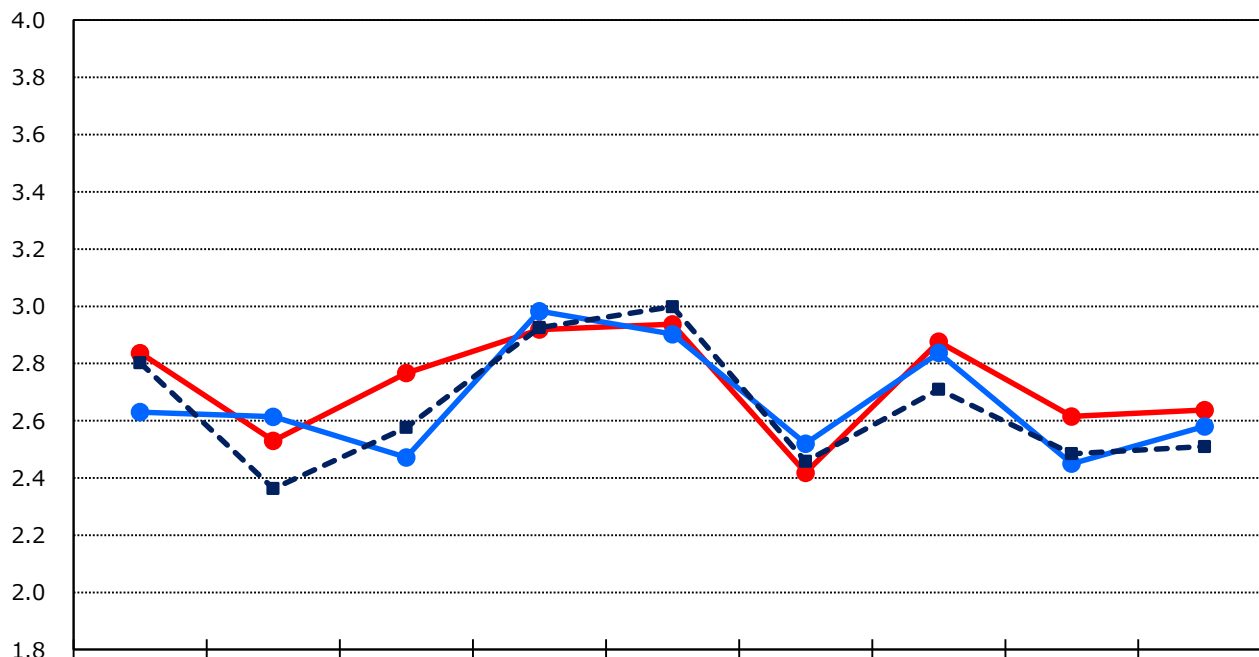
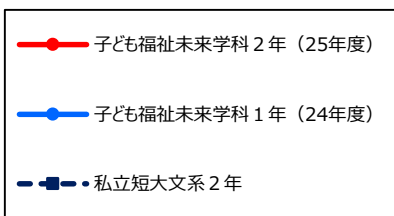


PROG

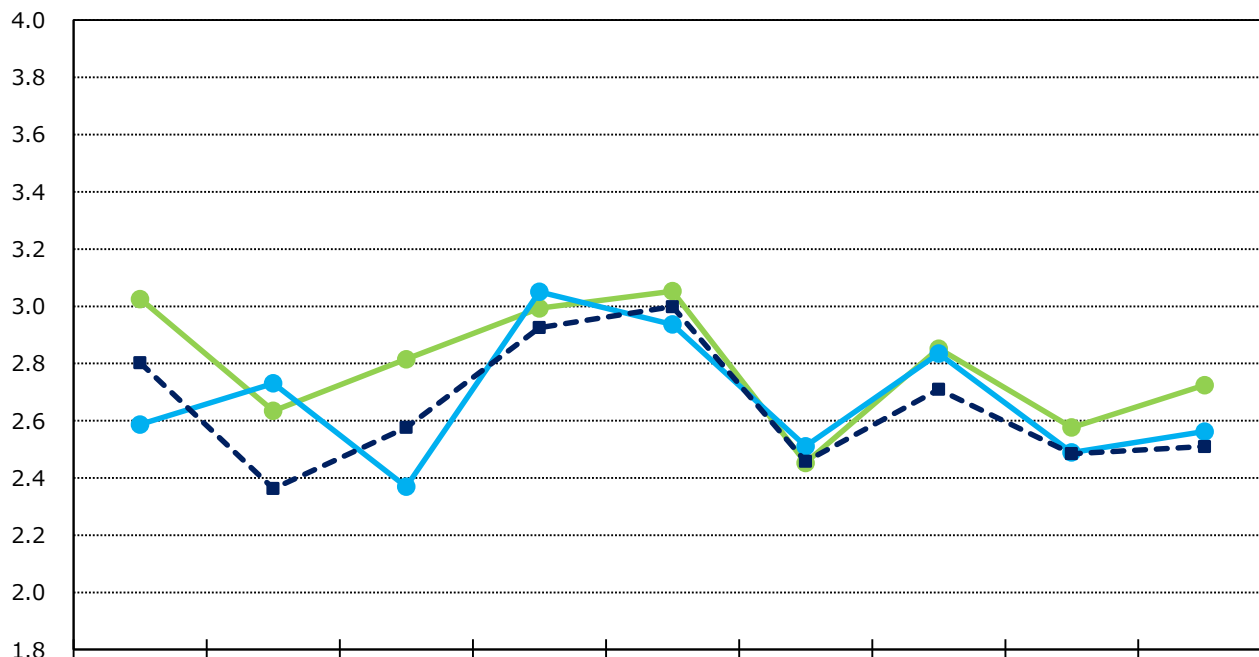
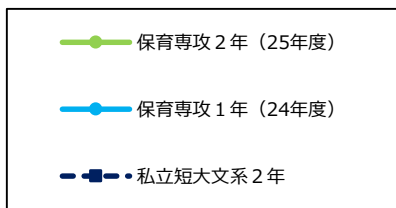
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.4 ディプロマポリシーの可視化

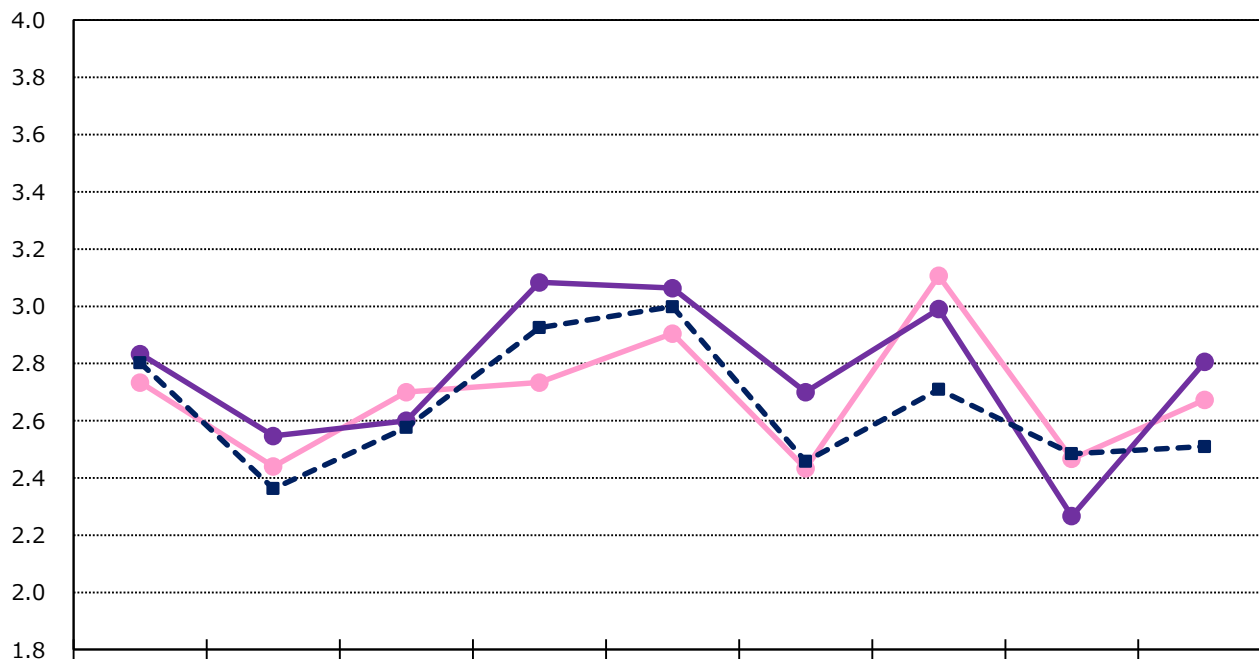
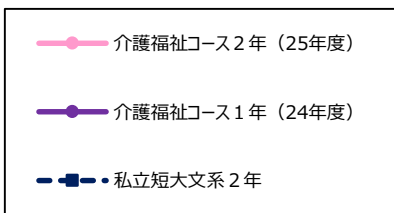
コミュニケーションカ				
① 聴く力	② 表現力	③ 柔軟性	④ 協調性	⑤ 社会性
<p>気配り 対人興味／共感・受容 情報収集 本質理解</p>	<p>話しあう 意見を主張する 自己準拠 流暢性・柔軟性・独創性 新たな価値の創造</p>	<p>セルフアウェアネス ストレスコーピング ストレスマネジメント 流暢性・柔軟性・独創性</p>	<p>多様性理解 役割理解・連携行動 情報共有 相互支援 相談・指導・他者の動機づけ 独自性理解</p>	<p>親しみやすさ 気配り 対人興味／共感・受容 多様性理解 人脈形成 信頼構築 遵法性・社会性</p>
前に踏み出す力				
⑥ 専門知識・技術	⑦ 思考力	⑧ 実践力	⑨ 主体性	⑩ 問題解決力
<p>(該当するPROG要素なし)</p>	<p>目標設定 シナリオ構築 計画評価 リスク分析</p>	<p>完遂 良い行動の習慣化 実践行動 修正／調整 検証／改善</p>	<p>独自性理解 自己効力感／楽観性 学習視点・機会による自己変革 主体的行動</p>	<p>情報収集 本質理解 原因追究 目標設定 シナリオ構築 計画評価 リスク分析 実践行動 修正／調整 検証／改善</p>



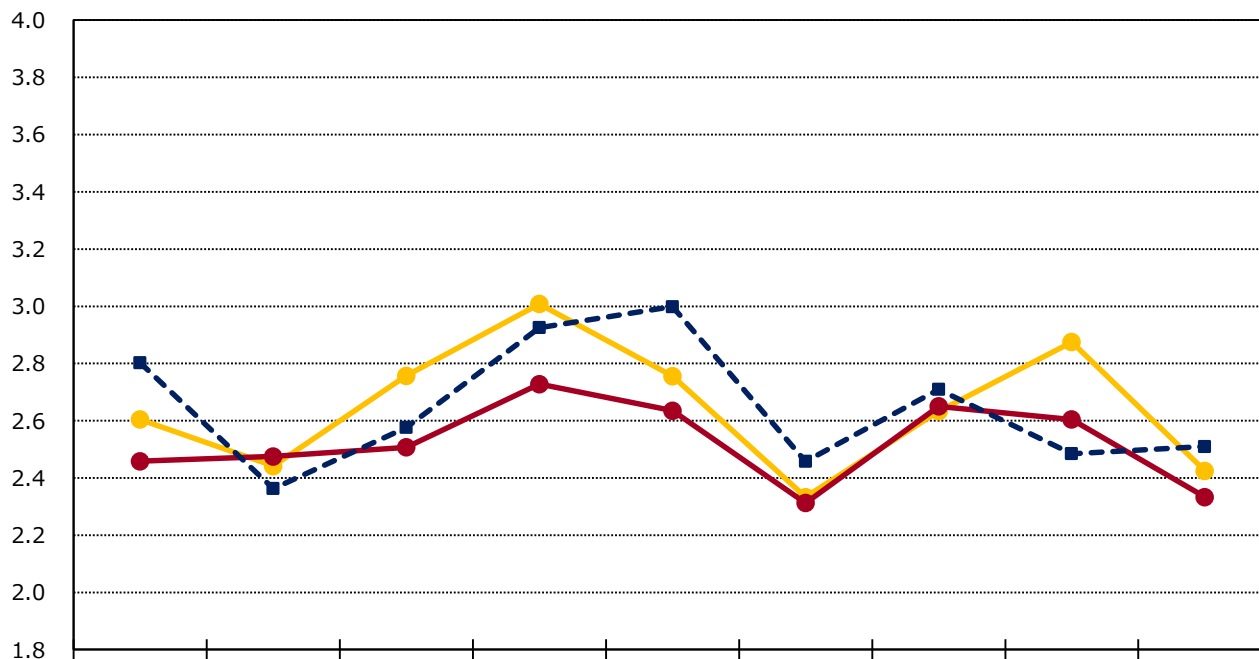
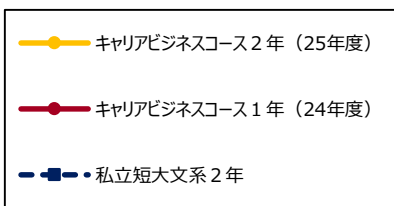
		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	子ども福祉未来学科 2年 (25年度)	50	2.84	2.53	2.77	2.92	2.94	2.42	2.88	2.62	2.64
	子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.63	2.61	2.47	2.98	2.90	2.52	2.84	2.45	2.58
	私立短大文系 2年	-	2.80	2.36	2.58	2.93	3.00	2.46	2.71	2.48	2.51



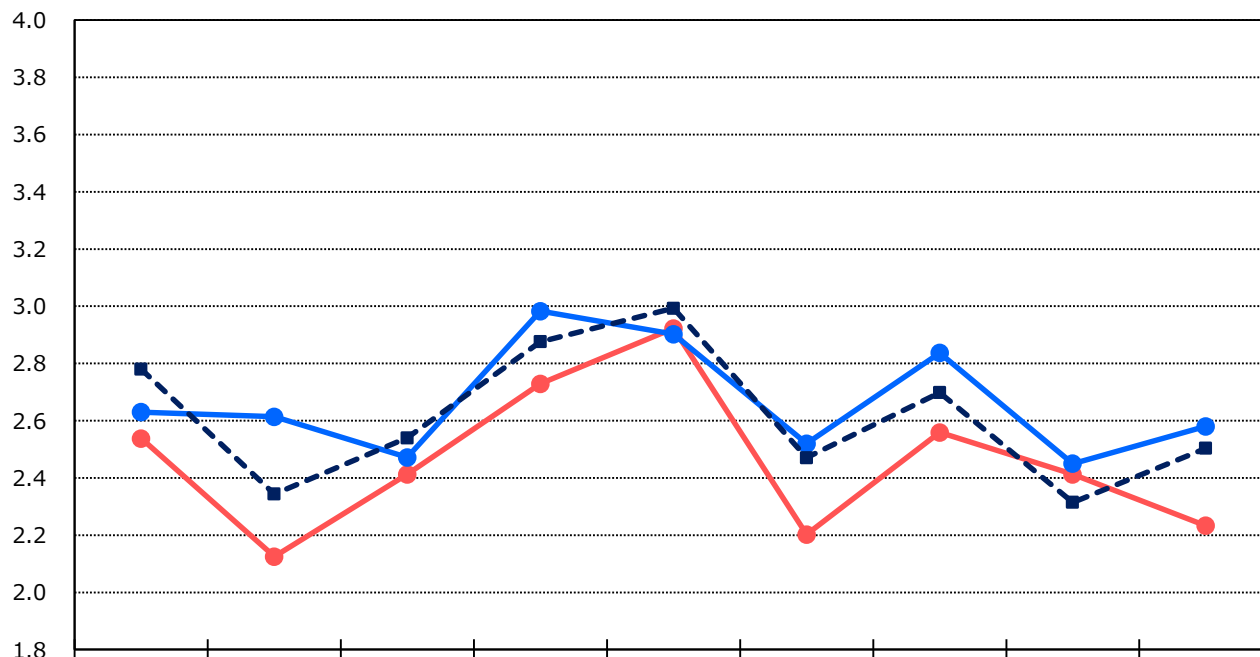
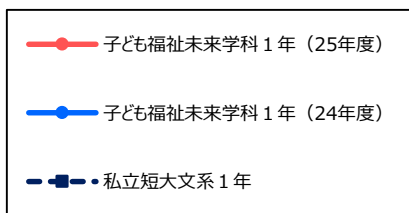
		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	保育専攻 2年 (25年度)	23	3.03	2.63	2.82	2.99	3.05	2.45	2.85	2.58	2.72
	保育専攻 1年 (24年度)	23	2.59	2.73	2.37	3.05	2.94	2.51	2.83	2.49	2.56
	私立短大文系 2年	-	2.80	2.36	2.58	2.93	3.00	2.46	2.71	2.48	2.51



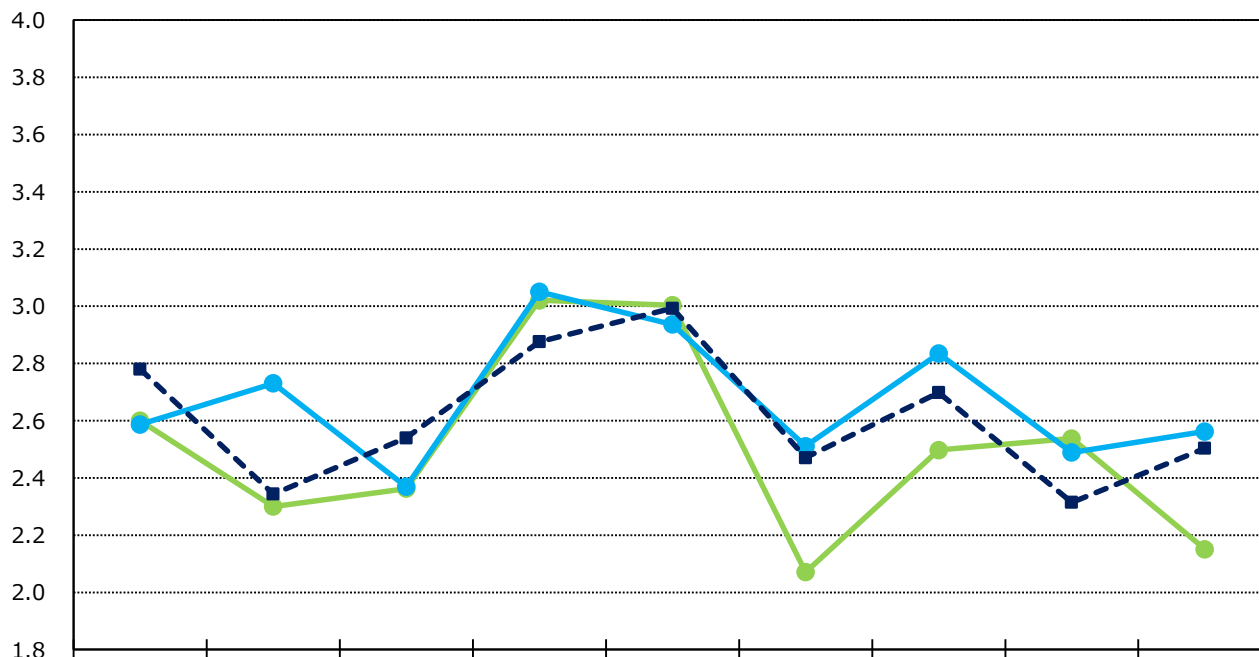
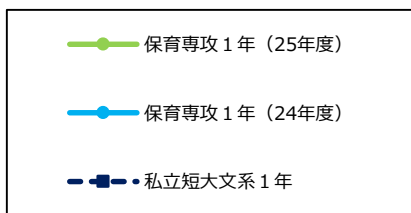
		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	介護福祉コース2年 (25年度)	15	2.73	2.44	2.70	2.73	2.90	2.43	3.11	2.47	2.67
	介護福祉コース1年 (24年度)	15	2.83	2.55	2.60	3.08	3.06	2.70	2.99	2.27	2.81
	私立短大文系2年	-	2.80	2.36	2.58	2.93	3.00	2.46	2.71	2.48	2.51



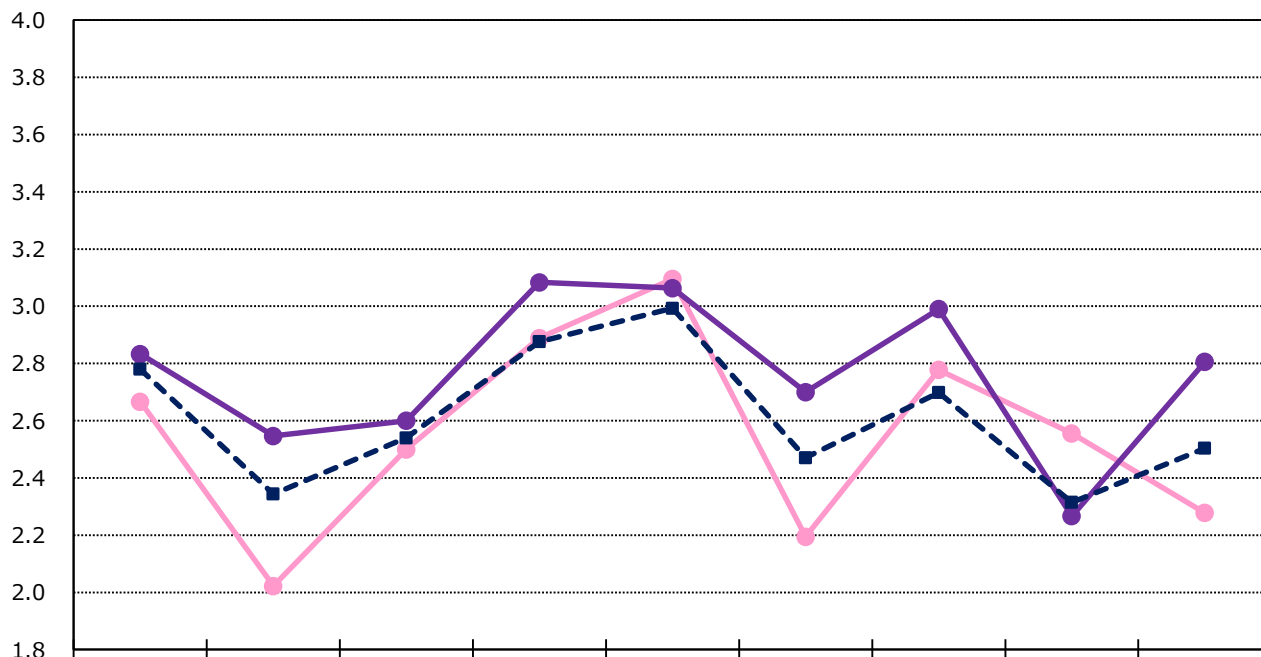
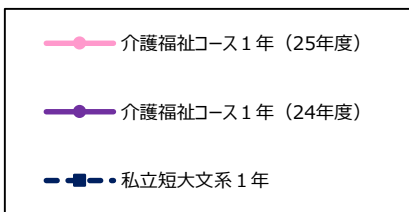
		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	キャリアビジネスコース2年（25年度）	12	2.60	2.44	2.76	3.01	2.76	2.33	2.63	2.88	2.43
	キャリアビジネスコース1年（24年度）	12	2.46	2.48	2.51	2.73	2.63	2.31	2.65	2.60	2.33
	私立短大文系2年	-	2.80	2.36	2.58	2.93	3.00	2.46	2.71	2.48	2.51



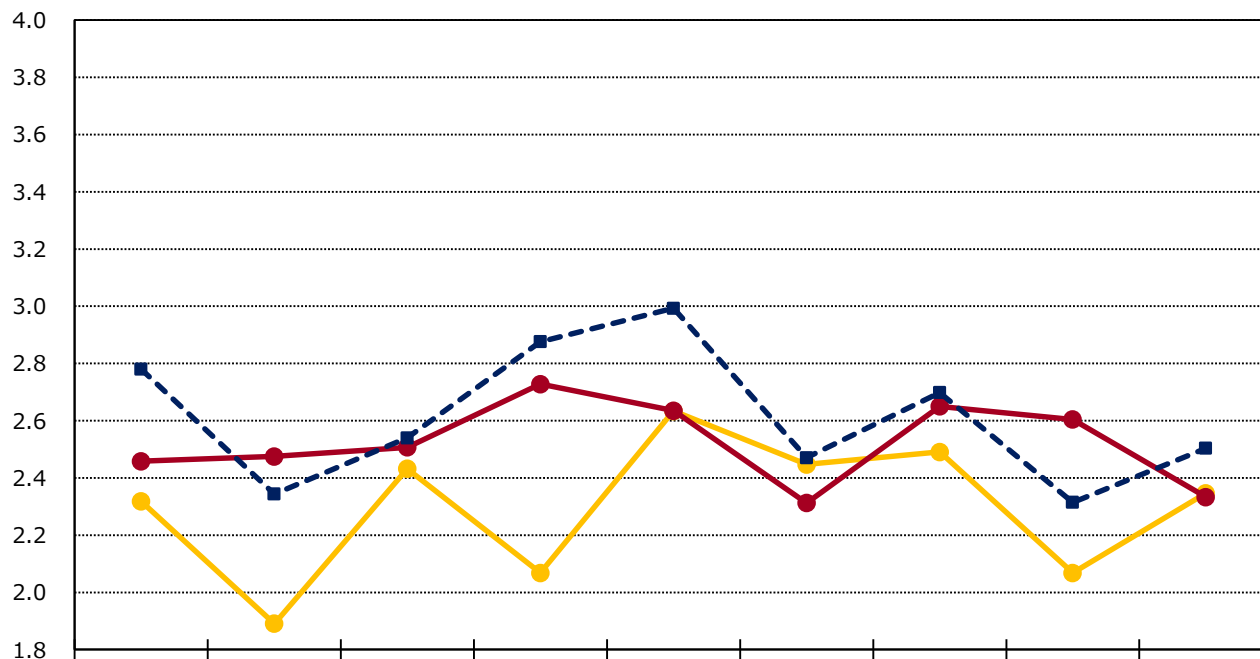
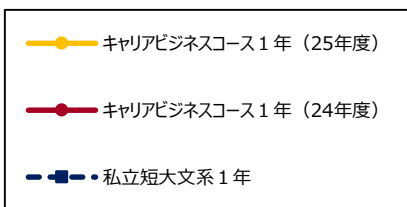
		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	子ども福祉未来学科 1年 (25年度)	40	2.54	2.13	2.41	2.73	2.92	2.20	2.56	2.41	2.23
	子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.63	2.61	2.47	2.98	2.90	2.52	2.84	2.45	2.58
	私立短大文系 1年	-	2.78	2.34	2.54	2.88	2.99	2.47	2.70	2.31	2.50



		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	保育専攻1年(25年度)	20	2.60	2.30	2.36	3.02	3.00	2.07	2.50	2.54	2.15
	保育専攻1年(24年度)	23	2.59	2.73	2.37	3.05	2.94	2.51	2.83	2.49	2.56
	私立短大文系1年	-	2.78	2.34	2.54	2.88	2.99	2.47	2.70	2.31	2.50



		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	介護福祉コース1年(25年度)	9	2.67	2.02	2.50	2.89	3.10	2.19	2.78	2.56	2.28
	介護福祉コース1年(24年度)	15	2.83	2.55	2.60	3.08	3.06	2.70	2.99	2.27	2.81
	私立短大文系1年	-	2.78	2.34	2.54	2.88	2.99	2.47	2.70	2.31	2.50



		N数	①聴く力	②表現力	③柔軟性	④協調性	⑤社会性	⑦思考力	⑧実践力	⑨主体性	⑩問題解決力
	キャリアビジネスコース1年(25年度)	11	2.32	1.89	2.43	2.07	2.63	2.45	2.49	2.07	2.35
	キャリアビジネスコース1年(24年度)	12	2.46	2.48	2.51	2.73	2.63	2.31	2.65	2.60	2.33
	私立短大文系1年	-	2.78	2.34	2.54	2.88	2.99	2.47	2.70	2.31	2.50

N数	① 聴く力				② 表現力						③ 柔軟性						
	気配り	対人興味／共感・受容	情報収集	本質理解	話しあう	意見を主張する	自己準拠	流暢性・柔軟性・獨創性	新たな価値の創造	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	流暢性・柔軟性・獨創性				
子ども福祉未来学科 2年 (25年度)	50	2.84	2.94	3.28	2.71	2.40	2.53	2.35	2.21	2.50	2.64	2.81	2.77	3.64	2.44	2.33	2.64
子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.63	2.90	3.16	2.39	2.18	2.61	2.44	2.31	2.46	2.72	2.77	2.47	3.14	2.12	2.06	2.72
保育専攻 2年 (25年度)	23	3.03	3.39	3.43	2.86	2.39	2.63	2.29	2.33	2.43	2.86	2.95	2.82	3.57	2.70	2.10	2.86
保育専攻 1年 (24年度)	23	2.59	3.00	3.27	2.14	2.17	2.73	2.59	2.36	2.65	2.64	3.00	2.37	3.05	2.00	2.00	2.64
介護福祉コース 2年 (25年度)	15	2.73	2.53	3.13	2.80	2.47	2.44	2.13	2.27	2.47	2.53	2.80	2.70	3.67	2.47	2.13	2.53
介護福祉コース 1年 (24年度)	15	2.83	3.00	3.13	2.60	2.60	2.55	2.29	2.21	2.13	2.93	2.50	2.60	3.60	2.07	1.93	2.93
キャリアビジネスコース 2年 (25年度)	12	2.60	2.58	3.17	2.33	2.33	2.44	2.75	1.92	2.67	2.36	2.58	2.76	3.75	1.92	3.00	2.36
キャリアビジネスコース 1年 (24年度)	12	2.46	2.58	3.00	2.58	1.67	2.48	2.33	2.33	2.50	2.64	2.67	2.51	2.75	2.42	2.33	2.64
私立短大文系 2年	-	2.80	3.01	3.45	2.61	2.14	2.36	2.23	2.10	2.44	2.36	2.66	2.58	3.44	2.29	2.20	2.36

N数	④ 協調性						⑤ 社会性						⑦ 思考力								
	多様性理解	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相対理解・指導	他者の動機づけ	独自性理解	親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	遵法性・社会性	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析			
子ども福祉未来学科 2年 (25年度)	50	2.92	3.64	2.98	2.63	2.98	2.46	2.86	2.94	2.98	2.94	3.28	3.64	2.38	3.00	2.40	2.42	2.02	2.56	2.50	2.60
子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.98	3.77	3.28	2.69	2.96	2.69	2.68	2.90	2.84	2.90	3.16	3.77	2.34	3.14	2.22	2.52	2.20	2.58	2.58	2.72
保育専攻 2年 (25年度)	23	2.99	3.67	2.74	2.71	3.35	2.67	2.83	3.05	2.96	3.39	3.43	3.67	2.35	3.39	2.22	2.45	2.04	2.62	2.57	2.61
保育専攻 1年 (24年度)	23	3.05	3.55	3.17	2.82	3.22	2.86	2.87	2.94	3.00	3.00	3.27	3.55	2.30	3.35	2.09	2.51	2.13	2.55	2.57	2.83
介護福祉コース 2年 (25年度)	15	2.73	3.53	3.07	2.53	2.40	2.27	2.60	2.90	3.07	2.53	3.13	3.53	2.27	3.00	2.80	2.43	1.87	2.47	2.73	2.67
介護福祉コース 1年 (24年度)	15	3.08	4.36	3.47	2.57	2.93	2.73	2.60	3.06	2.73	3.00	3.13	4.36	2.53	3.07	2.67	2.70	1.93	2.79	3.07	3.00
キャリアビジネスコース 2年 (25年度)	12	3.01	3.73	3.33	2.58	3.00	2.33	3.25	2.76	2.92	2.58	3.17	3.73	2.58	2.25	2.25	2.33	2.17	2.58	2.08	2.50
キャリアビジネスコース 1年 (24年度)	12	2.73	3.45	3.25	2.58	2.50	2.33	2.42	2.63	2.67	2.58	3.00	3.45	2.17	2.83	1.92	2.31	2.67	2.42	2.00	2.17
私立短大文系 2年	-	2.93	3.57	3.01	2.59	3.07	2.56	2.78	3.00	2.82	3.01	3.45	3.57	2.43	3.25	2.50	2.46	2.29	2.47	2.54	2.53

	N数	⑧ 実践力					⑨ 主体性					⑩ 問題解決力											
		完遂	良い行動の習慣化	実践行動	修正／調整	検証／改善	独自性理解	自己効力感／楽観性	学習視点・機会による自己変革	主体的行動		情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正／調整	検証／改善		
子ども福祉未来学科 2年 (25年度)	50	2.88	2.54	3.20	2.98	2.40	3.28	2.62	2.86	2.52	2.79	2.30	2.64	2.71	2.40	3.00	2.02	2.56	2.50	2.60	2.98	2.40	3.28
子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.84	2.62	3.32	2.92	2.40	2.94	2.45	2.68	2.35	2.43	2.34	2.58	2.39	2.18	3.00	2.20	2.58	2.58	2.72	2.92	2.40	2.94
保育専攻 2年 (25年度)	23	2.85	2.39	3.13	2.95	2.35	3.48	2.58	2.83	2.43	2.62	2.43	2.72	2.86	2.39	3.62	2.04	2.62	2.57	2.61	2.95	2.35	3.48
保育専攻 1年 (24年度)	23	2.83	2.65	3.39	2.82	2.35	2.96	2.49	2.87	2.41	2.41	2.26	2.56	2.14	2.17	3.27	2.13	2.55	2.57	2.83	2.82	2.35	2.96
介護福祉コース 2年 (25年度)	15	3.11	2.93	3.60	3.00	2.80	3.20	2.47	2.60	2.27	2.93	2.07	2.67	2.80	2.47	2.73	1.87	2.47	2.73	2.67	3.00	2.80	3.20
介護福祉コース 1年 (24年度)	15	2.99	2.60	3.33	3.14	2.87	3.07	2.27	2.60	1.93	2.53	2.00	2.81	2.60	2.60	3.14	1.93	2.79	3.07	3.00	3.14	2.87	3.07
キャリアビジネスコース 2年 (25年度)	12	2.63	2.33	2.83	3.00	2.00	3.00	2.88	3.25	3.00	2.92	2.33	2.43	2.33	2.33	2.25	2.17	2.58	2.08	2.50	3.00	2.00	3.00
キャリアビジネスコース 1年 (24年度)	12	2.65	2.58	3.17	2.83	1.92	2.75	2.60	2.42	2.75	2.33	2.92	2.33	2.58	1.67	2.33	2.67	2.42	2.00	2.17	2.83	1.92	2.75
私立短大文系 2年	-	2.71	2.65	3.11	2.55	2.46	2.78	2.48	2.78	2.42	2.46	2.27	2.51	2.61	2.14	2.74	2.29	2.47	2.54	2.53	2.55	2.46	2.78

N数	① 聴く力				② 表現力						③ 柔軟性						
	気配り	対人興味／共感・受容	情報収集	本質理解	話しあう	意見を主張する	自己準拠	流暢性・柔軟性・獨創性	新たな価値の創造	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	流暢性・柔軟性・獨創性				
子ども福祉未来学科 1年 (25年度)	40	2.54	3.03	3.48	2.13	1.53	2.13	2.13	1.74	2.13	2.21	2.28	2.41	3.43	2.05	1.95	2.21
子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.63	2.90	3.16	2.39	2.18	2.61	2.44	2.31	2.46	2.72	2.77	2.47	3.14	2.12	2.06	2.72
保育専攻 1年 (25年度)	20	2.60	3.30	3.55	2.20	1.35	2.30	1.95	1.85	2.35	2.47	2.60	2.36	3.15	2.05	1.84	2.47
保育専攻 1年 (24年度)	23	2.59	3.00	3.27	2.14	2.17	2.73	2.59	2.36	2.65	2.64	3.00	2.37	3.05	2.00	2.00	2.64
介護福祉コース 1年 (25年度)	9	2.67	3.11	3.89	2.22	1.44	2.02	2.11	1.56	2.00	2.11	2.33	2.50	3.56	1.89	2.44	2.11
介護福祉コース 1年 (24年度)	15	2.83	3.00	3.13	2.60	2.60	2.55	2.29	2.21	2.13	2.93	2.50	2.60	3.60	2.07	1.93	2.93
キャリアビジネスコース 1年 (25年度)	11	2.32	2.45	3.00	1.91	1.91	1.89	2.50	1.70	1.82	1.80	1.60	2.43	3.82	2.18	1.70	1.80
キャリアビジネスコース 1年 (24年度)	12	2.46	2.58	3.00	2.58	1.67	2.48	2.33	2.33	2.50	2.64	2.67	2.51	2.75	2.42	2.33	2.64
私立短大文系 1年	-	2.78	3.01	3.44	2.64	2.05	2.34	2.21	2.10	2.38	2.41	2.60	2.54	3.39	2.23	2.11	2.41

N数	④ 協調性					⑤ 社会性					⑦ 思考力										
	多様性理解	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	独自性理解	親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	遵法性・社会性	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析				
子ども福祉未来学科 1年 (25年度)	40	2.73	3.86	2.28	2.29	2.90	2.43	2.60	2.92	2.45	3.03	3.48	3.86	2.08	3.30	2.33	2.20	2.20	1.95	2.28	2.38
子ども福祉未来学科 1年 (24年度)	50	2.98	3.77	3.28	2.69	2.96	2.69	2.68	2.90	2.84	2.90	3.16	3.77	2.34	3.14	2.22	2.52	2.20	2.58	2.58	2.72
保育専攻 1年 (25年度)	20	3.02	3.89	2.55	2.42	3.40	2.85	2.85	3.00	2.75	3.30	3.55	3.89	2.10	3.10	2.40	2.07	1.80	1.84	2.30	2.35
保育専攻 1年 (24年度)	23	3.05	3.55	3.17	2.82	3.22	2.86	2.87	2.94	3.00	3.00	3.27	3.55	2.30	3.35	2.09	2.51	2.13	2.55	2.57	2.83
介護福祉コース 1年 (25年度)	9	2.89	4.11	2.11	2.78	3.11	2.44	2.78	3.10	2.11	3.11	3.89	4.11	2.67	3.89	1.89	2.19	2.67	1.67	2.00	2.44
介護福祉コース 1年 (24年度)	15	3.08	4.36	3.47	2.57	2.93	2.73	2.60	3.06	2.73	3.00	3.13	4.36	2.53	3.07	2.67	2.70	1.93	2.79	3.07	3.00
キャリアビジネスコース 1年 (25年度)	11	2.07	3.60	1.91	1.60	1.82	1.64	2.00	2.63	2.18	2.45	3.00	3.60	1.55	3.18	2.55	2.45	2.55	2.40	2.45	2.36
キャリアビジネスコース 1年 (24年度)	12	2.73	3.45	3.25	2.58	2.50	2.33	2.42	2.63	2.67	2.58	3.00	3.45	2.17	2.83	1.92	2.31	2.67	2.42	2.00	2.17
私立短大文系 1年	-	2.88	3.55	3.10	2.55	3.08	2.54	2.47	2.99	2.76	3.01	3.44	3.55	2.48	3.29	2.48	2.47	2.33	2.47	2.57	2.52

	N数	⑧ 実践力					⑨ 主体性					⑩ 問題解決力											
		完遂	良い行動の習慣化	実践行動	修正／調整	検証／改善	独自性理解	自己効力感／楽観性	学習視点・機会による自己変革	主体的行動		情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正／調整	検証／改善		
子ども福祉未来学科1年(25年度)	40	2.56	2.40	3.03	2.63	2.10	2.63	2.41	2.60	2.31	2.45	2.30	2.23	2.13	1.53	2.55	2.20	1.95	2.28	2.38	2.63	2.10	2.63
子ども福祉未来学科1年(24年度)	50	2.84	2.62	3.32	2.92	2.40	2.94	2.45	2.68	2.35	2.43	2.34	2.58	2.39	2.18	3.00	2.20	2.58	2.58	2.72	2.92	2.40	2.94
保育専攻1年(25年度)	20	2.50	2.60	2.90	2.68	2.00	2.30	2.54	2.85	2.45	2.20	2.65	2.15	2.20	1.35	2.79	1.80	1.84	2.30	2.35	2.68	2.00	2.30
保育専攻1年(24年度)	23	2.83	2.65	3.39	2.82	2.35	2.96	2.49	2.87	2.41	2.41	2.26	2.56	2.14	2.17	3.27	2.13	2.55	2.57	2.83	2.82	2.35	2.96
介護福祉コース1年(25年度)	9	2.78	2.22	3.22	2.78	2.22	3.44	2.56	2.78	2.00	3.33	2.11	2.28	2.22	1.44	1.89	2.67	1.67	2.00	2.44	2.78	2.22	3.44
介護福祉コース1年(24年度)	15	2.99	2.60	3.33	3.14	2.87	3.07	2.27	2.60	1.93	2.53	2.00	2.81	2.60	2.60	3.14	1.93	2.79	3.07	3.00	3.14	2.87	3.07
キャリアビジネスコース1年(25年度)	11	2.49	2.18	3.09	2.40	2.18	2.55	2.07	2.00	2.30	2.18	1.82	2.35	1.91	1.91	2.70	2.55	2.40	2.45	2.36	2.40	2.18	2.55
キャリアビジネスコース1年(24年度)	12	2.65	2.58	3.17	2.83	1.92	2.75	2.60	2.42	2.75	2.33	2.92	2.33	2.58	1.67	2.33	2.67	2.42	2.00	2.17	2.83	1.92	2.75
私立短大文系1年	-	2.70	2.62	3.15	2.49	2.48	2.74	2.31	2.47	2.25	2.32	2.21	2.50	2.64	2.05	2.77	2.33	2.47	2.57	2.52	2.49	2.48	2.74

コンピテンシー (対人基礎力)

親和力		1	2	3	4	5	6	7
<p>人に対して、興味をもって相手の話を聞き、相手の立場や気持ちを思いやり、共感を受けとめる、また多様な価値観を受け入れる。さらに、そうした関わりから、相手と信頼関係を築いたり、人脈を広げていく力</p>	<p>他者との豊かな関係を築く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親しくない人には無愛想になりがち ・興味をもって相手の話をきいたり相手の立場を考えた言動をとることが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対して笑顔で接することができる ・相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係に配慮した言動を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に対して自然な気配りができる ・自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける ・人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる ・必要に応じて自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げる行動をとることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする ・誰に対しても臆せず接し人脈を広げていくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・築いた人脈や関係性の維持に努めることができる ・人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持・運営することができる
協働力		1	2	3	4	5	6	7
<p>周囲や集団において、自分の役割を理解した上で互いに連携・協力、助け合ったり、情報を共有して一緒に物事を進めていく。さらに、他者の相談に乗るなど働きかけ、動機づける力</p>	<p>目標に向けて協力的に仕事を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人と一緒に物事に取り組むのが苦手 ・周囲の人が困っている状況に気づかないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で、割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組む ・周囲に気を配り、困っている人には手を貸そうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなどチームへの貢献を考えて行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる ・雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かを支援する時には全力でサポートする ・周囲との協力や働きかけを通じて、チームの成果に貢献することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる ・チーム全体のやる気を高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる ・相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる
統率力		1	2	3	4	5	6	7
<p>集団の中で、自分の意見を主張すると同時に、議論の活性化や発展のために集団に働きかける。また、必要に応じて、意見の調整、交渉、説得し、集団を合意に導く力</p>	<p>場をよみ、組織を動かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場では議論に消極的なことが多い ・発言の際、考えが整理しきれず相手に言いたいことが伝わらないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる ・話し合いの場では議論の目的を見失わずに意見を述べることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる ・意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる ・相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の反対にあって孤立しても、正しいと思うことは粘り強く主張できる ・建設的、かつ創造的な議論を意識した発言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に発言を促し、整理や方向づけによって議論を発展させていくことができる ・リーダーとして、チームの結論を導くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が対立する中でも、建設的に議論を導くことができる ・聴衆を引き込み納得させるようなプレゼンテーションをすることができる

コンピテンシー (対自己基礎力)

感情制御力		1	2	3	4	5	6	7
自分の感情や気持ちを認識して客観的に言動をコントロールしたり、ストレスをうまく処理することができる。また、プレッシャーを感じる場面でも、感情をコントロールして力を発揮する力	気持ちの揺れを制御する	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感情をコントロールするのが苦手 些細なことでも、動揺したり落ち込んだりして、なかなか立ち直れないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる やらなければならないことがたくさんあるような状況でも、こなしていくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる 難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がストレスを感じやすい場面を知っており、対処法を考えておくことができる 失敗に向き合い、原因を徹底的に考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 心を落ち着かせる自分なりの方法をもっている 緊張やプレッシャーを感じる場面でも、落ち着いてかつ集中して取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスの原因に自ら働きかけ、解消することができる 必要に応じて自分の感情を率直に伝えることで、相手との信頼関係を築くことができる
自信創出力		1	2	3	4	5	6	7
自己の強み弱みを認識した上で、自分に自信をもって物事に取り組むことができる。また、常に学ぶ姿勢をもち、経験の機会をうまくとらえて挑戦していく力	前向きな考え方ややる気を維持する	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強みがわからず、自信をもって行動できない 初めてのことや難しいことには、なかなか挑戦する気になれない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分では強みがわからないが、人からほめられることで自信をもつことができる 仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる 機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる 初めてのことも、臆せず取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても何かを学ぼうとする 好きではない仕事でも、自分なりに工夫して取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ならではの強みや持ち味を活かす機会を見逃さない 常に良い結果をイメージして、自信をもって取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> どんな仕事や課題でも主体性と好奇心をもって取り組むことができる 成長の機会を自ら創り出していくことができる
行動持続力		1	2	3	4	5	6	7
主体的に行動し、物事には最後まで粘り強く取り組むことができる。また、良い行動を習慣化する力	主体的に動き、良い行動を習慣づける	<ul style="list-style-type: none"> 人からの指示を待って行動することが多い 何かに取り組んでも、最後までやり切れないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みるよう心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 任されたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動するようにしている 常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す 取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる 周囲からの期待以上のことを主体的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げる 行動の検証と改善を繰り返しながらより良い行動に結びつけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題には期限ぎりぎりまで、自分が納得できる結果が出るまで粘り強く取り組む 検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している

コンピテンシー (対課題基礎力)

課題発見力		1	2	3	4	5	6	7
適切な方法で情報を収集し、事実に基づいて客観的に分析、本質的な問題を見極める。さらに、様々な角度から課題を分析し、原因を明らかにする力	課題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対しての情報収集が、適切な方法でない場合が多い 情報整理・分析が甘くなりがちになる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対し、自分なりに情報を集めることができる 集めた情報を、客観的に整理しようと努める 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある特定の分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理、分析することができる 分析を基に、自分なりに因果関係の仮説を立てられる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる 定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じて、定性的な情報や、定量的なデータを収集し、適切に整理、分析できる より現実的な視点で、複数の因果関係の仮説を立てられる 	<ul style="list-style-type: none"> 事実が複雑に絡み合っている問題でもデータを客観的に整理、分析できる 因果関係を整理し課題解決につなげることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 関心分野については、常日頃から情報収集している 合理的な判断だけでは難しい問題に対して、関係者の心情を汲んで結論を出すことができる
計画立案力		1	2	3	4	5	6	7
明確な目標を立て、その実現に向けて効果的な計画を立てる。また、立てた計画に対して目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てたり、どんな問題が起こり得るかのリスクを想定して事前に対策を講じる力	課題解決のための適切な計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> 自分で目標や計画を立てずに課題に取り組む 立案した計画や目標が現実的でないなど適切でないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に、自分なりに取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 条件が明確な課題であれば目標や発生しそうな問題を予め考えることができる 予測をふまえ具体的な計画を立て取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 経験のあることならば不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる 情報整理・分析が甘くなりがちになる 	<ul style="list-style-type: none"> 経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる 事前にリスクを検討、想定し、手を打つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な目標と同時に、途中段階の具体的な目標も設定し、実現性を高めることができる チームでの取り組みの際、メンバーの分担を適切に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 自身やチームにとって挑戦的な目標を設定し挑む 制約条件や資源を考慮した計画を立て、状況に応じて柔軟に修正することができる
実践力		1	2	3	4	5	6	7
計画をすすんで実行し、状況に応じて柔軟に行動を修正する。また、行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつける力	実践行動をとる	<ul style="list-style-type: none"> やるべきことでも、なかなか実行に移せない 実行はできても当初のやりかたで進めがちで、のちに振り返ることも少ない 	<ul style="list-style-type: none"> やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 制約条件を考慮して、試行錯誤しながら物事を進めることができる 終了後には、成功か失敗かを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる 	<ul style="list-style-type: none"> チームの他の人の様子に気を配りながら、物事を進めることができる 進捗状況を確認しつつ、自ら率先して行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の実行中、全体の状況に気を配ることができる 先行きを予見し必要に応じて、早めに全体の動きを修正することができる 	<ul style="list-style-type: none"> チームでより良い成果を挙げるため、即行動できる 活動の振り返りを次に活かして、チームの成果を高めることができる

コンピテンシー 対人基礎力	目指す状態	対応策のヒント
親和力	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対して笑顔で接することができる ・相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係に配慮した言動を心がけている ・相手に対して自然な気配りができる ・自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生同士がグループやクラスで和やかに（親和的に）話す機会を設ける・事例や実践を通じて、相手（当事者）の立場になって考えさせる・自分のことだけでなく、クラス全体やグループの都合を考えさせる
	<ul style="list-style-type: none"> ・親しくない人にも、自分から気軽に話しかけることができる ・人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる ・個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる ・自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の話に注意を傾けて聞く（傾聴する）ようにす ・他者の意見を尊重し、柔軟に受け入れる大切さを指導する ・文化や価値観の違いを学ぶ機会を設ける ・自己と他者「良い点」を認め合い、信頼の基盤を作るようにする
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする ・誰に対しても臆せず話し人脈を広げていくことができる ・築いた人脈や関係性の維持に努めることができる ・人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・初対面の人たちとも、積極的に関係づくりをさせる機会を設ける ・情報交換や、勉強会などを自主的に運営させる ・責任ある言動によって、集団の中で信頼を獲得するよう指導する ・お礼状（お礼メール）など、人脈の維持・管理に関する指導を行う
協働力	<ul style="list-style-type: none"> ・割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組むことができる ・周囲に気を配り、困っている人には手を貸すことができる ・チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の貢献する領域を定め責任を果たすようにする ・集団の中で自分の役割を実感する機会を設ける ・各自で調べたことを全体に共有させる機会を設ける ・情報を発信したり吸収したり、学生相互に情報をやり取りする機会を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけることができる ・雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献できる ・誰かを支援する時には全力でサポートする ・周囲との協力や働きかけを通して、チームの成果に貢献することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図をよく考えて返答するように指導している ・各自が持っている知識や情報を体系立てて整理し発表する機会を設ける ・互いに協力し、補い合いながら、課題を遂行するようにさせる
	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる ・チーム全体のやる気を高めることができる ・リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる ・相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に教えることで、自分の知識を定着させるような機会を設ける ・リーダーとして周囲を動かすような機会を設ける ・リーダーとしてチーム全体のやる気を高めるような機会を設ける
統率力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる ・話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べることができる ・自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる ・意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理して、相手にわかり易く伝えられるようにする ・周囲に対して、自分の要望をはっきり伝えるようにする ・表現豊かに話したり、書いたりする機会を設ける ・粘り強く周囲に説明をするような機会を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる ・相手の立場や背景も考慮しながら、意見調整することができる ・周囲の反対に合って孤立しても、正しいと思うことは粘り強く主張できる ・建設的かつ創造的な議論を意識した発言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス討議の中で、自分の意見を主張する機会を設ける ・理解が得られるまで、粘り強く周囲を説得させる ・討議を活発にしたり、議論が進展するような発言を指導する
	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に発言を促し、整理や方向づけによって議論を発展させていくことができる ・リーダーとして、チームの結論を導くことができる ・意見が対立する中でも、建設的に議論を導くことができる ・聴衆を引き込み納得させるようなプレゼンテーションをすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・討議を活発にしたり、議論が進展するように、場を仕切ることを経験させる ・グループ討議などで交代でリーダー役を担えるようにする ・グループ内で意見を調整し、統一見解を出すような機会を設ける ・プレゼンテーションスキルを指導し、実践する機会を設ける

コンピテンシー 對自己基礎力	目指す状態	対応策のヒント
感情制御力	<p>・人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする ・感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる ・やらなければならないことが沢山あるような状況でも、こなしていくことができる</p>	<p>・想定外のことが起こっても、目的を見失わず、次善策を考えさせる ・プロジェクトや研究・実験の進捗状況を客観的に把握し、冷静に事後の策を考えさせる ・白熱した議論の中でも、冷静さを保つよう指導する</p>
	<p>・ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる ・難しい課題に対して前向きに取り組むことができる ・自分がストレスを感じやすい場面を知っており、対処法を知っている ・失敗に向き合い原因を徹底的に考えることができる</p>	<p>・ストレスやプレッシャーを与えて、その中で結果を出すことを求める ・限られた時間の中でも、物事に優先順位を付けて、ベストを尽くすよう指導する ・難しい課題に対しても前向きに取り組む、結果を振り返るよう指導する ・自分がストレスを感じやすい状況について自覚を促す</p>
	<p>・心を落ち着かせる自分なりの方法をもっている ・緊張やプレッシャーを感じる場面でも、落ち着いて、かつ集中して取り組むことができる ・ストレスの原因に自ら働きかけ、解消することができる ・自分の感情を率直に伝えることで、相手との信頼関係を築くことができる</p>	<p>・強いプレッシャーの中で、いつもの力を発揮することを繰り返し練習させる ・厳しい指摘や質問にも、的確に答えることを繰り返し練習させる ・ストレスの原因を冷静に見極め、その解決策を考えるよう指導する ・ストレスの原因に自ら働きかけ、解消させる</p>
自信創出力	<p>・仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる ・自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる ・機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる</p>	<p>・自分のオリジナリティにこだわるように指導する ・自分の意見や提案が、周囲から受け入れられる経験をさせる ・与えられたことでも、自分の成長のチャンスだと考えるよう指導する</p>
	<p>・自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる ・初めてのことも、臆せず取り組むことができる ・難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても何かを学ぼうとする ・好きではない仕事でも、自分なりに工夫して取り組むことができる</p>	<p>・他者との比較の中で、自分の強みや弱みを自覚させる ・初めてのことに積極的に挑戦させる ・将来の価値を期待せず、眼前のことに楽しんで工夫して取り組むよう指導する</p>
	<p>・自分の強みや持ち味を活かす機会を逃さないようにしている ・常に良い結果をイメージして、自信をもって取り組むことができる ・どんな仕事や課題でも、主体性と好奇心をもって取り組むことができる ・成長の機会を自ら創り出していくことができる</p>	<p>・与えられたことでも、自分の成長のチャンスだと考えるよう指導する ・失敗からも学ぶことが多いことを指導する ・自分の意見や提案が、周囲から受け入れられる経験をさせる</p>
行動持続力	<p>・良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みよう心がけている ・任されたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動するようにしている ・常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている</p>	<p>・まじめさ、誠意をもった行動、真摯な取り組みを評価する機会を設ける ・現状に満足せず、より高い目標に挑戦する大切さを指導する ・目的意識を常に持って、学習したとを直ぐに試みるように指導する</p>
	<p>・何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移すことができる ・取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている ・すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる ・周囲からの期待以上のことを主体的に行うようにしている</p>	<p>・人に頼らず自分の意思で判断し、課題に取り組ませるようにする ・学習方法などについて、自分なりに良いやり方を見出すよう指導する ・授業期間を通じて、一つあるいは複数の課題を成し遂げる経験をさせる ・周囲からの期待以上の結果を求める</p>
	<p>・目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げることができる ・行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い結果に結びつけることができる ・課題には、自分が納得できる結果が出るように、期限ぎりぎりまで粘り強く取り組む ・検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している</p>	<p>・レポートなど、自分の出す成果の質（水準）にことごとく拘わらせる ・一度始めたことは、結果がでるまで粘り強く取り組むよう指導する ・行動の検証と改善を繰り返ししながら、より良い結果に向かうよう指導する</p>

コンピテンシー 対課題基礎力	目指す状態	対応策のヒント
課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し自分なりに情報を集めることができる ・集めた情報を客観的に整理しようとする ・興味のある分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理・分析することができる ・分析を基に自分なりに因果関係の仮説を立てることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報源を適切に活用できるよう指導する ・思い込みや常識に捉われず、本質を深く考えるよう指導する ・原因を明らかにするために、さまざまな角度から検討・分析するよう指導する
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて様々な方法で情報を集めることができる ・定量データを客観的に分析し、複数の因果関係の仮説を立てることができる ・課題に応じて、定性的な情報や、定量的なデータを収集し、適切に整理・分析できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の因果関係を、論理的に考える機会を設ける ・問題の本質に迫るために、自分で納得するまで深く考えさせるようにする ・定性的な情報と定量的な情報の両方の観点から分析させる
	<ul style="list-style-type: none"> ・事実が複雑に絡み合っている問題でも、データを客観的に整理・分析できる ・複雑な因果関係を整理し課題解決につなげることができる ・関心のある分野については、常日頃から情報収集している ・合理的な判断だけでは難しい問題に対して、関係者の心情を汲んで結論を出すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の原因を考えるために、仮説と検証を繰り返させる ・日頃から問題意識を持って物事を見るよう指導する ・合理的な判断だけでは難しい問題に取り組ませる機会を設ける
計画立案力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる ・立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる ・条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる ・起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール（目指す姿）をイメージしてから、課題に取り組ませる ・想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する ・立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる
	<ul style="list-style-type: none"> ・経験のあることならば、不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる ・立案した計画の実現性を吟味することができる ・経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる ・事前にリスクを想定し手を打つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間や予算の中で、計画を練り上げる機会を設ける ・計画を立てる際に、その現実性について十分に吟味させる ・類似のケースや、過去の事例などを通じて、計画のリスクを考える機会を設ける ・将来起こりうる事象について、リスクの程度を推し量る機会を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な目標と同時に、途中段階の具体的な目標も設定し、実現性を高めることができる ・チームでの取り組みの際、メンバーの分担を適切に決められる ・自身やチームにとって挑戦的な目標を設定し、挑戦することができる ・制約条件や資源を考慮した計画を立て、状況に応じて柔軟に修正することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身やグループにとって挑戦的な目標を設定し取り組ませる ・結果を出すために、途中段階の具体的な目標を設定させる ・結果を出すために、メンバーの分担を適切に決めさせる ・時間や環境の変化に応じて、計画を柔軟に変更させる
実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる ・制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる ・終了後には、成功か失敗かを振り返るようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことは先延ばしせず直ぐに着手するよう指導する ・議論だけでなく、実際に行動を起こさせる ・成すべきことを自分で考え行動させる ・結果に対して反省の機会を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる ・うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てることができる ・チームの他の人の様子に気を配りながら、物事を進めることができる ・進捗状況を確認しつつ、自ら率先して行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定外の事態に対処して、計画を変更しながら目標に向かうような経験をさせる ・グループ全体の進捗状況に配慮しながら、自ら率先して行動するようにさせる ・行動の結果を振り返り、良かった点、悪かった点を考え、改善策を考える機会を設ける ・グループで活動を振り返り、各自の役割貢献について内省する機会を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の実行中、全体の状況に気を配り調整することができる ・先行きを予測し必要に応じて、早めに全体の動きを修正することができる ・チームでより良い成果を挙げるために、必要なことは即行動に移すことができる ・活動の振り返りを次に活かして、チームの成果を高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の先行きを予測して、早めに対応策を考えさせる ・グループとして、途中までのプロセスを振り返り、以降のステップに活かすよう指導する ・当初の目標と比較して、活動の達成状況を客観的に分析させる

実践的に問題を解決に導く力

リテラシー

課題
発見力

構想力

- 課題発見力・構想力のスコア1・2の学生をピックアップ
⇒ 課題発見力・構想力の低い学生は、エントリーシートに苦手意識を持つ可能性が想定される。
【エントリーシート対策が必要なグループ】

言語
処理力

非言語
処理力

- 言語処理力・非言語処理力のスコア1・2の学生をピックアップ
⇒ 言語処理力・非言語処理力はSPIテストと同じ領域。
【SPI対策が必要なグループ】

周囲の環境と良い関係を築く力

コンピテンシー

親和力

- 親和力のスコア1・2の学生をピックアップ
⇒ 親和力の低い学生は、面接に対する苦手意識を持つ可能性が想定される。
【面接対策が必要なグループ】

協働力

統率力

- 協働力・統率力のスコア1・2の学生をピックアップ
⇒ 協働力・統率力の低い学生様は、グループディスカッションに対する苦手意識を持つ可能性が想定される。
【グループディスカッション対策が必要なグループ】

自信
創出力

行動
持続力

計画
立案力

- 自信創出力・行動所族力・計画立案のスコア1・2の学生をピックアップ
⇒ 自信創出力の低い学生は、**自己効力感が低い傾向**
⇒ 行動持続力の低い学生は、**失敗にくじけやすい傾向**
⇒ 計画立案力の低い学生は、**無計画に就活を行う傾向**
【定期的な面談が必要なグループ】